アプライアンス ユーザ ガイド

Arcserve Unified Data Protection バージョン 10.0 CICSETVE®

アプライアンス ユーザ ガイド

**Arcserve Unified Data Protection** 

バージョン 10.0

目次が左側のペインに表示されます。 すべてのトピックを表示するには、上部の <sup>◆ TOC</sup> アイコンをクリックします。

arcserve

# リーガルノーティス

組み込みのヘルプシステムおよび電子的に配布される資料も含めたこのドキュメント(以下「本書」)はお客様への情報提供のみを目的としたもので、Arcserveにより随時、変更または撤回されることがあります。この ドキュメントは、Arcserveの専有情報であり、Arcserveの事前の書面による承諾なしに、全部または一部をコ ピー、譲渡、複製、開示、変更、複写することを禁止します。

本ドキュメントで言及されているソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、Arcserveのすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本書を印刷するかまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザはArcserve に本書の全部または一部を複製したコピーをArcserveに返却したか、または破棄したことを文書で証明する 責任を負います。

準拠法により認められる限り、ARCSERVE は本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に 対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。また、 本システムの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の損失等、い かなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、ARCSERVE はお客様または第三者に対 し責任を負いません。ARCSERVE がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合 も同様とします。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、当該ライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者はArcserveです。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Section 12.212、52.227-14、52.227-19(c)(1) - (2)、DFARS Section 252.227-7014(b)(3)、またはこれらの後継の条項で規 定されている該当する制限に従うものとします。

© 2024 Arcserve (その関連会社および子会社を含む) All rights reserved. サードパーティの商標または著作 権は各所有者に帰属します。

# Arcserve サポートへのお問い合わせ

Arcserve サポート

テクニカルサポートへの問い合わせ

Arcserve サポートをご利用いただくと次のことができます。

- Arcserve サポートの専門家が社内で共有しているのと同じ情報ライブラリに 直接アクセスできます。このサイトから、弊社のナレッジベース(KB)ドキュメント にアクセスできます。ここから、重要な問題やよくあるトラブルについて、製品 関連KB技術情報を簡単に検索し、検証済みのソリューションを見つけること ができます。
- ライブチャットリンクを使用して、Arcserve サポートチームと瞬時にリアルタイムで会話を始めることができます。 ライブチャットでは、製品にアクセスしたまま、 懸念事項や質問に対する回答を即座に得ることができます。
- Arcserve グローバルユーザコミュニティでは、質疑応答、ヒントの共有、ベスト プラクティスに関する議論、他のユーザとの対話に参加できます。
- サポート チケットを開くことができます。オンラインでサポート チケットを開くと、 質問の対象製品を専門とする担当者から直接、コールバックを受けられます。
- また、使用している Arcserve 製品に適したその他の有用なリソースにアクセスできます。

### Arcserve アプライアンスの返品ポリシー

有効な RMA (返品認定)番号は、製品を Arcserve に返却するために必要で す。RMA番号を取得するには、Arcserve テクニカルサポート部門にお問い合わせ ください。お客様の担当者の連絡先情報については、<u>arcserve.com/support</u>を参 照してください。サポートチームから RMA データの送信先が通知される場合があ ります。

返品には、10%の返品手数料がかかります。以下は例外となります。1)注文が 間違って履行された場合、ArcserveはRMAを受け入れ、全額を返金します。2) 欠陥のあるアイテムが30日以内に返品された場合、ArcserveはRMAを受け入 れ、全額を返金します。3)ハードウェアに技術的な問題がある場合、解決のため の適切な期間を経過した後もサポートによって解決できなければ、Arcserveは RMAを受け入れ、同等の価値のあるハードウェアの交換を提供します。

RMA リクエストに必要な情報:

- 製品のシリアル番号(アプライアンスの背面に記載があります)
- Arcserve 注文番号
- パートナーの連絡先名
- パートナーの電話番号
- パートナーの電子メールアドレス
- お客様の連絡先名(可能な場合)
- 電話番号(可能な場合)
- 電子メールアドレス(可能な場合)
- 問題の説明とすでに実行されたトラブルシューティングの説明。
- 要求された配送サービスおよび出荷先住所。

RMA 番号は、パッケージの外側に明確に記されている必要があります。すべての RMA は、適切な梱包で出荷される必要があります。すべての RMA は、荷物のト ラッキングおよび保証を提供する信頼できる運送業者を使用して出荷する必要 があります。出荷時の破損または RMA の損失はお客様の責任になります。

# 目次

第1章: Arcserve アプライアンスのドキュメントについて	1
言語サポート	2
製品ドキュメント	3
第2章: Arcserve アプライアンスの紹介	5
概要	6
Arcserve Unified Data Protection	
Arcserve Unified Data Protection Agent for Linux	8
Arcserve Backup	
Arcserve Continuous Availability	
安全に関する注意事項	11
同梱されている内容	12
アプライアンス 10000 シリーズのボックスに同梱されている内容	
アプライアンス 9000 シリーズのボックスに同梱されている内容	13
アプライアンス X シリーズのボックスに同梱されている内容	14
箱に含まれていない項目	16
利用可能なモデル	
モデル 10024BU-10576DR	
モデル 9012 - 9504DR	19
モデル X シリーズ	21
コントロールおよびインジケータ	24
前面パネル10048DR-10576DR	24
ドライブ キャリアの LED	25
コントロール パネル	26
情報 LED	27
前面パネル9012-9048	27
前面パネル9072DR - 9504DR	
前面パネル X シリーズ	29
背面パネル10048DR-10576DR	29
電源インジケータ	30
背面パネル9012-9048	31
背面パネル9072DR-9504DR	
背面パネル X シリーズ	34
アプライアンスが使用するポート	35

Arcserve UDP	
Microsoft Windows にインストールされるコンポーネント	37
Linux にインストールされているコンポーネント	43
リモートで UDP Linux により保護されているノード	44
Arcserve Backup	45
Linux 用 アプライアンスのサポート	46
第3章:アプライアンス上のArcserve UDPのアップグレード	.48
Arcserve ソフトウェアのアップグレード後にライセンスを適用する方法	. 49
Arcserve アプライアンス でのアップグレード シーケンス	50
Arcserve アプライアンスを Arcserve UDP コンソールおよび RPS として使 用した場合のア プグレード	ッ 51
Arcserve アプライアンスを Arcserve UDP RPS として使 用した場 合 のアップグレード	52
複数のArcserve アプライアンスが環境で使用されている場合のアップグレード手順	53
Arcserve アプライアンス 上の Arcserve UDP Linux エージェント のアップグレード	54
Arcserve アプライアンス に搭載された Arcserve Backup のアップグレード	55
UDP コンソール、RPS、エージェントのアップグレード シーケンス	56
第4章: Arcserve アプライアンスの設定	57
Arcserve アプライアンス 向けのネット ワーク設 定を構成 する方法	
Arcserve アプライアンスを設定する方法	. 62
Arcserve アプライアンスをゲートウェイとして設定する方法	. 72
第5章: Arcserve アプライアンス での操作	.73
アプライアンス上の Arcserve 製品のアクティブ化	74
Arcserve アプライアンス ウィザードを使 用したプランの作 成	75
プランへのノードの追加	. 76
ホスト名 /IP アドレスによるノードの追加	77
Active Directory によるノードの追加	79
vCenter/ESX ノードの追加	81
Hyper-V ノードの追加	83
Linux ノード用のバックアップ プランの作成	85
テープ デバイスへのバックアップ プランの作成	86
アプライアンス上 仮 想 スタンバイ プランの作 成	. 87
Linux バックアップ サーバのバックアップ プランの作成	88
ローカル アプライアンス Hyper-V に対して Linux インスタント VM ジョブを実行する ための設定	. 92
ConsoleMigration.exe を使用した Arcserve UDP コンソールの移行	93
Arcserve アプライアンス間の移行	95
解決策	96

プレインストールされた Linux バックアップ サーバの入 カソースの変更	
第6章:アプライアンスサーバのリモートモニタリング	102
iDRAC ( Integrated Dell Remote Access Controller) での操作	
iDRAC ( Integrated Dell Remote Access Controller) のモニタと管 理	
iDRAC ( Integrated Dell Remote Access Controller 9000 シリーズ) の IP アドレスの核	€出 …106
iDRAC ( Integrated Dell Remote Access Controller、X シリーズ) の IP アドレスの検出	ዘ107
iDRAC の DHCP または静的 IP アドレスの設定	
ベースボード管理コントローラ( BMC)の操作	113
ベースボード管理コントローラ(BMC)のモニタおよび管理	113
BMC の IP アドレスを確認する方法	
BIOS を使用した IP アドレスの確認	
POST 画 面 での IP アドレスの確 認	115
BMC の DHCP または静的 IP アドレスの設定	
UEFI BIOS の設定	
BMC の IP アドレスの設定	
DHCP サーバを使用した DHCP IP アドレスの設定	
BIOS を使 用した静的 IP アドレスの設 定	117
BIOS を使 用した BMC への接続	120
第7章: Arcserve アプライアンス のリストアまたは修復	
第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復 ファクトリリセットのデバッグ	<b>124</b>
第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復 ファクトリリセット のデバッグ Arcserve アプライアンス のインストール	<b>124</b> .125 .127
第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復 ファクトリリセット のデバッグ Arcserve アプライアンス のインストール Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法	<b>124</b> 125 127 128
第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復 ファクトリリセットのデバッグ Arcserve アプライアンス のインストール Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法 10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法	124 125 127 128 135
<ul> <li>第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復</li> <li>ファクトリリセットのデバッグ</li> <li>Arcserve アプライアンス のインストール</li> <li>Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法</li> <li>10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10048DR-10576DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> </ul>	124 125 127 128 135 136
<ul> <li>第7章: Arcserve アプライアンスのリストアまたは修復</li> <li>ファクトリリセットのデバッグ</li> <li>Arcserve アプライアンスのインストール</li> <li>Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法</li> <li>10024BU-10048BU シリーズアプライアンスの設置方法</li> <li>10048DR-10576DR シリーズアプライアンスの設置方法</li> <li>9012-9048 シリーズアプライアンスの設置方法</li> </ul>	124 125 127 128 135 136 136
第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復 ファクトリリセットのデバッグ Arcserve アプライアンス のインストール Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法 10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法 10048DR-10576DR シリーズ アプライアンスの設置方法 9012-9048 シリーズ アプライアンスの設置方法 9072-9504DR シリーズ アプライアンスの設置方法	124 125 127 128 135 136 136 136
<ul> <li>第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復</li> <li>ファクトリリセットのデバッグ</li> <li>Arcserve アプライアンス のインストール</li> <li>Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法</li> <li>10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10048DR-10576DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9012-9048 シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9072-9504DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>x シリーズ アプライアンスの設置方法</li> </ul>	124 125 127 128 135 136 136 136 136
<ul> <li>第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復</li> <li>ファクトリリセットのデバッグ</li> <li>Arcserve アプライアンス のインストール</li> <li>Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法</li> <li>10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10048DR-10576DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9012-9048 シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9072-9504DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>x シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10024BU-10576DR シリーズ アプライアンスでの Arcserve UDP ファクトリリセット</li> <li>適用</li> </ul>	124 .125 .127 .128 .135 .136 .136 .136 .136 
<ul> <li>第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復</li> <li>ファクトリリセットのデバッグ</li> <li>Arcserve アプライアンス のインストール</li> <li>Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法</li> <li>10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10048DR-10576DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9012-9048 シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9072-9504DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>エシリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10024BU-10576DR シリーズ アプライアンスでの Arcserve UDP ファクトリリセット</li> <li>BIOS からのファクトリリセット</li> </ul>	124 125 127 128 135 136 136 136 136 136 136 137
<ul> <li>第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復</li> <li>ファクトリリセットのデバッグ</li> <li>Arcserve アプライアンス のインストール</li> <li>Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法</li> <li>10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10048DR-10576DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9012-9048 シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9072-9504DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>エシリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10024BU-10576DR シリーズ アプライアンスでの Arcserve UDP ファクトリリセット</li> <li>BIOS からのファクトリリセット</li> <li>Arcserve UDP コンソールからのファクトリリセット</li> </ul>	124 125 127 128 135 136 136 136 136 136 137 139
<ul> <li>第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復</li> <li>ファクトリリセットのデバッグ</li> <li>Arcserve アプライアンス のインストール</li> <li>Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法</li> <li>10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10048DR-10576DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9012-9048 シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9072-9504DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>エシリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10024BU-10576DR シリーズ アプライアンスでの Arcserve UDP ファクトリリセット</li> <li>適用</li> <li>BIOS からのファクトリリセット</li> <li>Arcserve UDP コンソールからのファクトリリセット</li> <li>9012 - 9504 DR シリーズ アプライアンスのブート オプションを使用した Arcserve UDP ファクトリリセットの適用</li> </ul>	124 
<ul> <li>第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復</li> <li>ファクトリリセットのデバッグ</li> <li>Arcserve アプライアンス のインストール</li> <li>Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法</li> <li>10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10048DR-10576DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9012-9048 シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9072-9504DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>x シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10024BU-10576DR シリーズ アプライアンスでの Arcserve UDP ファクトリリセット</li> <li>BIOS からのファクトリリセット</li> <li>Arcserve UDP コンソールからのファクトリリセット</li> <li>9012 - 9504 DR シリーズ アプライアンスのブート オプションを使用した Arcserve UDP ファクトリリセットの適用</li> <li>X シリーズ アプライアンスのブート オプションを使用した Arcserve UDP ファクト セットの適用</li> </ul>	124 125 127 128 135 136 136 136 136 136 137 139 e 142 IJIJ
<ul> <li>第7章: Arcserve アプライアンス のリスト アまたは修復</li> <li>ファクトリリセットのデバッグ</li> <li>Arcserve アプライアンス のインストール</li> <li>Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法</li> <li>10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10048DR-10576DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9012-9048 シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>9072-9504DR シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>x シリーズ アプライアンスの設置方法</li> <li>10024BU-10576DR シリーズ アプライアンスでの Arcserve UDP ファクトリリセット</li> <li>BIOS からのファクトリリセット</li> <li>Arcserve UDP コンソールからのファクトリリセット</li> <li>9012 - 9504 DR シリーズ アプライアンスのブート オプションを使用した Arcserve UDP ファクトリリセットの適用</li> <li>ス シリーズ アプライアンスのブート オプションを使用した Arcserve UDP ファクト</li> <li>マプライアンスのブート オプションを使用した Arcserve UDP ファクト</li> </ul>	124 125 127 128 135 136 136 136 136 136 137 139 e 142 144 147

9012-9504DR シリーズ アプライアンスでのデータを保存しないベア メタル復旧 (BMR)の実行	152
9012-9504DR シリーズ アプライアンスでのベア メタル復 旧( BMR) およびデータ保 存 の実 行	. 166
第9章:アプライアンスの容量拡張	173
Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR モデルの拡張 キット での操作	173
Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR モデルの SSD フラッシュ拡張 キット での 操作	D 178
Arcserve アプライアンス拡張キットの操作 - x シリーズモデル	181
Arcserve X シリーズ アプライアンスの SSD フラッシュ拡張 キットの操作	183
Arcserve アプライアンス 9072-9504DR モデルの拡張 キット での操作	. 190
Arcserve アプライアンス 9072-9504 DR モデルの SSD フラッシュ拡張 キットの操作	.195
第10章:ネットワーク設定の操作	.199
ネットワーク設定の詳細	. 200
DHCP サーバを無効化する方法	. 204
プリインストールされた Linux バックアップ サーバの IP アドレスを設定する方法…	.205
負荷分散のために DNS サーバ上 でラウンド ロビンを有効にする方法	. 207
アプライアンスのネット ワークス テータスを確認 する方法	. 208
第11章:安全に関する注意事項についての理解	209
一般的な安全に関する注意事項	. 210
電気に関する安全のための注意事項	212
FCC コンプライアンス	213
静電気放電(ESD)に関する注意事項	214
Arcserve アプライアンス 10000 シリーズのファームウェアのアップグ レード	215
ファームウェアのバージョンの表示	. 215
ファームウェア アップグレード パッケージのダウンロード	217
ファームウェアのアップグレード	. 218
BMC ファームウェアのアップグレード方法	218
BIOS ファームウェアのアップグレード方法	221
更新されたファームウェアの確認	. 225
第11章: Arcserve アプライアンス 9000 シリーズのファームウェアの アップグレード	226
Arcserve アプライアンス 9000 シリーズの BIOS ファームウェアのアップグレード	
ファームウェアのバージョンの表示	226
方法 1: iDRAC Web インターフェースから BIOS ファームウェアのバージョンを表示する	228
方法 2: BIOS Arcserve Appliance 9000 シリーズから BIOS ファームウェア バージョンを表示する	5.228
BIOS の更新されたパッケージのダウンロード	. 229

BIOS のアップグレード	.229
更新されたファームウェアの確認	.230
システム ログを使用して更新された BIOS を確認する	231
iDRAC Web インターフェースまたは BIOS から更新された BIOS を確認する	232
Arcserve アプライアンス 9000 シリーズの iDRAC ファームウェアのアップグレード	232
iDRAC ファームウェア バージョンの表示	. 232
iDRAC Web インターフェースから iDRAC ファームウェアのバージョンを表示する	232
方法 2: BIOS Arcserve Appliance 9000 シリーズから iDRAC ファームウェアのバージョンを表示す ス	+
☆ iDRAC パスワードの変 更 方 法	235
	234
iDRAC のアップグレード	235
更新された iDBAC の確認	236
システム ログを使 用して更 新された iDBAC を確認 する	236
iDRAC Web インターフェースまたは iDRAC から更新された BIOS を確認する	237
Arcserve アプライアンス X シリーズのファームウェアのアップグレー	
F	238
Arcserve アプライアンス X シリーズの BIOS ファームウェアのアップグレード	.238
BIOS ファームウェア バージョンの表示	.238
方法 1: iDRAC Web インターフェースから BIOS ファームウェアのバージョンを表示する	238
方法 2: BIOS Arcserve アプライアンス X シリーズから BIOS ファームウェア バージョンを表示する	239
BIOS の更新されたパッケージのダウンロード	.240
BIOS のアップグレード	.240
更新された BIOS の確認	241
Arcserve アプライアンス X シリーズの iDRAC ファームウェアのアップグレード	.241
iDRAC ファームウェア バージョンの表示	. 241
方法 1: iDRAC Web インターフェースから iDRAC ファームウェアのバージョンを表示する	. 241
方法 2: BIOS Arcserve アプライアンス X シリーズから iDRAC ファームウェア バージョンを表示す	<b>Z242</b>
iDRAC の更新されたパッケージのダウンロード	. 243
iDRAC のアップグレード	.243
更新された iDRAC の確認	244
第12章:トラフルシューティング	245
Linux バックアップ サーバにコンソールから接続 できない	.246
別のアプライアンスから Arcserve アプライアンス のバックアップを実行すると重複 ノードがレポートされる	.247
Linux バックアップ サーバがネット ワーク内 のノードと通信 できない	.248
Linux バックアップ サーバがネット ワーク DNS サフィックスを取得 できない	.250
アプライアンスのデフォルト のタイム ゾーン	.251

	-
ライセンスが利用可能な場合でもライセンスエラーが発生する	
第13章: ベスト プラクティスの適用	253
ネットワーク構成に関する推奨事項	254
PowerShell コマンドレットによる Windows Defender のベストプラクティス	257
プリインストールされた Linux バックアップ サーバを外部 ネットワークに設定する	. 257
ボリュームをまたぐデデュプリケーション データスト アを作 成 するためのベスト プラ ティス	ל 258
第14章:使用条件	261
PuTTY	

# 第1章: Arcserve アプライアンスのドキュメントについて

Arcserve アプライアンスユーザガイドは、Arcserve アプライアンスを使用する方法の理解に役立ちます。Arcserve アプライアンスの特長については、「概要」を参照してください。残りのセクションでは、Arcserve アプライアンスのインストールと使用方法について説明します。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

<u>言語サポート</u>	2
<u>製品ドキュメント</u>	3

# 言語サポート

翻訳済み製品(ローカライズ済み製品とも言います)とは、製品のユーザインターフェース、オンライン ヘルプ、その他のドキュメントのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

このリリースは英語版のみです。

# 製品ドキュメント

Arcserve UDP 関連のすべてのドキュメントを参照するには、このリンクをクリックして Arcserve のドキュメントにアクセスしてください。

Arcserve UDP ナレッジ センターは、以下のドキュメントで構成されています。

■ Arcserve UDP ソリューション ガイド

一元管理されたコンソール環境で Arcserve UDP ソリューションを使用するため の詳細情報が提供されています。このガイドには、ソリューションをインストール および設定する方法、データを保護およびリストアする方法、レポートを取得 する方法、Arcserve High Availability を管理する方法などの情報が含まれて います。手順には、コンソールの使用を中心に、さまざまな保護プランの使用 方法が含まれています。

#### Arcserve UDP リリースノート

Arcserve Unified Data Protection の主な機能、システム要件、既知の問題、 ドキュメントの問題、制限事項などの概要が説明されています。

■ Arcserve UDP Agent for Windows ユーザ ガイド

Windows オペレーティング システムで Arcserve UDP Agent を使用するための詳細情報が提供されています。このガイドには、エージェントをインストールおよび設定する方法、Windows ノードを保護およびリストアする方法などの情報が含まれています。

#### <sup>■</sup> Arcserve UDP Agent for Linux ユーザ ガイド

Linux オペレーティング システムで Arcserve UDP Agent を使用 するための詳細 情報が提供されています。このガイドには、エージェントをインストールおよび 設定する方法、Linux ノードを保護およびリストアする方法などの情報が含ま れています。

# 第2章: Arcserve アプライアンスの紹介

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

概要	6
<u>安全に関する注意事項</u>	11
同梱されている内容	
<u>箱に含まれていない項目</u>	
<u>利用可能なモデル</u>	
<u>コントロールおよびインジケータ</u>	
アプライアンスが使用するポート	35

#### 概要

Arcserve アプライアンスは、アシュアードリカバリ™を初めて搭載した、完成され最 もコスト効率の良い保護アプライアンスです。各 Arcserve アプライアンスは、自己 完結型の「set and forget (設定後は作業不要)」のバックアップ/復旧ソリューショ ンです。クラウドネイティブ機能によって構築されており、その極めて容易な導入と ユーザビリティが、一連の幅広い機能(ソースベースのグローバルデデュプリケー ション、マルチサイトレプリケーション、テープのサポート、自動化されたデータ復旧 機能などの)と組み合わされています。Arcserve アプライアンスは、運用において 優れた敏捷性と効率性を実現し、障害復旧作業を大幅に簡略化します。

Arcserve アプライアンスは、最新のハードウェアにプリインストールされている主要 な Arcserve Unified Data Protection ソフトウェアと完全に統合されています。アプラ イアンスは、すべてのユーザに対して、完全な統合データ保護ソリューションを提 供し、現在の需要を満たすだけでなく、絶え間なく変化するバックアップ、アーカイ ブ、惨事復旧(DR)の今後の要件にも対応できます。

Arcserve アプライアンス にプリインストールされたソフト ウェアは、以下のとおりです。

- Arcserve UDP
- Arcserve Unified Data Protection Agent for Linux
- Arcserve Backup

Arcserve アプライアンス にはハード ウェア保 証 が規 程 されています。 アプライアンス の保 証 の詳 細 については、 <u>アプライアンスの保 証</u>]を参 照してください。

#### **Arcserve Unified Data Protection**

Arcserve UDP ソフトウェアは、複雑な IT 環境を保護する包括的なソリューションで す。このソリューションは、Windows、Linux、VMware ESX Server、Microsoft Hyper-V Server など、さまざまな種類のノードに存在するデータを保護します。ローカルマシ ンまたは復旧ポイント サーバのいずれかへデータをバックアップできます。復旧ポイ ント サーバは複数のソースからのバックアップが保存される中央サーバです。

サポートされているオペレーティングシステムの詳細については、「<u>動作要件</u>」を参照してください。

Arcserve UDP には、以下の機能が用意されています。

- 復旧ポイント サーバ上のデデュプリケーション/非デデュプリケーション データスト アにデータをバックアップ
- Arcserve Backup (アプライアンスに含まれています)との統合を使用して、復旧 ポイントをテープにバックアップ
- バックアップ データから仮想スタンバイ マシンを作成
- バックアップ データを復旧ポイント サーバおよびリモート 復旧ポイント サーバに レプリケート
- バックアップデータをリストアし、ベアメタル復旧(BMR)を実行
- 選択したデータ バックアップ ファイルをセカンダリ バックアップ先 ヘコピー
- 環境内の重要なサーバに対して Arcserve Full System High Availability (HA)を 設定および管理

Arcserve UDP は、あるサーバから別の復旧ポイントサーバに復旧ポイントとして保存されるバックアップデータをレプリケートします。バックアップデータから、ソースノードで不具合が発生したときにスタンバイマシンとして機能できる仮想マシンを作成することもできます。スタンバイ仮想マシンを作成するには、復旧ポイントを VMware ESX または Microsoft Hyper-V 仮想マシン形式に変換します。

Arcserve UDP ソリューションは、Arcserve High Availability との統合を提供します。 Arcserve High Availability でシナリオを作成した後、これらのシナリオを管理および モニタし、デスティネーション マシンの追加や削除のような操作を実行できます。

詳細については、「<u>Arcserve UDP ソリューションガイド</u>」を参照してください。

### **Arcserve Unified Data Protection Agent for Linux**

Arcserve Unified Data Protection Agent for Linux は、Linux オペレーティングシステ ム用に設計されたディスクベースのバックアップ製品です。重要なビジネス情報を 保護および回復するための迅速でシンプル、信頼性の高い方法を提供します。 Arcserve Unified Data Protection Agent for Linux は、ノードの変更をブロックレベル で追跡し、増分プロセスで変更されたブロックのみをバックアップします。その結 果、バックアップを頻繁に実行できるため、各増分バックアップのサイズ(およびバッ クアップ ウィンドウ)が小さくなり、より多くの最新のバックアップが提供されます。 Arcserve Unified Data Protection Agent for Linux には、単一のバックアップからファイ ルまたはフォルダをリストアし、ベアメタル復旧(BMR)を実行する機能もあります。 バックアップ情報は、バックアップソースノードで、NFS (Network File System)共有 または CIFS (Common Internet File System)共有に保存できます。

Arcserve Unified Data Protection Agent for Linux の最新のバージョンは、アプライア ンス内の仮想マシンにプリインストールされます。この仮想マシンがLinux バックアッ プサーバになります。Arcserve Unified Data Protection Agent for Linux は、Arcserve アプライアンスのデフォルトのインストールパスにインストールされます。

コンソールを開くと、Linux バックアップサーバはすでにコンソールに追加されていま す。Linux バックアップサーバのネイティブホスト名はLinux-BackupSvrです。ただ し、コンソールでは、Linux バックアップサーバでは、ポート 8018 環境設定を使用 してアプライアンスのホスト名を適用します。Linux バックアップサーバは、ポートの 方向制御を通じて NAT の背後で動作します。Linux バックアップサーバでは、ポー ト 8018を使用して通信を行い、Arcserve アプライアンス内のデータを転送しま す。

**注**: バックアップ プランの作成および Linux マシンのリストアに関する詳細については、「<u>Arcserve UDP Agent for Linux ユーザガイド</u>」を参照してください。

Linux バックアップサーバでは、以下のデフォルトのログイン情報が使用されます。

- ユーザ名 root
- パスワード Arcserve

注:デフォルトのパスワードは変更することをお勧めします。

#### **Arcserve Backup**

Arcserve Backup は、多種多様な環境のビジネスニーズに対応する高性能な データ保護ソリューションです。本製品は、柔軟なバックアップとリストア、容易な 管理、幅広いデバイス互換性、そして信頼性を提供します。また、ストレージ要 件に応じてデータ保護戦略をカスタマイズできるため、データストレージの機能を 最大限に活用できます。さらに、柔軟なユーザインターフェースにより詳細な設定 が可能で、あらゆるユーザがその技術的知識のレベルにかかわらず、さまざまな エージェント機能や各種オプションを展開して保守できます。

Arcserve Backup には分散環境向けの包括的なデータ保護機能があり、ウイルス フリーのバックアップおよびリストア操作を実現します。多種多様なオプションとエー ジェントにより、企業全体でのデータ保護機能が強化され、さまざまな拡張機能 (オンライン ホット バックアップや、アプリケーションおよびデータファイルのリストア、 拡張デバイスおよびメディアの管理、惨事復旧など)が使用可能になります。

Arcserve アプライアンスに搭載されている Arcserve Backup との統合機能を使用 すると、テープへのバックアップを実行できます。InstallASBU.iso ファイルを使用して マウントおよびインストールした後、Arcserve Backup はコンピュータの「C:\Program Files (x86)\Arcserve」の場所にインストールされます。Arcserve アプライアンスにイン ストールされているコンポーネントを使用して、Arcserve UDP のデスティネーションを テープにバックアップできます。サポートされているオペレーティングシステムの詳細 については、「動作要件」を参照してください。

Arcserve Web サイトから Arcserve Backup のフルインストール パッケージをダウン ロードして、他のコンポーネントをインストールできます。詳細については、Arcserve Backup のドキュメントを参照してください。

Arcserve Backup サーバでは、以下のデフォルトのログイン情報が使用されます。

- ユーザ名 -- caroot
- パスワード -- Arcserve

### **Arcserve Continuous Availability**

Arcserve Continuous Availability は、非同期リアルタイムレプリケーション、自動化 されたスイッチオーバーおよびスイッチバックに基づくソリューションです。Windows サーバ上の仮想環境にコスト効率の高いビジネス継続性を提供します。サポート されているオペレーティングシステムの詳細については、「<u>動作要件</u>」を参照してく ださい。

Arcserve Continuous Availability は、データをローカルサーバまたはリモートサーバ にレプリケートできるため、サーバのクラッシュやサイトに惨事が発生した場合の データの回復をサポートします。ハイアベイラビリティのライセンスを所有している場 合、ユーザをレプリカサーバに手動または自動で切り替えることができます。

**注:** Arcserve Continuous Availability は、アプライアンスにプリインストールされていません。Arcserve Continuous Availability をインストールして設定する方法の詳細については、「<u>インストールガイド</u>」を参照してください

# 安全に関する注意事項

安全のため、Arcserve アプライアンスに対して開梱、接続、設置、電源投入などの操作を行う場合は、すべての手順を事前に確認し、指示に従ってください。安全に関する注意事項に従わないと、人身傷害、機器の破損、または誤動作などが発生する可能性があります。

安全に関する注意事項の詳細については、「<u>安全に関する注意事項(付録)</u>」 を参照してください。

## 同梱されている内容

このセクションでは、以下のアプライアンスシリーズのボックスに同梱されている内容について説明します。

- <u>10000 シリーズ</u>
- 9000 シリーズ
- <u>x シリーズ</u>

# アプライアンス 10000 シリーズのボックスに同梱されている内容

10048DR-10576DR 付属品ボックスに同梱されている品目は、以下のとおりです。

- クイックスタート ガイド、Arcserve アプライアンス導入シート
- Arcserve QR リーフレット(ガイドへの QR コード付き)
- Arcserve 10K サーバ ハードウェア インストール ガイド 1 冊
- 電源コード(c13 nema 5-15p) 2本。ボックスには、米国標準の電源コード に加えて、注文先の国の電源コードが一組追加されます。
- レールキット/ブラケット セットー組
- 3.5 インチ HDD 用ネジ1袋
- <sup>1</sup> 2.5 インチ HDD 用ネジ1袋
- ケーブル、Flexboot、CAT6、ネットワーク、3 フィート(約 0.9 m)、青ケーブル、 Flexboot、CAT6、ネットワーク、7 フィート(約 2.1 m)、黒

# アプライアンス 9000 シリーズのボックスに同梱されている内容

Arcserve アプライアンス 9000 シリーズのボックスは、9012、9024、9048 用と 9072DR-9504DR 用の2 種類あります。下記リストには、両方のボックスの内容を 記載します。

9012、9024、9048 付属品ボックスに同梱されている品目は、以下のとおりです。

- ベゼル、1U ボックス、CUS 14G ベゼル アセンブリ、LCD、AR、(380-7406)
- ARCSERVE クイック スタート ガイド、ARCSERVE アプライアンス導入シート
- ARCSERVE DELL R440 ハードウェア取り付 けガイド
- ケーブル、FLEXBOOT、CAT6、ネットワーク、3 FT 赤
- ケーブル、FLEXBOOT、CAT6、ネットワーク、3 FT 青
- ╹ ケーブル、FLEXBOOT、CAT6、ネットワーク、7 FT 黒
- Dell 安全環境規制ブック
- US 電源コード(2x) a

注: アプライアンスに同梱されている内容をチェックして、足りない項目がないかどうか、および破損がないことを確認します。不足品や破損品がある場合は、すべてのパッケージ資材を保持して Arcserve サポートにご連絡ください。

ラックレールキットが付属する 9072DR-9504DR ボックスに同梱される品目は、以下のとおりです。

- ベゼル、2U ボックス、CUS 14G ベゼル アセンブリ、LCD、AR、(380-7405)
- ARCSERVE クイックスタート ガイド、ARCSERVE アプライアンス 導入シート
- ハードウェア インストール ガイド ARCSERVE DELL R740
- ケーブル、FLEXBOOT、CAT6、ネットワーク、3 FT 赤
- ケーブル、FLEXBOOT、CAT6、ネットワーク、3 FT 青
- ケーブル、FLEXBOOT、CAT6、ネットワーク、7 FT 黒
- ケーブルアセンブリ、ミニ SAS、外部、SFF-8644 から SFF-8088 1M
- Dell 安全環境規制ブック
- US 電源コード(2x)

# アプライアンス x シリーズのボックスに同梱されている内容

Arcserve アプライアンス X シリーズには、以下の項目が含まれます。

- アプライアンス x シリーズ コンピュート ノード :
  - MICROSOFT
  - WIN SVR EMB STD 2019 16-CORE

コンピュート ノード アクセサリボックス:

- \* Windows 4-Core 拡張 ライセンス(数量 10)
- ◆ ハードウェア セットアップ ガイド、ARCSERVE R740
- ◆ Arcserve クイックスタート ガイド、UDP アプライアンス導入シート
- Dell 安全に関する情報
- 電源コード(2本)、米国または国別仕様(注文した場合)
- ラックマウント スライド レールキット
- ◆ ケーブル管理アーム
- ◆ オプションのコンポーネント(注文した場合):
  - SFP
  - SAS ケーブル
  - DAC ケーブル

**注:**以下は、アレイの前面に取り付けられます。Arcserve ME4084ペ イント ベゼルとバブル バッジ アセンブリ。

アプライアンス X シリーズ ストレージ ノード

50 ストレージ システム ボックスには、以下のものが同梱されています。

- ◆ マニュアル
- \* 5U ストレージ アプライアンス エンクロージャ
- ◆ 電源ケーブル2本
- ◆ 個別パッケージのディスクドライブ(50 エンクロージャのみ)
- ◆ ファイバチャネルまたは iSCSI SFP+トランシーバまたはケーブル(ホスト ポートごとに1つ)
- ホスト ケーブル(コントローラ モジュール ホスト ポートごとに1本)
- ◆ 拡張ケーブル(拡張モジュールごとに1本)

14 Arcserve アプライアンス ユーザ ガイド

オプションのキー付きエンクロージャベゼルセット(50 エンクロージャごとに1つ)

5U ストレージ システム エンクロージャ用の適切なラックマウントキット
 ME4084 アクセサリボックス:

- ◆ ハードウェア セット アップ ガイド、ARCSERVE ME4084
- \* ラックマウント スライド レールセット
- \* C19 から C20、PDU 形式、2.5M 電源コード(2本)
- ・ シリアルケーブル
- \* 12Gb HD-Mini ~ HD-Mini SAS Cable、2M(4 本)
- ◆ ストレージ アレイ規制情報ドキュメント
- \* ストレージ アレイのセット アップドキュメント
- \* 安全および環境情報ドキュメント
- ◆ ベゼル取り外しレンチ
- \* 未使用のドライブ番号ラベル

注: ハードドライブは、アレイの下の別のボックスに入っています。

注:アプライアンスに同梱されている内容をチェックして、足りない項目がないかどうか、および破損がないことを確認します。不足品や破損品がある場合は、すべてのパッケージ資材を保持してArcserveサポートにご連絡ください。

# 箱に含まれていない項目

以下の項目は、箱に含まれておらず、アプライアンスの設置および設定に必要となる場合があります。

- モニタ
- *キ*—ボ—ド
- 外部ストレージデバイス(必要な場合)

# 利用可能なモデル

Arcserve アプライアンス 9000 シリーズおよび X シリーズは、お客様のさまざまなニーズを満たすように設計された多種多様なモデルで提供されています。

- <u>モデル 10024BU 10576DR</u>
- <u>モデル 9012-9504 DR</u>
- <sup>■</sup> <u>モデル X シリーズ</u>

# モデル 10024BU-10576DR

	Arcserve アプライアンス 10K シリーズの仕様									
アプライア ンス モデル	10048DR	10072DR	10144DR	10192DR	10288DR	10384DR	10576DR			
実効容量 ( TB) 1	48	72	144	192	288	384	576			
使用可能 な容量	16 TB	24 TB	48 TB	64 TB	96 TB	128 TB	192 TB			
拡張キット 使用時の 最大使用 可能容量	40 TB	40 TB	80 TB	80 TB	160 TB	160 TB	N/A			
フォーム ファ クタ		2U								
ベース RAM ( DDR5 5600)	128 GB ( 4x32 GB)	8 GB     384 GB       x32     256 GB ( 8x32 GB)     ( 12x32       GB     GB     GB								
最大 RAM				512 GB						
SAS 12G HDD エン タープライ ズ グレード 7.2k	6x4 TB	8x4 TB	8x8 TB	10x8 TB	8x16 TB	10x16 TB	14x16 TB			
NVMe M.2		OS お	らよび UDP	用に2x48	O GB ( RAI	D 1)				
SSD		1	ヽッシュ用	⊂2x 3.2 T	B ( RAID 1)					
CPU		デュア	ルIntel® >	(eon <sup>®</sup> Silve	er 4510T 1	2C 2 G				
RAID コント ローラ	Broa	Broadcom 3916 ( CacheVault 書き込みキャッシュ保護付き)								
HDD RAID		RAID6								

Arcserve アプライアンス モデル 10024BU - 10576DR

設定											
ドライブ ベ イ			14	xHDD、2x	SSD						
オプションの RAM 拡張 キット	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	✓ ✓		$\checkmark$	$\checkmark$				
DIMM ス ロット		16									
NIC	合計 4 オ	合計 4 ポート。2x 10GbE オンボード。Broadcom BCM57416 を介した 2x 10 GbE Base-T									
利用可能 な PCle ス ロット		3 ( ロー プロファイル)									
リモート ハード ウェア 管理			IPMI (	拡張ライ	センス)						
電源	2x	1600W 万	長チタン	レベル(96	<u>%) ホット 2</u>	スワップ交	換				
HDD キット ( オプショ ン)	8x4 TB (24 TB) RAM の アップグ レードを 推奨	6x4 TB ( 16 TB)	6x8 TB ( 32 TB)	4x8 TB ( 16 TB)	6x16 TB ( 64 TB)	4x16 TB (32 TB) RAM の アップグ レードを 推奨	х				
RAM 拡張 キット(オプ ション)	128 GB ( 各キット l 注文でき 大 3 -	4x32)の は複数個 ます。最 キット	128 GB( 文で	4x32) の名 ごきます。 🗄	トキット は 表大 2 キッ	复数個注 小。	128 GB ( 4x32) 最大 1 キット。				
Broadcom Aero HBA 9500-8e PCle Gen4				オプション							
Broadcom BCM57416 デュアル ポート 10Gbps Base-T アダ プタ		オプション									
Intel X710 Std LP デュ アルポート 10G SFP+				オプション							

Broadcom BCM57414 Std LP デュ アルポート 25G SFP28	オプション
QLogic 2692 デュア ルポート 16Gb ファイ バチャネル HBA	オプション
重さ	総重量: 62 ポンド(28.12 kg) 正味重量: 41.5 ポンド(18.82 kg)
<i>パッケージ</i> 寸法	658 x 274 x 998mm ( 25.9 インチ x 10.8 インチ x 39.3 インチ)
ラック内寸 法	437 x 89 x 705mm ( 17.2 インチ x 3.5 インチ x 27.75 インチ)

注: 実効容量は、グローバルソースデデュプリケーションを考慮し、使用可能な 容量の3倍に等しくなります。実際のバックアップ容量は、データの種類、バック アップの種類、スケジュール、およびその他の要因によって異なる場合があります。

# モデル 9012 - 9504DR

	Arcserve アプライアンス 9000 シリーズの仕様										
アプライ アンス モデル	901 <sup>.</sup> 2	902 <sup>.</sup> 4	904 <sup>.</sup> 8	9072D- R	9096D R	9144D R	9192D R	9240D R	9288D R	9360D R	9504DR
使用可 能な容 量	4 TB	8 TB	16 TB	24 TB	32 TB	48 TB	64 TB	80 TB	96 TB	120 TB	168 TB
ソース バック アップ	12 TB	24 TB	48 TB	72 TB	96 TB	144 TB	192 TB	240 TB	288 TB	360 TB	504 TB
システム RAM	6 x 8	8 GB GB)	( 48		12 x 16 GB ( 192 GB)						
最大 RAM / DIMM	176 D	GB / IMM	′ 10 S			576 G	B / 24 C	DIMMS			768 GB / 24 DIMMS

Arcserve アプライアンス モデル 9012 - 9504DR

SSDドラ イブ	480 GB SSD	2 x 1.9 TB SSD ( RAID1)							
プロセッ サ	Intel Xeon Silver 4108, 8 - CORE, 1.8 GHz	Intel Xeon Silver 4114, 10 - CORE, 2.2 GHz					2		
プロセッ サ数	1	2							
RAID カード	PERC H730P 低プロファイ ル、アダプタ、 2 GB NV キャッシュ	PERC H730P、ミニカード、2 GB NV キャッシュ					ı		
RAID 構 成	RAID-5	RAID-6							
ドライブ ベイ	4		16						
拡張 キット	N/A	11	10	8	6	4	6	4	N/A
RAID 2	N/A					6			
ドライブ	3 x 2 TB 4 TB 8 TB	5 x 8 TB	6 x 8 TB	8 x 8 TB	10 x 8 TB	12 x 8 TB	10 x 12 TB	12 x 12 TB	16 x 12 TB
基本 PCle カード	オンボード Broadcom 5720 デュアル ポート 1 Gb LOM	Broadc	3roadcom 5720 QP 1 Gb ネットワークドータカード SAS 12Gbps HBA 外部コントローラ				Broadco- m 5720 QP 1 Gb SAS 12Gbps HBA 外 部デュア ルポー ト 10 G Base-T 銅線		
PCle カード ( ファクト リオプ ション)	SAS 12Gbps HBA 外部コ ントローラ Broadcom 5719 クアッド ポート 1 G NIC		デ デ デ:	ュアル; ュアル; ュアルオ	ポート 1 ポート 1 ポート FC	.0 G 銅 .0 G SFF C 16 G F	線 > + IBA		デュアル ポート 10 G SFP + デュアル ポート FC 16 G HBA

	デュアルポー ト 10 G 銅線		
	デュアル ポー ト 10 G SEP +		
	デュアルポー ト FC 16 G		
	HBA		
電源	デュアル、ホッ ト プラグ、冗 長電源(1+ 1)、550 W	デュアル、ホット プラグ、冗長電源(1+1)、75	50 W
iDRAC Enterpri-		1	
se			

# モデル X シリーズ

Arcserve アプライアンス モデル X シリーズ

Arcserve アプライアンス X シリーズの仕様							
アプライアンス モデル	X1000DR	X1500DR	X2000DR	X2500DR	X3000DR		
実効容量( TB) <sup>1</sup>	1,056	1,584	2,112	2,640	3,168		
拡張 <i>キ</i> ット使用時の最大 実効容量(TB) <sup>1</sup>	3,168						
注: 実効容量は、グローバルソース デデュプリケーションを考慮したもので、HDD の使用可能容量の約3倍で、SSDは含まれません。実際のバックアップ容量は、 データの種類、バックアップの種類、スケジュールなどの要因によって異なる場合 があります。							
ディスク イメージングおよび ディザスタ リカバリ ソフト Arcserve UDP Premium Edition に含む ウェア				む			
テープ統合ソフトウェア		Arcserv	e Backup (	こ含む			
Continuous Availabilityと 自動フェールオーバ	Arcserve Continuous Availability のオプション						
コンピュート ノード							
CPU	Dual Ir 10.4GT/s	ntel Xeon G 5、38.5M キ	old 6258R ヤツシュ、ク	2.7G、28C, <sup>z</sup> —ボ、HT	/56T、 ( 205W)		
デフォルト RAM	1,02	24 GB ( 16 x	64) DDR4	-3200 RDII	MM		
最大 RAM			2,048 GB				
DIMM スロット	24						

NVMe SSD	2 x 1.6TB ( RAID-1) および 6 x 4TB ( RAID-5)				(ID-5)	
ドライブ ベイ	24x 2.5" Enterprise NVMe SSD					
SAS 12Gbps HBA 外部コン トローラ	2x 付属					
Intel X550 Quad Port 10G Base-T アダプタ	同梱					
Broadcom 57414 デュアル ポート 25Gb SFP28 アダプタ	オプション					
Intel X710 デュアル ポート 10G SFP+ FC アダプタ	オプション					
QLogic 2692 デュアル ポー ト 16Gb ファイバ チャネル HBA	オプション					
リモート ハードウェア管理		idrac e	nterprise l	に含む		
電源	デュアル	、ホットプラ	グ、冗長電	[源(1+1)]	、1100W	
放熱						
 重さ	75 ポンド (34 kg)					
フォームファクタ						
ラック内寸法(ベゼル、前 面パネル、電源ハンドルを 除く)	26.7" x 1	.7.1" x 3.4"	( 67.9 cm ›	( 43.4 cm >	(8.7cm)	
外形寸法(ベゼル、前面 パネル、電源ハンドルを含 む)	29.6 インチ x 19.0 インチ x 3.4 インチ( 75.1 cm x 48.2 cm x 8.7cm)					
パッケージ寸法	38 インチ x 26 インチ x 12 インチ( 97 cm x 66 cm x 30 cm)					
	ストレージ ノード					
16TB SAS 12G ホット プラグ HDD	28	42	56	70	84	
最小使用可能容量	352	528	704	880	1056	
オプション キット による線形 拡張機能	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$		
RAID レベル	RAID-ADAPT					
RAID コントローラ	デュアル 8-port SAS 12Gb コントローラ				-ラ	
HDD のホット スペア容量						
	デュアル、冗長(1+1)、2200W					
放熱	7507 BTU					
 重さ	141 ポンド(64kg)から298 ポンド(135kg)					
フォームファクタ		50				
外形寸法(ベゼル、前面 パネル、雷源ハンドルを今	38.31 インチ x 19.01 インチ x 8.75 インチ( 97.47 cm x					
		-0.50				

L .	
171	

# コントロールおよびインジケータ

Arcserve アプライアンス には、前面 および背面 のパネルと各ドライブ キャリアにいく つかのコントロールとインジケータ(LED) が備 わっています。これらのコントロールおよ びインジケータによって、さまざまな機能を制御でき、アプライアンスとコンポーネン トのステータスをすばやく参照する機能を提供します。

- 前面パネル10024BU-10048BU
- 前面パネル10048DR-10576DR
- 前面パネル9012-9048
- <u>前面パネル9072DR-9504DR</u>
- 前面パネルXシリーズ
- 背面パネル10024BU-10048BU
- <sup>■</sup>背面パネル10048DR-10576DR
- 背面パネル9012-9048
- 背面パネル9072DR-9504DR
- 背面パネルXシリーズ
- 上面図 10024BU-10048BU

# 前面パネル10048DR-10576DR

Arcserve アプライアンスの前面パネルには、コントロールパネルボタン、コントロールパネル LED、ドライブ キャリア LED が備わっています。以下の表で、これらのアイテムについて説明します。



Control Panel IPMI password and Arcserve Appliance model number

コントロール/インジケー タ	説明
0 ~ 5	SAS 3.5 インチ HDD。詳細については、「 <u>ドライブ キャリア</u> LED」を参照してください。
6 ~ 11	SAS 3.5 インチ HDD。詳細については、「 <u>ドライブ キャリア</u> LED」を参照してください。
12 ~ 13	SAS 3.5 インチ HDD。詳細については、「 <u>ドライブ キャリア</u>
	LED」を参照してください。
---	--
14 ~ 15	SAS 2.5 インチ SSD。詳細については、「 <u>ドライブ キャリア</u> LED」を参照してください。
コントロール パネル	電源ボタン、リセット ボタン、および LED インジケータがあ ります。詳細については、「 <u>コントロール パネル</u> 」を参照し てください。
IPMI パスワードおよび Arcserve アプライアンスの モデル番号	IPMI パスワードおよび Arcserve アプライアンスのモデル番 号 が記 載されています。

## ドライブ キャリアの LED

各ドライブ キャリアには、アクティビティおよびステータス インジケータという2 つの LED インジケータがあります。コントローラを使用した RAID 設定の場合、ステータス インジケータの意味は以下の表のとおりです。

	<b>A</b>		デバイスの
			動作
			設置済み
			の
		」 占 /T	SAS/NVMe
	Ħ 		ドライブが
			アイドル状
			態
アクティビティ LED	·	占述	1/0 アクティ
	Ħ		ビティ
			設置済み
			のSATAド
	オフ		ライブがア
			イドル状
			態
	赤	点灯	RSTe をサ
			ポートする
			ドライブの
			障害
	赤	1 Hz で点 滅	RSTe をサ
			ポートする
AT-9ALED			ドライブの
			再構築
	赤	1 Hz で 2 回点 滅し 1 回停止の 繰り返し	RSTe をサ
			ポートする
			ドライブの
			ホット スペ
h	•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•

		ア
赤	1 Hz で 2 回点 滅し 1 回停止の 繰り返し	RSTe をサ ポート する ドライブの 電 源 オン
赤	4 Hz で点 滅	RSTe をサ ポートする ドライブの 識別
緑	点灯	NVMeドラ イブを安 全に取り 外し可能
黄	1 Hz で点 滅	NVMeドラ イブは取り 外し不可

コントロールパネル



コントロール/インジケー タ	説明
電源ボタン	主電源スイッチは、サーバの主電源をオンまたはオフにします が、スタンバイ電力は維持します。
リセット ボタン	システムを再起動します。
電源 LED	システムの電源ユニットに電力が供給されていることを示しま す。この LED は、システムが正常に動作しているときに点灯しま す。
HDD	点滅は、ストレージドライブのアクティビティを示します。
NIC LED	点滅は、LAN のネットワーク アクティビティを示します。

電源異常 LED	電源モジュールが失敗したことを示します。
情報 LED	オペレータに複数の状態を通知します。詳細について は、「情報 LED」を参照してください。

## 情報 LED

以下の表で、情報 LED のステータスについて説明します。

色、ステータス	説明
赤、継続的	過熱状態が発生しました。
赤、1 Hz で点 滅	ファン障害。動作していないファンがないか確認してくださ い。
赤、0.25 Hz で点滅	電源障害。稼働中でない電源がないか確認してください。
青、点灯	ラック環境でサーバを見つけるために、UID がローカルでア クティブ化されています。
青、点滅	ラック環境でサーバを見つけるために、BMC を使用して UID がアクティブ化されています。

## 前面パネル9012-9048

Arcserve アプライアンス の前面 パネルには、コントロール パネルボタン、コントロールパネル LED、ドライブ キャリア LED が備わっています。以下 の表で、これらのアイテムについて説明します。



番 号	コントロール/インジ ケータ	アイコン	説明
1	左 コント ロール パネル	N/A	システム健全性、システム ID、ステータス LED、 および iDRAC クイック同期 2 (ワイヤレス) インジ ケータを搭載しています。 注: DRAC クイック同期 2 インジケータは、特定 の構成にのみ搭載されています。 ・ ステータス LED: 障害の発生したハード ウェア コンポーネントを識別することがで

			きます。 最大 5 つステータス LED およびシ
			ステム全体の健全性 LED (シャーシの健
			全性とシステム ID) バーを備えています。
			詳細については、 <u>リンク</u> を参照してくださ
			ι
			<ul> <li>・ クイック同期 2 (ワイヤレス): クイック同</li> </ul>
			期が有効になっているシステムを示しま
			す。クイック同期機能はオプションです。こ
			の機能を使用すると、モバイルデバイス
			でシステムを管理できます。この機能によ
			り、ハードウェアやファームウェア インベント
			リ、および各種システムレベルの診断とエ
			ラー情報が集約され、システムのトラブル
			シューティングで使用することができます。
			詳細については、 <u>リンク</u> を参照してくださ
			ι ν <sub>°</sub>
			システムでサポートされているドライブをインス
2	ドライブ スロット	N/A	トールできます。ドライブに関する詳細について
			は、 <u>リンク</u> を参照してください。
2	オプティカルドライブ( オプ	NI / A	オプションで1基のスリムSATA DVD-ROMドライ
5	ション)		ブまたは DVD + RW ドライブ
			表示デバイスをシステムに接続するすることがで
4			きます。
5	USB ポート ( オプション)	ss <del>~.</del>	USB ポートは、USB 2.0 準拠です。
			電源ボタン、USB ポート、iDRAC ダイレクト マイク
6	右コントロール パネル	N/A	ロ ポート、および iDRAC ダイレクト ステータス
			LEDを搭載しています。
			情報タグはスライド式のラベルパネルで、サービ
			スタグ、NIC、MAC アドレスといったシステム情報
7	情報タグ	N/A	が格納されています。iDRAC への安全なデフォ
			ルト アクセスを選択すると、情報タグには iDRAC
			の安全なデフォルトパスワードも格納されます。

### 前面パネル9072DR - 9504DR

Arcserve アプライアンスの前面パネルには、コントロールパネルボタン、コントロールパネルLED、ドライブキャリアLEDを搭載しています。以下の表で、これらのアイテムについて説明します。



番号	コントロール/インジケー タ	アイコン	説明
1	左コントロール パネル	N/A	システム健全性、システム ID、ス テータス LED、オプションで iDRAC ク イック同期 2 ( ワイヤレス) インジケー タを搭載しています。
2	ドライブ スロット	N/A	システムでサポートされているドライ ブをインストールできます。詳細につ いては、 <u>リンク</u> を参照してください。
3	右 コント ロール パネル	N/A	電 源 ボタン、VGA ポート、iDRAC ダ イレクト マイクロ USB ポート、および 2 つの USB 2.0 ポートを備 えていま す。
4	情報タグ	N/A	情報タグはスライド式のラベルパネ ルで、サービスタグ、NIC、MAC アド レスといったシステム情報が格納さ れています。iDRAC への安全なデ フォルト アクセスを選択すると、情 報タグには iDRAC の安全なデフォル ト パスワードも格納されます。

### 前面パネルXシリーズ

前面パネルの詳細については、「<u>X シリーズ アプライアンスの設置 - コンピュート</u> ノード」および「<u>X シリーズ アプライアンスの設置 - ストレージ ノード</u>」を参照してくだ さい。

#### 背面パネル10048DR-10576DR

Arcserve アプライアンスの背面パネルには、拡張カードスロット、電源モジュール、 ユニット 識別 LED、LAN ポート、USB ポート、VGA ポート、BMC LAN ポート、および COM ポートがあります。以下の表で、これらのアイテムについて説明します。



コントロール/インジケータ	説明
R0、R1	使用不可
1	ハードウェア RAID コントローラ
2	ハードウェア RAID コントローラのキャッシュボー
2	ルト
3	10 GbE Base-T
4	オプション カード 用 拡 張 スロット ( ロー プロファイ
4	ル)
5	オプション カード 用拡張 スロット(ロー プロファイ
	ル)
6	オプション カード 用拡張 スロット(ロー プロファイ
	ル)
雷源	デュアル冗長 1600 W 電源。詳細については、
	「 <u>電源インジケータ</u> 」を参照してください。
сом ポート	シリアルポート( RS-232)
IPMI ポート	専用 IPMI LAN ポート
USB ポート	4 つの USB 3.0 ポート
VGA ポート	1 つのビデオ ポート
LAN ポート	2 つの RJ45 10 GbE LAN ポート

**注:** シリーズ番号は、サーバの背面パネルのVGA ポートの近くと、IPMI インターフェースで確認できます。

## 電源インジケータ

電源の状態	緑色の LED	黄 色 の
-------	---------	-------------

		LED
AC 電源なし	消灯	消 灯
電源の致命的なイベントによりシャットダウン/障 害/OCP/OVP/ファン障害/OTP/UVP が発生	消灯	黄 色 の LED
高温、過電圧、低電圧などの電源警告イベント (電源は引き続き動作)	消灯	1 Hz で黄色に点滅
AC 電源があり、12 VSB のみがオン( PS オフ)	1 Hz で緑色に点滅	消 灯
出カオン、正常	禄	消 灯
AC コードが抜かれて冗長 モード	消灯	黄

### 背面パネル9012-9048

Arcserve アプライアンスの背面パネルには、アプライアンス用の電源、ケーブル接続、ポートが備わっています。以下の表で、これらのアイテムについて説明します。



番号	コントロール/インジ ケータ	アイコ ン	説明
1	シリアル ポート	10101	システムにシリアル デバイスを接続する際にシ リアルポートを使用します。詳細については、 <u>リンク</u> を参照してください。
2	iDRAC9 専用ネットワー クポート		個別の管理ネットワーク上で埋め込み型 iDRAC に安全にアクセスするには、iDRAC9 専 用のネットワークポートを使用します。詳細に ついては、 <u>リンク</u> を参照してください。

	<b>-</b>	_ <b>P</b>	Ethernet ポートを使用して、システムをローカ
3	Ethernet ホート(2)	66	ルエリアネットリーク(LAN) に接続します。
4	フル ハイト ライザー ス ロット		このカードスロットを使用して、フルハイト PCIe 拡張カードをフルハイト ライザーに取り付ま す。
5	電源装置 (PSU)		PSU 設定の詳細については、 <u>リンク</u> を参照して ください。
6	電源装置 (PSU)		PSU 設定の詳細については、 <u>リンク</u> を参照して ください。
7	LOM ライザー ポート ( 2)	र <sup>2</sup> ट	PSU 設定の詳細については、 <u>リンク</u> を参照して ください。
8	USB 3.0 ポート ( 2)	SS	USB 3.0 ポートを使用して、システムに USB デ バイスを接続します。 USB 3.0 ポートは、4 ピン USB 3.0 に準拠しています。
9	VGA ポート		VGA ポートを使用して、システムにディスプレイ を接続します。
10	CMA 電源ポート		ケーブル管理 Arm (CMA) 電源ポートを使用 して、CMA に接続するすることができます。
11	システム識 別 ボタン	٦	以下の場合に、システム ID ボタンを押しま す。 ・ ラック内の特定のシステムを確認する 場合 ・ システム ID を有効または無効にする場 合 iDRAC をリセットするには、ボタンを 15 秒押し 続けます。 注: ・ システム ID を使用して iDRAC をリセット する場合、iDRAC のセットアップでシステ ム ID ボタンが有効になっていることを確 認します。 ・ 実行後の処理中にシステムの応答が 停止した場合、システム ID ボタンを押 し続け(5 秒以上)、BIOS プログレス モードに切り替えます。

## 背面パネル9072DR-9504DR

Arcserve アプライアンスの背面パネルには、アプライアンス用の電源、ケーブル接続、ポートが備わっています。以下の表で、これらのアイテムについて説明します。



番号	コントロール/インジ ケータ	アイコン	説明
1	フルハイト PCIe 拡張 カード スロット(3)	N/A	PCle 拡張カード スロット(ライザー 1)を使用 して、最大 3 つのフルハイト PCle 拡張カー ドをシステムに取り付けることができます。詳 細については、 <u>リンク</u> を参照してください。
2	ハーフレングス PCle 拡張カード スロット		PCle 拡張カード スロット(ライザー2)を使用 して、1 つのハーフハイト PCle 拡張カードを システムに取り付けることができます。詳細 については、 <u>リンク</u> を参照してください。
3	背面ハンドル	N/A	背面ハンドルを取り外すと、PCleカードの外 部ケーブルを PCle 拡張カード スロット 6 に 取り付けることができます。
4	フルハイト PCIe 拡張 カード スロット(2)	N/A	PCle 拡張カード スロット(ライザー2)を使用 して、最大 2 つのフルハイト PCle 拡張カー ドをシステムに取り付けることができます。詳 細については、 <u>リンク</u> を参照してください。
5	フルレングス PCIe 拡 張カード スロット (2)	N/A	PCle 拡張カード スロット(ライザー3)を使用 して、最大 2 つのフルハイト PCle 拡張カー ドをシステムに取り付けることができます。詳 細については、 <u>リンク</u> を参照してください。
6	電源装置(2)	N/A	詳細については、 <u>リンク</u> を参照してください。
7	NIC ポート	<del>ठ</del> ठ	ネット ワークドーター カード(NDC) に統合さ れている NIC ポートを使用すると、ネット ワークに接続することができます。 サポートさ

			れている構成の詳細については、 <u>リンク</u> を参 照してください。
8	USB ポート ( 2)	SS-C-	USB ポートは、9 ピンおよび 3.0 に準 拠して います。 USB ポートには、 USB デバイスを接 続できます。
9	VGA ポート		表示デバイスをシステムに接続できます。 詳細については、 <u>リンク</u> を参照してください。
10	シリアルポート	10101	シリアル デバイスをシステムに接続できま す。詳細については、 <u>リンク</u> を参照してくださ い。
11	iDRAC9 専用ポート	3 E	iDRAC にリモート アクセスすることができま す。詳細については、 <u>リンク</u> を参照してくださ い。
12	システム識 別 ボタン	٢	システム識別(ID)ボタンは、システムの前 面と背面にあります。 ラック内のシステムを 識別するには、システム IDボタンを有効に してから、このボタンを押します。 また、 iDRACをリセットして、 BIOS モードで手順に 従う場合にも、 システム ID ボタンを使用し ます。

## 背面パネル X シリーズ

背面パネルの詳細については、「<u>X シリーズ アプライアンスの設置 - コンピュート</u> ノード」および「<u>X シリーズ アプライアンスの設置 - ストレージ ノード</u>」を参照してくだ さい。

## アプライアンスが使用するポート

以下のトピックでは、Arcserve UDP、Arcserve Backup、Linux 用アプライアンスのサポートで使用されるポートに関する情報を紹介します。

- Arcserve UDP
- Arcserve Backup
- Linux 用アプライアンスのサポート

#### **Arcserve UDP**

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- Microsoft Windows にインストールされるコンポーネント
- Linux にインストールされているコンポーネント
- リモートで UDP Linux により保護されている実稼働ノード

## Microsoft Windows にインストールされるコンポーネント

LAN環境を使用している場合、バックアップなどのジョブを行うには以下のポートが必要です。

ポー ト #	ポーの種類	起動 元	受信待機プロセス	説明
1433	ТСР	IJ <del>モ−</del> ト Java	sqlsrvr.exe	Arcserve UDソMSデスコに場間ルポ定 注ルポ Sをトとで invortional Arcserve ストーがン存合のトーし :トーLイーきき アールのServerですそう通をす う信は Serverです でしたいでするのかま デ通し Serスす変す でしたいでするのかにました。 のもののするのがにました。
4090	ТСР	Arcserv- e UDP エージェ ント	HATransServer.exe	フロキシ モードで仮 想スタンバ イタスクの データを転 送します。
5000- 5060	ТСР	Arcserv- e UDP サーバ	GDDServer.exe	Arcserve UDP RPS グ ローバルデ

	1																						
				デュプリケー																			
				ション デー																			
				タストア																			
				サービス																			
				(GDD) 用に																			
				予約されて																			
				います。1																			
				20																			
				Arcserve																			
				UDP GDD																			
				データスト																			
				712 5000																			
				い降の3つ																			
				の かき ポー																			
				の生と小																			
				より。 ひし																			
				テーダスト																			
				アI_XJ 9 つ いいたマぃプ																			
				ハックアッノ																			
				か有幼化																			
				されている																			
				場合、また																			
				はリストア																			
				タスクを使																			
				用している																			
				場合にはこ																			
				れが必要																			
				です。																			
				Arcserve																			
				UDPコン																			
				ソールと																			
																							Arcserve
		Arcserv-		Backup グ																			
6050	6052 ТСР	е	CA.ARCserve.CommunicationFoundation.	ローバル																			
6052		Backup	WindowsService.exe	ダッシュボー																			
		GDB		ド プライマリ																			
				サーバで																			
				データを同																			
				期するため																			
				の通信。																			
		A rec																					
		Arcserv-	CA.ARCserve.CommunicationFoundation.WindowsService.																				
6054		e	exe	Arcconic																			
		Backup																					
				васкир 77																			

				1マリリー
				大日期オス
				を回動する
				信
				Arcserve
				リールこ
8006				ようし使用
				C1しる Tomast た
				TOMCAL を こいいにだろ
				シャットタリ
				ノしまり。
				リモート官
				理コンソー
				112
				Arcserve
				の間のゴ
				ᅊᇔᅊᇷ
				3 通信小一
				リモート官
				埋コンソー
				112
		Arcserv-		Arcserve
8014	ТСР	e UDP	Tomcat7.exe	UDP エー ジーントの
				シェントの
		10		間のノノオ
				いい//////
				3 虚 信 小 トを指 完 [
				1 2 11 AC U
				∽, >+, ~~-,
				注:ナノオ
				パトの通信
				ポーネント
				ホー・フト
				マイノヘ
				レキーかる
				とさに変史

				できます。	
				Arcserve	
				UDP サーバ	
				と Arcserve	
				UDP コン	
				ソールの間	
				のデフォル	
				トの	
				НТТР/НТТР-	
				S 通信ポー	
				トを指定し	
				ます。	
				*デフォルト	
				の共有ポー	
				トであり、	
				Arcserve	
				UDP サーバ	
				をレプリケー	
				ション デス	
				ティネーショ	
				ンとして使	
				用する場	
		Arcserv-		合に開く必	
8014	TCP	e UDP	httpd.exe	要のある唯	
		サーバ		ーのポート	
				を指定しま	
				す。ポート	
				5000 ~	
				5060 は、グ	
				ローバルデ	
				デュプリケー	
				ションが有	
				効化されて	
			いるときに		
				データスト	
					アによって
			使用される		
			ため開かな		
				いでくださ	
				い。	
				注:デフォ	
				ルトの通信	
				ポートは、	
				Arcserve	

8015	ТСР	Arcserv- e UDP コンソー ル	Tomcat7.exe	ポをトとでリ理ルAUのフHSトま リ理ルAUジ間ルHSトま 注ルポAUポをトとで同一イーききモコと cspP間オTT通をす モコと cspPェのトゴ通をす :トー cspPーイーきき ドインルにまーン erサのルハ信指。 トン erエトデのハ信指。 デのト erコネンルにませ シスす変す トソ erサのトハ信指。 トン erエトデのハーポ定 フ通は erンスす変す チャム る更。 管一 バ のP-一し 管一 のオ P-一し オ信、 くろ更。 バ
8016	ТСР	Arcserv- e UDP サーバ	Tomcat7.exe	<sup>じさます。</sup> 同じサーバ 上の Arcserve UDP RPS ポート共有 サービスと 通信する

			Arcserve UDP サーバ Web サービ ス約す。
18005		CA.ARCserve.CommunicationFoundation. WindowsService.exe	Arcserve UDP サーバ またはエー ジェントに よって使用 される Tomcat を シャットダウ ンします。

## Linux にインストールされているコンポーネント

LAN環境を使用している場合、バックアップなどのジョブを行うには以下のポートが必要です。

ポート #	ポートの種類	起動元	受信待機プロセス	説明
22	ТСР	SSH サー ビス		Arcserve UDP Linux サー ドパーティ依存性。SSH サービスのデフォルトを指 定しますが、このポート は変更できます。この ポートは受信および送 信通信の両方に必要 です。
67	UDP	Arcserve UDP Linux	bootpd	PXE ブート サーバで使用 されます。PXE ブート機 能の使用を必要として いる場合のみ必須で す。このポートは受信通 信に必要です。 注: ポート番号はカスタ マイズできません。
69	UDP	Arcserve UDP Linux	tffpd	PXE ブート サーバで使用 されます。PXE ブート機 能の使用を必要として いる場合のみ必須で す。このポートは受信通 信に必要です。 注: ポート番号はカスタ マイズできません。
8014	ТСР	Arcserve UDP Linux	Java	リモート コンソールと Linux 用 Arcserve UDP エージェントの間のデフォ ルトの HTTP/HTTPS 通信 ポートを指定します。こ のポートは受信および 送信通信の両方に必 要です。
18005	ТСР	Arcserve UDP Linux	Java	Tomcat で使用され、ファ イアウォールを不許可に 設定できます。

## リモートで UDP Linux により保護されているノード

LAN 環境を使用している場合、バックアップなどのジョブを行うには以下のポートが必要です。

ポ— ト #	ポート の種 類	起動 元	受信 待機 プロセ ス	説明
22		SSH サ <del>ー</del> ビス		Arcserve UDP Linux サードパーティ依存性。SSH サービスのデ フォルトを指定しますが、このポートは変更できます。この ポートは受信および送信通信の両方に必要です。

\* ポート 共有 はレプリケーション ジョブのためにサポートされています。 異なるポート 上のデー タはすべてポート 8014 (Arcserve UDP サーバ用のデフォルト ポート。インストール時に変更 可能) に転送できます。 WAN 上にある 2 つの復旧 サーバ ポイント間 でレプリケーション ジョ ブを実行 する時には、ポート 8014 のみが開いている必要 があります。

同様に、リモートレプリケーションの場合、リモート管理者はポート8014(データレプリケーション用)とポート8015(Arcserve UDPコンソール用のデフォルトポート。インストール時に変更可能)を開くか転送して、割り当てられたレプリケーションプランをローカル復旧ポイントサーバが取得できるようにする必要があります。

#### **Arcserve Backup**

LAN 環境を使用している場合、バックアップなどのジョブを行うには以下のポートが必要です。

ポー	ポート	+7 == -	~ 드 샤 雌	
ト#	の種類	起動元	受信符機ノロセス	詋明
125	тер			Microsoft ポー
122				トマッパー
445	ТСР		名前付きパイプ上のMSRPC	
		CASI Iniversal Agen-		Arcserve
6050	TCP/UDP	+	Univagent.exe	Universal
		L		Agent
		Arcserve	CA.ARCserve.CommunicationFoundatio-	Arcserve
6502	ТСР	Communication	n.	Communicatio-
		Foundation	WindowsService.exe	n Foundation
6502	тср	CASTanoEngino	Tanang aya	Arcserve Tape
0502	ICF	CASTapeEligille	lapeng.exe	Engine
6502	тср	CASIohEngino		Arcserve Job
0505	ICP	CASJODENBINE	Joberigine.exe	Engine
				Arcserve
6504	тср	CASDBEngine	DBEng.exe	Database
				Engine
7051	тср	CASportmannor	Catiros ava	Arcserve
7654	ICF	САЗрог шаррег		PortMapper
				Arcserve
41523	ТСР	CASDiscovery	casdscsvc.exe	Discovery
				Service
				Arcserve
41524	UDP	CASDiscovery	casdscsvc.exe	Discovery
				Service
9000-	тср		動的ポートを使用する他のArcserve	
9500			MS RPC サービス用	

## Linux 用アプライアンスのサポート

LAN環境を使用している場合、バックアップなどのジョブを行うには以下のポートが必要です。

ポート #	ポト種類	起動元	受信 待機 プロセ ス	説明
8017	тср			NAT ポート リダイレクション。 他の Linux ノードを Amazon S3 にバックアップするため、 アプライアンス上の 8017 を Linux バックアップ サーバにリダイレクトします。
8018	тср			NAT ポート リダイレクション。 アプライアンス上の 8018 を Linux バックアップ サーバ エージェント のポート 8014 にリダイ レクトします。
8019	тср			NAT ポート リダイレクション。 アプライアンス上の 8019 を Linux バックアップ サーバの SSH ポート 22 にリダイレクトしま す。
8021	тср			NAT ポート リダイレクション。 8021 ポートを使用して他の Linux ノードをバックアップするため、 アプライアンス上の 8021 を Linux バックアップ サーバにリダイレクトします。
8036	тср			NAT ポート リダイレクション。 アプライアンス上の 8036 を Linux バックアップ サーバのポート 8036 にリダイレクトします。
50000	ТСР			NAT ポート リダイレクション。 50000 ポートを使用して他の Linux ノードをクラウドにバックアップするため、 アプライアンス 上の 50000 を Linux バックアップ サーバにリダイレクトしま す。
50001	ТСР			NAT ポート リダイレクション。 50001 ポートを使用して他の Linux ノードをクラウドにバックアップするため、 アプライアンス 上の 50001 を Linux バックアップ サーバにリダイレクトしま す。
50002	ТСР			NAT ポート リダイレクション。50002 ポートを使用して他の Linux ノードをクラウドにバックアップするため、アプライアンス 上の 50002 を Linux バックアップ サーバにリダイレクトしま す。
50003	ТСР			NAT ポート リダイレクション。 50003 ポートを使用して他の Linux ノードをクラウドにバックアップするため、 アプライアンス 上の 50003 を Linux バックアップ サーバにリダイレクトしま す。
50004	тср			NAT ポート リダイレクション。 50004 ポートを使 用して他の Linux ノードをクラウドにバックアップするため、 アプライアンス 上の 50004 を Linux バックアップ サーバにリダイレクトしま

## 第3章: アプライアンス上の Arcserve UDP のアップグ レード

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

Arcserve ソフトウェアのアップグレード後にライセンスを適用する方法	49
Arcserve アプライアンス でのアップグレード シーケンス	50
UDP コンソール、RPS、エージェントのアップグレード シーケンス	56

## Arcserve ソフトウェアのアップグレード後にライセンスを 適用する方法

Arcserve UDP を 10.0 にアップグレードした後、または Arcserve Backup を 19.0 にアッ プグレードした後は、Arcserve アプライアンス上の元のライセンスキーは機能しま せん。Arcserve UDP 10.0 および Arcserve Backup 19.0 用の新しいライセンスキーを 取得するには、営業担当者までお問い合わせください。

Arcserve UDP にライセンスキーを追加する方法の詳細については、「<u>Arcserve 製</u> <u>品ライセンスオンライン ヘルプ</u>」を参照してください

## Arcserve アプライアンス でのアップグレード シーケンス

Arcserve アプライアンス v9.1 から Arcserve UDP 10.0 へのアップグレードでは、以下のいずれかのシーケンスを伴う場合があります。

- Arcserve UDP のアップグレード
  - ◆ Arcserve アプライアンスを Arcserve コンソールおよび RPS として使用する場合のアップグレード
  - Arcserve アプライアンスを Arcserve UDP RPS として使用する場合のアップグ レード
- Arcserve アプライアンスでの Arcserve UDP Linux エージェントのアップグレード
- Arcserve アプライアンス上の Arcserve Backup のアップグレード
- DDP コンソール、RPS、エージェントのアップグレード シーケンス

# Arcserve アプライアンスを Arcserve UDP コンソールおよび RPS として使用した場合のアップグレード

Arcserve アプライアンスをアップグレードした後、「<u>アップグレード シーケンス</u>」に説明 されている手順に従って環境をアップグレードします。

## Arcserve アプライアンスを Arcserve UDP RPS として使用した場合のアップグレード

実稼働環境全体をアップグレードします。詳細については、「<u>アップグレードシーケ</u> <u>ンス」を参照してください。</u>

## 複数のArcserve アプライアンスが環境で使用されて いる場合のアップグレード手順

- 実稼働環境全体をアップグレードします。詳細については、「アップグレード」 シーケンス」を参照してください。
- アップグレード後、Arcserve UDP コンソールからアプライアンスを RPS として追加 するときに以下のような警告が表示される場合は、「トラブルシューティング」の 「別のアプライアンスから Arcserve アプライアンスをバックアップすると重複ノード が報告される」トピックを参照してください。



## Arcserve アプライアンス上のArcserve UDP Linux エー ジェントのアップグレード

#### 以下の手順に従います。

- 1. Linux バックアップ サーバ環境を管理する Arcserve UDP コンソールをアップグレードします。
- 2. Arcserve アプライアンス上のLinux バックアップサーバをアップグレードします。

詳細については、「<u>Arcserve Unified Data Protection Agent: for Linux オンラインへ</u> <u>ルプ</u>」を参照してください。

## Arcserve アプライアンス に搭載された Arcserve Backup のアップグレード

Arcserve アプライアンスでアップグレードを実行するには、「<u>Arcserve Backup 実装</u> <u>ガイド</u>」を参照してください。

### UDP コンソール、RPS、エージェントのアップグレード シーケンス

後方互換性サポート ポリシーに基づいて、以下の順序でアップグレードを計画 し、アップグレードが円滑に行われるようにします。

- 1. Arcserve UDP コンソールをアップグレードします。
- 2. Arcserve UDP RPS (DR サイト)をアップグレードします。
- 3. Arcserve UDP RPS (データ センター)をアップグレードします。
- Arcserve UDP エージェントレス プロキシ、データ センター内 の一 部 エージェントをアップグレードします。
- 5. Arcserve UDP RPS (リモート サイト)をアップグレードします。
- Arcserve UDP エージェントレス プロキシ、リモート サイトの一 部 エージェントを アップグレードします。

注: リモート サイトごとに、手順 5と6を繰り返します。

7. Arcserve UDP 仮想スタンバイモニタをアップグレードします。

**注:** レプリケーションの後方互換性サポートポリシーに従って、常にソース RPS の前にターゲット RPS をアップグレードしてください。

## 第4章: Arcserve アプライアンスの設定

このセクションには、以下のトピックが含まれます。	
Arcserve アプライアンス向けのネットワーク設定を構成する方法	58
Arcserve アプライアンスを設定する方法	62
Arcserve アプライアンスをゲートウェイとして設定する方法	72

## Arcserve アプライアンス向けのネットワーク設定を構成する方法

Arcserve アプライアンスを管理するには、まずアプライアンスをネットワーク内に含めます。そのためには、ホスト名をアプライアンスに割り当て、ネットワークポートを設定する必要があります。

以下の手順に従います。

1. アプライアンスの電源をオンにした後、Microsoft ライセンス条項に対する設 定画面が表示されます。条件を確認して、同意します。

UDP の エンド ユーザ使用許諾契約]ダイアログボックスが表示されます。

2. 使用許諾契約の内容を確認して同意し、 次へ]をクリックします。

Arcserve アプライアンス環境設定ツールへようこそ)画面が表示されます。

3. 以下の詳細を入力します。

ホスト名

アプライアンスのホスト名を入力します。名前を割り当てると、ネットワーク 上でアプライアンスを識別するのに役立ちます。

パスワード

管理者パスワードを指定します。

この Arcserve アプライアンスをドメインに追加します。

アプライアンスをネットワーク内のドメインメンバにするには、チェックボックス をオンにします。このオプションを選択すると表示されるドメイン]、 ユーザ 名]、および {パスワード]フィールドに値を指定します。

このツールを使用する 詳細な設定を実行です マプモノマンマノニナマ	らと、Arcserve アブライアンスを LAN に接続し、Web ベースのコンソール UI きます。
アノライアノスに示ストのに使用されます。必	~名を書吵当します。これはローノルレネットワークエのアノフォアノスを減別す 3要に応じて、アブライアンスをドメインに追加できます。
<ol> <li>新しいホスト名 前に、設定画</li> </ol>	名を有効にするには、再起動する必要があります。アブライアンスを再起動す 」面で他の設定を設定できます。
ホスト名	
バスワード	•••••
🗌 この Arcserv	reアプライアンスをドメインに追加します。

**注:**新しいホスト名を適用するには、アプライアンスを再起動する必要があり ます。アプライアンスを今すぐ再起動するか、またはネットワーク設定後に再起 動するかを選択できます。アプライアンスを再起動すると、他の任意のマシンか ら URL - https://<hostname>:8015 を使用して、アプライアンスにアクセスするこ とができます。

4. 保存]をクリックします。

以下のダイアログボックスが表示されます。デフォルトでは、Arcserve UDP は ネットワーク内のすべてのネットワーク接続を検出します。一部の接続が割り 当てられていない場合は、手動で編集し、接続の詳細を指定します。

arcserve	アプライアンス構成	<b>3</b> アオラ	
1 ホスト名とドメイン設定を	有効にするには、Arcserve アブライアン	スを再起動する必要があります。	
アプライアンスの再起動			
ホスト名/ ドメイン	(未割り当て)	編集	
UDP コンソール URL	https://www.iso	15	
日付と時刻	2025/01/17 13:31:49	編集	
ネットワーク接続			
接続名	IP アドレス	説明	
イーサネット 〇 未接続	<b>割り当てなし</b> DHCP を介した自動	Supermicro 10GBASE-T Ethernet Controller	編集
イーサネット 2 3 未接続	<b>割り当てなし</b> DHCP を介した自動	Supermicro 10GBASE-T Ethernet Controller #2	編集
イーサネット 3 ⊘ 接続済み	<b>10.147.16.184</b> DHCP を介した自動	Supermicro 10GBASE-T Ethernet Controller #3	編集
イーサネット 4 ② 接続済み	<b>10.147.16.191</b> DHCP を介した自動	Supermicro 10GBASE-T Ethernet Controller #4	編集
イーサネット 5 ⊘ 接続済み	<b>169.254.3.1</b> DHCP を介した自動	Remote NDIS based Internet Sharing Device	編集

5. ネットワーク接続を編集するには、 **トットワーク接続**]ボックスで 編集]をク リックします。

**ネットワーク接続**]ダイアログボックスが表示されます。

ステータス	❷ 接続済み						
説明	Intel(R) Ethernet 10G 2P X550-t Adapter						
接続	✓ DHCP を使用して IP アドレスを自動的に取得します。						
	IP アドレス	10	. 57	. 25	. 17		
	サブネット マスク	255	. 255	255	. 0		
	デフォルト ゲートウェイ	10	. 57	25	. 1		
	✓ DNS サーバ アドレスを	自動的	に取得します	ţ.			
	優先 DNS サーバ	10	. 57	. 1	. 11		
	代替 DNS サーバ	10	. 64	. 1	. 11		
			保存		キャンセル		

IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイの値を必要に応じて変更し、 保存]をクリックします。

**注:**必要に応じて、ホスト名、ドメイン、日付と時刻を変更することもできます。

重要: コマンド プロンプトで acrun.bat などのスクリプトが実行されているかどう かを確認します。再起動を行う前に、このスクリプトが完了するまで必ず待機 してください。

7. 変更を適用するには、 アプライアンスの再起動]をクリックしてアプライアンス を再起動します。

アプライアンスが新しいホスト名で再起動されます。再起動すると、 [Pグイン] 画面が表示されます。

- ユーザ名とパスワードを入力して、Enter キーを押します。
   Arcserve アプライアンス環境設定]画面が表示されます。
- 9. アプライアンスの環境設定画面が再度開いたら、 ウィザードの起動]をク リックします。
| ΛA | rcserve アプライアンス                                       |  |  | - 0      | × |
|----|---|--|--|----------|---|
|    | arcserve  | アプライアンス構成                              | ? アブラ·   | イアンスについて |   |
|    | <ul> <li>[ウィザードの起動]をクリック</li> <li>ウィザードの起動</li> </ul> | して、Arcserve UDP ブラン環境設定ウ               | ィザードを使用してアプライアンスの環境設定を続行                       | します。     |   |
|    | ホスト名/<br>ドメイン   | (未割り当て)                                |  |          |   |
|    | UDP コンソール URL   | https:// <b>/////////////////</b> 8015 |  |          |   |
|    | 日付と時刻   | 2025/01/17 13:46:46                    | 編集   |          |   |
|    | ネットワーク接続  |  |  |          |   |
|    | 接続名   | IP アドレス                                | 説明   |          |   |
|    | イーサネット<br>◎ 未接続                                       | <b>割り当てなし</b><br>DHCPを介した自動            | Supermicro 10GBASE-T Ethernet Controller       | 編集       |   |
|    | イーサネット 2<br><sup>②</sup> 未接続                          | <b>割り当てなし</b><br>DHCPを介した自動            | Supermicro 10GBASE-T Ethernet Controller #2    | 編集       |   |
|    | イーサネット 3<br>● 接続済み                                    | <b>10.147.16.184</b><br>DHCPを介した自動     | Supermicro 10GBASE-T Ethernet Controller<br>#3 | 編集       |   |
|    | <b>イーサネット 4</b><br>● 接続済み                             | <b>10.147.16.191</b><br>DHCP を介した自動    | Supermicro 10GBASE-T Ethernet Controller #4    | 編集       |   |
|    | イーサネット 5<br>● 接続済み                                    | <b>169.254.3.1</b><br>DHCP を介した自動      | Remote NDIS based Internet Sharing Device      | 編集       |   |

## Arcserve アプライアンスを設定する方法

アプライアンスが新しいホスト名で再起動されると、Unified Data Protection ウィ ザードが表示されます。ウィザードを使用して、バックアップをスケジュールするため の基本プランを作成できます。このプランでは、保護するノードを定義し、バック アップを実行するタイミングをスケジュールできます。バックアップ先は、アプライアン スサーバです。

**注:** アプライアンスがドメインで設定されている場合、ドメイン ユーザはアプライアン スウィザードを設定できないため、管理者ログインを使用してアプライアンスウィ ザードの設定を完了します。

Arcserve アプライアンス 設定 ウィザードのすべての手順はオプションです。 **キャンセ** ル]をクリックしてスキップし、直接 UDP コンソールを開いてプランを作成 することも できます。

#### 以下の手順に従います。

1. Arcserve UDP コンソールにログインします。

Unified Data Protection ウィザードが最初に開き、 Arcserve アプライアンス管理]ダイアログボックスが表示されます。UDP コンソールは、スタンドアロンのイン スタンスとして管理できます。または別の UDP コンソールからリモートで管理で きます。リモート コンソール管理機能は、複数の UDP コンソールを管理してい る場合に便利です。

Arcserve Appliance Management (Arcserve アプライアンス管理)]ダイアログボックスで、アプライアンスをローカルで管理するか(デフォルト)、別のUDPコンソールから管理するかを選択します。アプライアンスが別のUDPコンソールから管理されている場合、UDPコンソールのURL、ユーザ名、パスワードを指定します。



62 Arcserve アプライアンス ユーザ ガイド

3. 次へ]をクリックします。

データストアのダイアログボックスが表示されます。

データストアは、アプライアンス上の物理ストレージ領域で、バックアップ先として使用されます。

デフォルト では、Arcserve UDP は <hostname>\_data\_store という名前 でデータストアを作成します。このデータストアは、デデュプリケーションおよび暗号化に対応しています。

注:

- デフォルトのデデュプリケーション ブロック サイズは 16 KB です。ただし、要件に基づいてデデュプリケーション ブロック サイズを設定 できます。
   デデュプリケーション ブロック サイズを設定 するには、以下の手順に従います。
  - a. 以下の場所に移動します。

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration

- b. ApplianceDefaultSetting.properties ファイルを開き、 *deduplicationBlockSize*を編集します。
- デデュプリケーション ブロック サイズを設定した後に、データストアの暗号 化パスワードを入力し、 次へ] ボタンをクリックする必要があります。

デデュプリケーションおよび暗号化の詳細については、「Arcserve UDP ソリューション ガイド」の「データ デデュプリケーション」を参照してください。

**注**: データストアは暗号化されるため、暗号化パスワードを指定する必要があります。

データストアのダイアログボックスで、データストアの暗号化パスワードを入力し、確認のために再度暗号化パスワードを入力して、 次へ]をクリックします。

<b>OICSEIVE</b> <sup>®</sup> アプライアンス構成 データ ストア データ ストア設定は以下のとおりです。Arcserve UDP コンソール からデータ ストアを追加できます。								
usapp21jpn_data	_store							
	圧縮	標準						
	デデュプリケーション	有効						
	暗号化	有効						
合計容量 145.52 TB	パスワード							
	パスワードの確認							
	注: データストアは 16KE	3 ブロック サイズで作	成されます。					
	AND A SHOT A LACE							
ステップ 2 / 9			前に戻る	次へ	キャンセル			

電子メールとアラート]ダイアログボックスが表示されます。

アラートを送信するために使用される電子メールサーバと、アラートを受け取 る受信者を定義できます。成功したジョブ、失敗したジョブ、またはその両方に 基づいてアラートを取得するオプションを選択できます。

5. [mail and Alert (電子メールとアラート)]ダイアログボックスで、以下の電子 メールとアラートの詳細を指定します。

サービス

Google メール、Yahoo メール、Live メール、などの電子メール サービス を指定します。

電子メール サーバ

電子メールサーバのアドレスを指定します。たとえば、Google サーバ 電子メールの場合は smtp.gmail.com を指定します。

ポート

電子メールサーバのポート番号を指定します。

認証が必要

電子メールサーバに認証が必要かどうかを指定します。認証が必要な場合は、認証用のアカウント名とパスワードを指定します。

件名

受信者に送信される電子メールの件名を指定します。

64 Arcserve アプライアンス ユーザ ガイド

#### 送信者

送信者の電子メールIDを指定します。受信者はこの送信者からメールを受信します。

#### 受信者

アラートを受信する受信者を指定します。複数の受信者がいる場合 はセミコロン(;)で区切ることができます。

#### オプション

通信チャネルに使用する暗号化方式を指定します。

#### プロキシ サーバを使用して接続する

プロキシ サーバ経由で電子メール サーバに接続している場合は、プロ キシ サーバのユーザ名とポート番号を指定します。また、プロキシ サー バで認証が必要な場合は、ユーザ名とパスワードを指定します。

#### テスト電子メールを送信

テストメールを受信者に送信します。テストメールを送信することに よって、詳細を確認できます。

arcserve	マゴライマンフ塔成			
	///////////////////////////////////////			
電子メールとアラート				
電子メール通知の設定と受信するス	<b>ラート通知の種類の設定を行います</b>	0		
■電子メール通知を有効化しま	<del>す</del> .			
サービス	その他	Ŧ		~
電子メールサーバ				
ポート	訪			
■電子メール サービスには認	証が必要です。			
件名	Arcserve United Data Protection $\mathcal{P}\mathcal{I}$ -	ŀ		
差出人				
受信者	複数の電子メールアドレスはセンロンで区	物法可		
オプション(0)	■ SSL を使用			
	STARITLS の通信 Militua 用の式を使用			
■ プロキシ サーノ を使用して	接続する			
	力的設定			
二日1-6673、日本39月				×
ステップ 3 / 9		前に戻る	次へ	和地

6. **次へ**]をクリックします。

[Jモート RPS にレプリケート]ダイアログ ボックスが表示されます。

アプライアンスで、リモートで管理された復旧ポイントサーバ(RPS) にレプリケートするには、 [Jモート RPS にレプリケート]ダイアログボックスで、以下の詳細を指定します。 リモートで管理された RPS の詳細については、「Arcserve UDP ソリューション ガイド」を参照してください。

Arcserve UDP コンソールの URL

リモートの Arcserve UDP コンソールの URL を指定します。

ユーザ名およびパスワード

リモート コンソールに接続するために使用されるユーザ名とパスワード を指定します。

プロキシ サーバを使用して接続する

リモート コンソールがプロキシ サーバの背後にある場合は、プロキシ サーバの詳細を指定します。

注: アプライアンスで、リモートで管理された RPS にレプリケートしないようにするには、 **このアプライアンスはリモートで管理された RPS にレプリケートしません**] オプションを選択します。

arcserve	アプライアンス構成			
リモート RPS へのレプリク	アーション			
リモートで管理されている復日ポイ	ン木 サーバヘレブリケートする場合は、以	し下の設定を行います		
●このアプライアンスはリモートで	で管理されている RPS ヘレブリケートしま	:す。		
Arcserve UDP コンソール	URL			
ユーザ名				
パスワード				
■プロキシ サーバ 佐使用し	て接続します。			
● このアプライアンスはリモートで	で管理されている RPS ヘレブリケートしま	せん.		
ステップ 4 / 9		前に戻る	次へ	和心也的

8. 次へ]をクリックします。

プランの作成]ダイアログボックスが表示されます。基本プランを作成し、保護するノードおよびバックアップのスケジュールを指定できます。

**注:** ウィザードを使用して基本プランを作成しない場合は、以下の手順を実行します。

a. **プラン作成をスキップ**]をクリックします。

次の手順]ダイアログボックスが表示されます。

- b. **庑了**]をクリックし、UDP コンソールを開いてプランを作成します。
- 9. 「プランの作成]ダイアログボックスで、以下の詳細を指定してプランを作成します。

プラン名

プランの名前を指定します。プラン名を指定しない場合は、デフォルトの名前として「保護プラン <n>」が割り当てられます。

セッション パスワード

セッション パスワードを指定します。セッション パスワードは、データのリストア時に必要となるため重要です。

ノードをプランにどのように追加しますか?

ノードをプランに追加する方法を指定します。以下の方法から1つを 選択します。

\* ホスト名/IP アドレス

ノードのホスト名または IP アドレスを使用してノードを手動で追加 する方法を示します。必要な数だけノードを追加できます。

Active Directory からのノードのディスカバリ

Active Directory内にあるノードを追加する方法を示します。Active Directoryの詳細情報を使用してノードを検出してから、ノードを追加できます。

vCenter/ESX Server からインポート

ESX または vCenter Server から仮想マシンノードをインポートする方法を示します。このオプションでは、指定されたホスト名または IP アドレス上で検出されたすべての仮想マシンがリスト表示されます。

◆ Hyper-V Server からインポート

Microsoft Hyper-V サーバから仮想マシンノードをインポートする方法を示します。

<b>CICSETVE</b> <sup>®</sup> プランの作成	アプライアンス構成		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
次に、データの保護プランを作成す プランを作成できます。	おる必要があります。保護ブランでは、ノードを追加し、 バックアッ	パ スケジュールを設筑	Eします。複数の保護
プラン作成をスキップ	k		
プラン名	保護ブラント		
セッション パスワード			
バスワードの確認			
🕛 セッション バスワードを保存	ドします。データをリストアする際に必要です。		
ノードをプランにどのように追加	しますか?		
	ホスト名/IP アドレス (Windows マシンのみ)	Ŧ	
ステップ 5 / 9	前に戻る	次^	和心也儿

方法を選択したら、各ダイアログボックスで詳細を指定します。

10. ノードがプランに追加されたら、 次へ]をクリックします。

【バックアップ スケジュール】ダイアログ ボックスが表示されます。

- 11. 【バックアップ スケジュール】ダイアログ ボックスで、以下のスケジュールを入力 します。
  - Arcserve UDP エージェントのインストールまたはアップグレードのスケ ジュール: エージェントがインストールされていないソースノードに、 Arcserve UDP エージェントの最新バージョンがインストールされます。以前のエージェントのインストールは、最新のバージョンにアップグレードされます。
  - 増分バックアップスケジュール:初めての場合はフルバックアップが実行され、その後は増分バックアップが実行されます。
     注:インストール/アップグレードの時刻より前にバックアップの時刻がスケジュールされている場合、バックアップは自動的に次の日にスケジュールされます。たとえば、エージェントのインストールを金曜日の午後9時にスケジュールし、バックアップを午後8時にスケジュールした場合、バックアップは土曜日の午後8時に実行されます。
  - プランの作成をキャンセル: 作成したプランをキャンセルするには、プランの作成をキャンセル]をクリックします。

<b>CICSEIVe</b> 。 アプライアンス構成	
<b>いックアップ スケジュール</b>	
ランのバックアップスケジュールの基準を入力します。	
インストール/アップグレードおよび再起 動のタイミング * : 21 * : 00 *	
日次増分バックアップの実行: 22 - 22 - 22 - 22 - 22 - 22 - 22 - 22	4
⑦ スケジュール サマリ (選択内容に基づく)	
金曜日 の 2100 に、Arcserve UDP エージェント の最新バージョンがまだインスト ールされていないすべてのソース ノードに最新 バージョンがインスト ールされます。 Hyper-v または vCenter/ESX からインポートされたノードには、エージェントはインスト ールされません。	
金曜日 の 22:00 に、最初のフル バックアップが実行されます。 インストール/アップグレードが完了した後は、毎日 22:00 に増分バックアップが実行されます。	
プランの作成のキャンセル	
(テップ 7 / 9 前に戻る 次へ キャンセル	

12. 次へ]をクリックします。

プランの確認]ダイアログボックスが開きます。

13. プランの確認]ダイアログボックスで、プランの詳細を確認します。必要に応じて、【ードの編集]または、「スケジュールの編集]をクリックしてノードまたは スケジュールを編集するか、プランを追加または削除できます。

ノードの編集

保護するソースノードを変更します。

スケジュールの編集

バックアップスケジュールを変更します。

arcserve <sup>®</sup> 77	ライアンス構成	
プランの確認		
これは、作成したプランの確認です。プラン	ンを編集するか、または新しいプランを作成できま	す。
保護プラン 1	プラン名	保護プラン1
	- 保護ノード	1
0,000,000	インストール/アップグレード	app/000 金曜日, 21:00
	バックアップ スケジュール	日単位増分,22:00
	ノードの編集 スケジュールの編集	プランの削除
ステップ 8 / 9	前に戻る	次へ キャンセル

14. プランを検証したら、 次へ]をクリックします。

次の手順]ダイアログボックスが表示されます。

環境設定が正常に終了し、Arcserve UDP コンソールで作業する準備が整い ました。保護するノードをさらに追加し、仮想スタンバイなどの機能でプランを カスタマイズし、復旧ポイントサーバおよびデータストアを含めることによってデ スティネーションを追加することができます。

15. **庑了**]をクリックしてウィザードを終了し、Arcserve UDP コンソールを開きます。



**注:**ドメインの認証情報を使用して UDP コンソールにログインするには、「<u>ドメイン</u> ユーザへの管理者権限および役割の割り当て」を参照してください。

# Arcserve アプライアンスをゲートウェイとして設定する 方法

Arcserve アプライアンスをゲートウェイとして設定することができます。

### 以下の手順に従います。

- 1. Arcserve アプライアンス から Arcserve UDP コンソールをアンインストールしま す。
- 2. Arcserve UDPコンソールから [リソース]タブをクリックします。
- 3. Arcserve UDP コンソールの左ペインで、 **{インフラストラクチャ**]に移動して、 サイト]をクリックします。
- 4. サイトの追加]をクリックします。
- 5. **サイトの追加**] ウィザードの手順に従って、Arcserve UDP リモート管理ゲート ウェイを Arcserve アプライアンス にインストールします。

注: Arcserve アプライアンスに Arcserve UDP リモート管理ゲートウェイをインストールした後に、Arcserve アプライアンスウィザードで ウィザードの起動]をクリックしても、Arcserve UDP コンソールは起動しません。Arcserve UDP コンソール にアクセスするには、コンソールの URL を直接入力します。Arcserve UDP

# 第5章: Arcserve アプライアンス での操作

Arcserve アプライアンスを使用して、Windows、Linux、および仮想マシン用のバッ クアップ プランを作成できます。 テープ デバイスにデータを書き込み、 仮想スタンバ イマシンを作成することもできます。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

アプライアンス上の Arcserve 製品のアクティブ化	74
Arcserve アプライアンス ウィザードを使用したプランの作成	75
<u>プランへのノードの追加</u>	76
Linux ノード用のバックアッププランの作成	.85
<u>テープ デバイスへのバックアップ プランの作成</u>	86
アプライアンス上 仮 想 スタンバイ プランの作 成	87
Linux バックアップ サーバのバックアップ プランの作成	88
ローカルアプライアンス Hyper-V に対して Linux インスタント VM ジョブを実行するための 設定	92
<u>ConsoleMigration.exe を使用した Arcserve UDP コンソールの移行</u>	93
<u>Arcserve アプライアンス間の移行</u>	95
プレインストールされた Linux バックアップ サーバの入力 ソースの変更	99

# アプライアンス上の Arcserve 製品のアクティブ化

アプライアンス上で Arcserve 製品をアクティブ化する場合は、「<u>Arcserve 製品ライ</u> センスオンライン ヘルプ」を参照してください。

# Arcserve アプライアンス ウィザードを使用したプランの 作成

プランは、バックアップするノードおよびバックアップするタイミングを定義する手順の 集合です。Arcserve アプライアンスでは、基本プランを作成することができます。 Arcserve ウィザードを使用したプランの作成には、以下の3つのステップがあります。

1. 保護するノードを追加します。

Windows ノードまたは仮想マシンを vCenter/ESX または Hyper-V サーバから選択できます。

- 2. バックアップ スケジュールを定義します。
- 3. プランをチェックして確認します。



基本的なプランに加えて、Arcserve UDP では、UDP コンソールから複雑なプランを 作成して多くのパラメータを制御することができます。UDP コンソールから複雑なプ ランを作成するには、「Arcserve UDP ソリューションガイド」を参照してください。

# プランへのノードの追加

さまざまなノードを保護するためのプランを作成することができます。ノードを保護 するには、ノードをプランに追加する必要があります。Arcserve アプライアンスウィ ザードからノードを追加できます。ウィザードでは、以下の方法を使用してノードを 追加できます。

- ノードの IP アドレスまたはホスト名を手動で入力 (ホスト名/IP アドレスによるノードの追加)
- Active Directory からのノードのディスカバリ (Active Directory によるノードの追加)
- VMware ESX/vCenter Server から仮想マシンノードをインポート (<u>vCenter/ESXノードの追加</u>)
- Microsoft Hyper-V サーバから仮想マシンノードをインポート (Hyper-V ノードの追加)

### ホスト名 / IP アドレスによるノードの追加

ノードをプランに追加するために IP アドレスまたはホスト名を手動で入力することができます。追加するノード数が少ない場合はこの方法を使用しますが、複数の ノードを1つずつ追加できます。Arcserve Unified Data Protection Agent for Windows はこれらのノードにインストールされます。

以下の手順に従います。

1. **ホスト名 / IP アドレスによるノードの追加**]ダイアログ ボックスで、以下の詳細を入力します。

arcserve® アプ	ライアンス構成		
ホスト名/IP アドレスによるノー	ドの追加		の目的の目的について、
選択した Windows ノードのホスト名/IP フ	アドレス情報を入力し、プランに追加できるようにし	ます。	
ホスト名/IP アドレス		ランで保護されているノー	۴
ユーザ名		」 たち	
パスワード		立のフィールドを使用して、プランにノ・	「ち追加します。
說明			
	tion I as Make		
	リストルコピカロ		
			MR
プランの作成のキャンセル			
ステップ 6 / 9	前に戻る	次へ	キャンセル

#### ホスト名/IP アドレス

ソースノードのホスト名または IP アドレスを指定します。

ユーザ名

管理者権限を持つノードのユーザ名を指定します。

パスワード

ユーザパスワードを指定します。

説明

ノードを特定する説明を指定します。

### プラン作成のキャンセル

作成したプランをキャンセルします。

2. **[Jストに追加**]をクリックします。

ノードが右ペインに追加されます。さらにノードを追加するには、これらの手順を繰り返します。追加されたすべてのノードは、右ペインにリスト表示されます。

- 3. (オプション)追加したノードを右ペインのリストから削除するには、目的の ノードを選択して削除]をクリックします。
- 4. 次へ]をクリックします。

ノードがプランに追加されます。

### Active Directory によるノードの追加

Active Directory にノードを追加するには、Active Directory の詳細を指定し、ノードを検出して、プランにノードを追加します。

### 以下の手順に従います。

1. Active Directory によるノードの追加]ダイアログボックスで、以下の詳細を 入力します。

ユーザ名

<ドメイン>\<ユーザ名>の形式でドメインおよびユーザ名を指定します。

パスワード

ユーザパスワードを指定します。

コンピュータ名フィルタ

ノード名のディスカバリに使用するフィルタを指定します。

プラン作成のキャンセル

作成したプランをキャンセルします。

<b>Active Directory に</b> ಭಿತ	アプライアンス構成 シノードの追加			<b>டூ) –</b> ⊀ற்றிரைப
Active Directory の情報を入力	して、プランにノードを追加します。			
ユーザ名	domain¥username	チ	ランで保護されているノー	4
パスワード		1	- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1-	
コンピュータ名フィルタ	*	3	cのフィールドを使用して、ノード語語 ノードを達加します。	皆軽を快証し、ブラン
				A@k
ブランの作成のキャンセル				
ステップ 6 / 9		前に戻る	次へ	キャンセル

2. 参照]をクリックします。

検出されたノードが表示されます。

e Directory の情報を入力して	、プランにノード	を追加します。		プランで保護されているノード
Active Directory 0040340	NIC	1-98	++12	· /- P8
	APCSERVE	001	_	
n ••••••	ARCSERVE	001	<u> </u>	
	ARCSERVE	001	~	
<			>	
4 4   ページ [1] /62   ▶ コーザタ	н∣@	-		
(20-K		- 11	2600	
			320771	
Ro		<u>_</u>	NG3870	AØS
プランの作成のキャンセル				

ノードを追加するには、ノードを選択して確認します。

3. 検証するには、ノードを選択し、ユーザ名およびパスワードを入力して 適 用]をクリックします。

認証情報が検証されました。検証済みノードには、緑色のチェックマークが 付いています。ノードの検証が失敗した場合、認証情報を再入力して適 用]を再度クリックします。

注:ノードをリストに追加する前に各ノードを検証する必要があります。

- Jストに追加]をクリックします。
   選択したノードが右ペインに追加されます。
- 5. (オプション) ノードを右ペインから削除するには、ノードを選択して 削除]を クリックします。
- 6. **次へ**]をクリックします。

ノードがプランに追加されます。

## vCenter/ESX ノードの追加

仮想マシンノードを VMware vCenter/ESX Server に追加できます。これらのノード を追加するには、vCenter/ESX Server からのノードを検出およびインポートする必 要があります。

#### 以下の手順に従います。

1. **(Center/ESX によるノードの追加**]ダイアログボックスで、以下の vCenter/ESX Server の詳細を指定します。

ホスト名/IP アドレス

vCenter/ESX Server のホスト名または IP アドレスを指定します。

ポート

使用するポート番号を指定します。

プロトコル

使用するプロトコルを指定します。

ユーザ名

サーバのユーザ名を指定します。

パスワード

ユーザパスワードを指定します。

プラン作成のキャンセル

作成したプランをキャンセルします。

<b>OITCSETVE</b> vCenter/ESX によるノー vCenter/ESX の静を入力して	<b>アプライアンス構成</b> - ドの追加 、プランにノードを追かします。			♂ノギの追加につい
ホスト名/エ₽ アドレス		プラン	で保護されているノー	4
オート	443		ノード名	
プロトコル	HTTPS	<b>*</b>	フィールドを使用して、プランにノー	ドを追加します。
ユーザ名	reot			
パスワード				
				_
				A08 _
プランの作成のキャンセル				
ステップ 6 / 9		前に戻る	次へ.	和心也的

2. 接続]をクリックします。

検出されたホスト名が表示されます。

3. ホスト名を展開してノードを参照します。

Center/ESX の結果	フィルタテキストを入力します	×	プランで保護されているノード
\$ H	オブジェウトタイプ		🗇 たね
	ホスト システム	_	左のフィールドを使用して、プランにノードを追加しま
	リソースプール	^	
> 🔄 🍘 LinusAgent	リソースプール		
> 🔄 🥜 restore	リソース プール		
> 📰 🤭 Virtual Lab 1	リソース プール		
> 📰 🍘 windows	リソース プール		
👂 📰 🤭 yangming	リソース プール		
📰 👸 network	仮想マシン	~	
灰る	切开	.istn	AB

- 4. 追加するノードを選択してから、 [Jストに追加]をクリックします。 選択したノードが右ペインに追加されます。
- 5. (オプション) ノードを右ペインから削除するには、ノードを選択して 削除]を クリックします。
- 6. **次へ**]をクリックします。

ノードがプランに追加されます。

### Hyper-Vノードの追加

この方法を使用すると、Microsoft Hyper-V サーバから仮想マシンノードをインポートできます。

以下の手順に従います。

1. [Hyper-V ノードの追加]ダイアログボックスで以下の詳細を指定します。

CICSEIVe® Hyper-Vノードの追加 Hyper-Vノードの追加	アプライアンス構成	Þ.		@ノードの追加につい
オスト名/IP アドレス ユーザ名 パスワード	ルノー「*2.9/10/89+   該款		<b>ランで保護されているノー</b> 一 <b>ノード8</b> 本のフィールド後度用して、プランビノ・	PSilliotat.
プランの作成のキャンセル				MBk
ステップ 6 / 9		前に戻る	<b>次</b> へ	キャンセル

#### ホスト名/IP アドレス

Hyper-V サーバの名前または IP アドレスを指定します。 Hyper-V クラスタ に含まれている仮想マシンをインポートするには、 クラスタノード名または Hyper-V ホスト名のいずれかを指定します。

#### ユーザ名

管理者権限のある Hyper-V ユーザ名を指定します。

**注:** Hyper-V クラスタの場合は、クラスタの管理者権限を持つドメインア カウントを使用します。スタンドアロン Hyper-V ホストの場合は、ドメイン アカウントを使用することをお勧めします。

パスワード

ユーザ名のパスワードを指定します。

### プラン作成のキャンセル

作成したプランをキャンセルします。

2. 接続]をクリックします。

検出されたホスト名が表示されます。ホスト名を展開してノードを参照しま す。

」 DICSETVE yper-Vノードの追加	アプライアンス構成	ருச் சல்கிரில்
rper~V の情報を入力して、プ	ランにノードを追加します。	プランで保護されているノード
Hyper~V (U#ark:	74797747F8777089 X	······································
88	879191919	なのフィールドを使用して、プランにノードを追加します。
	Hyper-V ホスト	
	仮想マシン	
	依想マシン	
戻る	以下に追加	Allà
プランの作成のキャンセル		
		Windows のライセンス語
±w16/9	Ac	こ戻る 次へ キャンセル

- 3. (オプション) [フィルタ] フィールドにノード名を入力して、ツリー内のノードを検索できます。
- ノードを選択してから、 [Jストに追加]をクリックします。
   選択したノードが右ペインに追加されます。
- 5. (オプション) ノードを右ペインから削除するには、ノードを選択して 削除]を クリックします。
- 6. **次へ**]をクリックします。 ノードがプランに追加されます。

## Linux ノード用のバックアップ プランの作成

Arcserve アプライアンス コンソールから Linux ノードをバックアップできます。Linux バックアップ サーバはすでにコンソールに追加されています。

### 以下の手順に従います。

- 1. Arcserve アプライアンスコンソールを開きます。
- 2. [リノース]- プラン]- すべてのプラン]をクリックします。
- 3. Linux バックアップ プランを作成します。
- 4. [ノース]、 デスティネーション]、 スケジュール]、 拡張]の設定を指定しま す。

**注:**各環境設定の詳細については、「ソリューションガイド」の「<u>Linux バックアッ</u> <u>プランを作成する方法</u>」を参照してください。

5. バックアップ プランを実行します。

## テープ デバイスへのバックアップ プランの作成

Arcserve アプライアンスには、テープ デバイスにデータを書き込む機能があります。 通常、ソース データは、UDP バックアップ プランを使用してデータストアに保存され ている復旧ポイントで、デスティネーションはテープ デバイスです。Arcserve Backup マネージャを使用して、テープへのバックアップ ジョブを管理する必要があります。

以下のプロセスの概要は、Arcserve アプライアンスを使用してテープデバイスに データを書き込む方法を理解するのに役立ちます。

1. テープ デバイスを Arcserve アプライアンス に取り付けます

Arcserve アプライアンス には、テープ デバイスを接続 するためのポート が背面 パネルに備わっています。テープ デバイスを接続 すると、Arcserve アプライアン ス は自動的 にテープ デバイスを識別します。

2. バックアップマネージャを使用して、テープデバイスを設定します。

バックアップ マネージャを開き、テープ デバイスをバックアップ マネージャに追加します。 バックアップ マネージャは、Arcserve Backup を管理するためのイン ターフェースです。 テープ デバイスをバックアップ マネージャに追加した後、 デバイスを設定します。

**注:** デバイスの設定および管理の詳細については、「Arcserve Backup管理 者ガイド」の「<u>デバイスおよびメディアの管理</u>」を参照してください。

### 3. UDP コンソールを使用して、1 つ以上のバックアップ ジョブを正常に完了しま す。

テープ デバイスに書き込み可能な正常なバックアップが少なくとも1つ存在 している必要があります。データをバックアップするには、UDP コンソールを使 用してプランを作成し、データストアにバックアップします。

**注:**別のノード用のバックアッププランの作成に関する詳細については、「ソ リューションガイド」の「<u>データを保護するプランの作成」</u>を参照してください。

### 4. バックアップマネージャからのテープへのバックアップジョブの開始

バックアップ マネージャを開き、テープ デバイスにデータをバックアップするプラ ンを作成します。 ソース データは UDP バックアップ プランのデスティネーション で、デスティネーションはテープ デバイスです。

**注:** テープへのバックアッププランの作成に関する詳細については、「Arcserve Backup 管理者ガイド」の「D2D/UDP データのバックアップおよび回復」を参照 してください。

## アプライアンス上 仮想スタンバイ プランの作成

Arcserve アプライアンスには、仮想スタンバイマシンとして動作する機能があります。

### 以下の手順に従います。

- 1. 成功するバックアッププランであるかを検証します。
- 2. Arcserve アプライアンスコンソールを開きます。
- 3. プランに移動して、バックアッププランを変更します。
- 4. 仮想スタンバイタスクを追加します。
- 5. ソース、デスティネーション、仮想マシンの環境設定を更新します。

**注:**環境設定の詳細については、「ソリューションガイド」の「<u>仮想スタンバイ</u> <u>プランを作成する方法</u>Arcserve UDP」トピックを参照してください。

6. プランを保存して実行します。

## Linux バックアップ サーバのバックアップ プランの作成

Arcserve アプライアンス では、Linux バックアップ サーバのバックアップを設定すること ができます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP コンソールから、 [Jソース] タブをクリックします。
- 2. 右側のペインの **すべてのノード**]をクリックします。
- 3. 中央のペインから、 [ノードの追加]をクリックします。

**Arcserve UDP コンソールへのノードの追加**]ダイアログボックスが表示されます。

- 4. 【**ノードの追加**]ドロップダウンリストから、 [*inux ノードの追加*]を選択します。
- 5. ノードの認証情報を入力し、 [Jストに追加]をクリックします。

rcserve UE	DP コンソール へのノート	その追加				1
-Hoisto	Linux ノードの適加	٣				
				🗄 た118	ws	7-13-5-19
				ノード部ウストに達加していません。		
	ノード毛/IP アドレス	Linux-BackupS vr				
	□ SSH キー2212					
	2~58	root				
	パスワード	•••••				
	□ 非ルート記記記論報					
	1月1月4日3歳九日					
			リストに追加			8058
					Windows 07	イセンス認証
A\$7					行ってください。	保存 キャンセ

6. 保存]をクリックします。

追加された Linux ノードは **すべてのノード**]リストに表示されます。

arcserve	UNIFIED	DATA PROTECTION	O strek	ージ(1) · administrator · ヘルク ·
ダッシュボード <b>リソース</b>	ジョブ レオ	トログ 設定	ハイ アペイラビリティ	
	≪ J=F:	すべてのノード		3
* /-F	アウシュ	シー ノードの追加	7(14) ≈ »•	◎ 環境設定ウィザード
		27-32     7-P8       0     animon       0     inur-baskupn	м ĝ 7	<b>聞きする目前を表示するために、ノードを選択します。</b>
71F SLAJO7r11	<  ( (	≺-9[]/1  ▶ ₩  6	> ℃ 1-2/2 0庚示	Windows のライセンス認証 設定を感え、Windows のライセンス認証を 行ってください。

7. **すべてのプラン**]に移動し、エージェント ベース Linux プランを作成しま す。

**[ノース]**タブが表示されます。

ダッシュボード     リノース     ジョブ     レポート     ログ     設定     ハイ アベイ分ピリティ       プランの追加     Aent-Based Inux Bastus Plan     ロ 2075メルーは得上     留存     キャンセル     ヘル       シンカバ パップ・ブージント     シンスの後述     パップ・フェントペース Inux     ・     ・     ・     ・       ジ スカの通知     ソース     デスライネーション     スケジュール     拡張     ・     ・     ・       ・     リース     デスティネーション     スケジュール     拡張     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・	arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	(1) <del>(ا) تاريز</del>	+ administrator + ∧,0,0 +
プランの追加 Aent-Based Linux Backup Plan □267524=48件上 保存 ★424% へん なたったいたいズ の タスなの追加 /シリアッグエージェントペース Linux ・ ① ① 2005年4 リース デスティネージョン スケジュール 拡張 Linux /シウアップサード geplance ・ 通加 ① /-ド客 MA 8 752 914	ダッシュボード <mark>リソース</mark> ジ	ねブ レポート ログ 設定   ハイ	「アペイラビリティ	
かたうしにない     タスクの通加     タスクの通加     シノース デスティネーション スケジュール 拡張       ・     ソース デスティネーション スケジュール 拡張       ・     ・     ・  <	プランの追加	Agent-Based Linux Backup Plan	□このブランを一時停止	保存 キジセル ヘルプ
クスクロジョカカ     シース デスティネーション スケジュール 拡張     レinux /507979 サーバ golance ・ 動力     通力     マード名 Mil 名 752 サイト     サイト	タスクリ:パックアップ:エージェント ペース Linux	タスクの種類 バックアップ・エージェントベース レ	inux 👻	⊙>,,>>,>
Linux /50/アラブ サーバ applance * <u>983.55</u> ③ 183.55 そのち ノード名 Mil 名 ブラン サイト	<ul> <li>クスクの追加</li> </ul>	<b>ソース</b> デスティネーション スパ	ケジュール 拡張	
O:aba         Pik           □ /~P6         VM 6         752         940-		Linux パックアップサーバ appliance	✓ i組為0	
		<ul> <li>④i8ħ0</li> <li>№ 6</li> <li>№ 8</li> <li>№ 9</li> <li>№ 9<th>752</th><th>94Þ</th></li></ul>	752	94Þ
Windows のライセンス認証 設定を開き、Vindows のライセンス認証 行ってください。				Windows のライセンス認証 設定を開き、Windowsのライセンス認証を 行ってください。

8. 追加]ドロップダウンリストから、 Arcserve UDP で保護するノードの選 択]を選択します。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	· (۱) الاستادين (۱)	administrator ( $\gamma$ ) ( $\Delta y \mathcal{I} (\gamma)$
ダッシュボード リンース う	ジョブ レポート ログ 設定   )	ハイ アペイラビリティ	
プランの追加	Aent-Based Linux Backup Plan	□このブランを一時停止	保存 キジセル ヘルプ
タスカ1: バックフップ: エージェント ベース Linux	タスクの種類 バックアップ・エージェントペー	-7. Linux v	
<ul> <li>クスクの追加</li> </ul>	<b>ソース</b> デスティネーション	スケジュール 拡張	
	Linux バックアップ サーバ appliance	₩ 3월20	
	●1870 Accenve USP で注意するノードの選び Linux ノードの語知	752	94
			Windows のライセンス認証 設定を開き、Windows のライセンス認証 行ってください。

保護するノードの選択]ダイアログボックスが表示されます。

9. 追加された Linux ノードを保護して、 **Ѻ**K]をクリックします。

h - 7 9 < C(0) - F (57 th h 5 h - 7) - ×	利用可能なノー	-14-				選択されたノー	۰ド		
ノード8 W4 6 752 94     ローカ5 サイト     ローカ5 サイト     ローカ5 サイト     マーク □ イート オー 全 1-1/1の表示	1-7 すべてのノーI	ド(デフォルト グループ)	Ŧ		×				
4   ペーク [/1   → )    ② 1-1/1 の表示	/-H8 inar-backspor	van S	732	<b>ታብ</b> በ-ታሉ ታሳኑ	>> < «	/-18	Ver 8	752	ቻው
	14 · 4 · 1 ×-19 [	/1   > >	2 1-1/1	D表示					

デスティネーション]タブが表示されます。

10. 表示されるデフォルトのデスティネーションは、アプライアンス ウィザードを使 用して作成されたデータストアです。必要に応じて、ノードをバックアップす るローカル ディスクまたは共有フォルダを選択します。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	O Jotz−I (1) · administrator · ∧JkJ ·
ダッシュボード リソース う	ジョブ レポート ログ 設分	き   ハイアペイラビリティ
プランの追加	Agent-Based Linux Backup Plan	□ このブジンモー時得止 保存 キャンセル へルブ
タスカモ・バックアップ・エージェント ベース Linux	タスクロ種類 バックアップ・エー	-912/47-2 linx •
<ul> <li>クスクの追加</li> </ul>	ソース デスティネー	<b>-ション</b> スケジュール 拡張
	デスティネーションの種類	○ローカル ディスクまたは共有フォルタ ● Accentre UDP 復日ポイントサーバ
	御日ボイント サーバ	applance ~
	データストア	appliance_data_store v
	パスワードによる保護	☑ 0
	セッション パスワード	
	セッションパスワードの確認	
		Windows のライセンス認証 設定を開き、Windows のライセンス認証を 行ってください。
Dopyright @ 2014-2019 Arcserve (USA) LLC and its a	minhes and subsidiaries.All rights reserved.	いて0:00日本標準期

11. プランに関連する設定を入力したら、保存]をクリックします。

arcserve	UNIFIED	DATA PROTECTION		0	カセー	-9(1) • administrator • ∧1/9 •
ダッシュボード リソース	ジョブ レポ	-ト ログ 設定   ハイ	7ペイラ	2077		
	<ul> <li>₹ プラン:1</li> </ul>	すべてのブラン				2
* /-F	アウシエ	ノ・ プランの追加				◎ 環境設定ウィザード
プランのないノード プランのないノード		75>8		82	レード	関連する詳細を表示するために、ブランを選択します。
<ul> <li>&gt; &gt;</li></ul>		Agent-Based Linux Backup Plan	1	0	1	
* <b>75</b> 2						
★ プスタ < ペータン (第日ボイント サーバ Arcarve Bocksp サーバ 井田フォルダ ウラウド アガワント リモート エンシール インフスシンラジャ ストレージ アレイ インスタント VM サイト SLA プロフィイル	8				}	Windows のライセンス認証
	<	<-9 []/1   ▶ ▶   @		1 - 1/1 (	<b>&gt;</b> 遗示	設定を詰き、Windows のライセンス認証を 行ってください。
apyright @ 2014-2019 Arcserve (USA), LLC and its r	mister and public	aries.All rights reserved.				UTC+05:00 日本標準時

追加されたLinux バックアップサーバに対して正常にバックアップを実行する ことができます。

# ローカルアプライアンス Hyper-V に対して Linux インス タント VM ジョブを実行するための設定

Arcserve アプライアンスを使用すると、ローカルアプライアンス Hyper-V上で Linux インスタント VM ジョブを実行するようにネット ワークを設定することができます。

### 以下の手順に従います。

- 1. Hyper-V マネージャを開きます。
- 2. 新しい外部 仮想 ネット ワーク スイッチを作成します。
- Linux バックアップ サーバをオフにし、Linux バックアップ サーバに外 部 スイッ チを追加します。
- 4. Linux バックアップ サーバをオンにして、新しいイーサネット 接続下のネット ワーク設定にプロファイルを追加し、IP アドレスを取得します。

**注**: IP アドレスが割り当てられていない場合、処理中にLinux バックアップ サーバが再起動されます。

5. Linux インスタント VM ジョブをローカル Hyper-V に対して実行するには、新 しく追加された仮想ネットワークスイッチを選択します。

Linux インスタント VM ジョブをローカル アプライアンス Hyper-V に対して正常に実行できるようになりました。

## ConsoleMigration.exe を使用した Arcserve UDP コン ソールの移行

Arcserve アプライアンス アプライアンスでは、ConsoleMigration.exe を使用して Arcserve UDP コンソールを別のアプライアンスに移行できます。Arcserve UDP v6.5 Update 2 以降では、アプライアンスに属していない場合でも、任意の2 つの Arcserve UDP コンソールの間で Arcserve UDP コンソールを移行できます。

BackupDB および RecoverDB 用の ConsoleMigration.exe を使用します。以下のスクリーンショットは、ConsoleMigration.exe の使用方法を示しています。



### 移行プロセスを完了するには、以下の手順を実行します。

1. 古い Arcserve UDP コンソールで、Arcserve UDP データベースのバックアップ を実行します。

```
C:VProgram FilesVArcserveVUnified Data ProtectionVManagementVBINVAppliance>ConsoleMigration.exe ~BackupOB
Start Backup...
Backed up DB and version files completed.
DB and version files were created at: "C:VProgram FilesVArcserveVUnified Data ProtectionVManagementVBINVApplianceVDB_Migration".
```

[DB\_Migration] フォルダが正常に作成します。

2. 新しい Arcserve UDP コンソールで、 [DB\_Migration] フォルダを次のパスに コピーします。

<UDP\_Home> \Management\BIN\Appliance \

 新しい Arcserve UDP コンソールが Arcserve アプライアンスの場合、ホスト 名を変更してシステムを再起動し、アプライアンスウィザードを使用してア プライアンス設定を終了します。

**注:** Arcserve UDP コンソールが Arcserve アプライアンス ではない場合、この 手順をスキップします。

 新しい Arcserve UDP コンソールで、以下の画面に示される手順を実行して、Arcserve UDPコンソールデータベースを復旧させます。データベースのリカバリプロセスが完了したら、新しい Arcserve UDP コンソールのノードが更新されます。ノードの更新に失敗した場合は、C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\BIN\Appliance\logs パスの下にある DisconnectedNodesInfo-<mm-dd-yyyy>.txt ファイルに切断 されたノードが記録されます。切断されているノードは新しい Arcserve UDP コンソールから手動で更新できます。

%YProgram FilesYArcserveWuhified Data ProtectionYManagementYBINYAppliance>ConsoleMigration.exe -RecoverDB kre you sure you want to recover the backup DB file? y %topping Arcserve UDP Management service, please wait... kecovering backup DB file... bdating nodes, please wait... ?lease update nodes manually from UDP console if you still encounter disconnected nodes. he disconnected nodes(if existing) will be saved at "C:YProgram FilesYArcserveYUnified Data ProtectionYManagementYBINYApplianceYlogs". console migration completed. Console uses DB "localhostYARCSERVE\_APP".

**注:** Arcserve UDP コンソールで、ローカル サイト 以外 のサイト が存在する場合、*NewRegistrationText.txt* ファイルに記載されている手順に従い、サイトを 再登録します。

新しい Arcserve UDP コンソールへの Arcserve アプライアンス コンソールの移行が正常に完了しました。

このツールを使用して、リモート SQL データベースと接続している Arcserve UDP コン ソールについて、コンソール移行を実行することができます。移行が完了すると、 移行された Arcserve UDP コンソールは同じリモート SQL データベースに接続される ように設定されます。

**注:** Arcserve UDP v6.5 Update 4 以降、*ConsoleMigration.exe* コマンドに*-force* オ プションが導入されました。このオプションを使用すると、以下の条件で、復旧用 バックアップデータベースファイルのターゲットコンソールへの移行が強制されます。

- ソースコンソールで SQL Server Enterprise エディションを使用しており、ター ゲット コンソールで SQL Server Express エディションを使用している 2 つのコ ンソール間で、コンソールの移行を実行する必要がある場合。この場合、 ソース UDP コンソールで必要なデータベースの最小サイズは 4000 MB で す。
- SQL Server データベースの新しいバージョンを使用するコンソールから SQL Server データベースの古いバージョンを使用するコンソールへコンソールの 移行を実行する必要がある場合。たとえば、SQL Server 2016を使用する コンソールから SQL Server 2014を使用するコンソールへの移行です。

## Arcserve アプライアンス間の移行

このトピックでは、既存の Arcserve アプライアンス から別の新しい Arcserve アプライアンス への移行を実行するユーザ用に解決策を提供します。

たとえば、Arcserve アプライアンス1を Arcserve アプライアンス2に移行するとします。前提条件は次のとおりです。

- アプライアンス1とアプライアンス2の両方に接続できることを確認します。
- アプライアンス2の容量には、アプライアンス1上のすべてのデータを保持するために十分なメモリが必要です。
- Arcserve アプライアンス1で、ジョブが実行されていないことを確認します。
   コンソールの移行の詳細については、「ConsoleMigration.exe を使用して
   Arcserve UDP コンソールを移行する方法」のトピックを参照してください。

任意のアプライアンスから新しいアプライアンスに移行するには、以下の解決策に従います。

■解決策

## 解決策

Arcserve アプライアンスの移行に関するソリューション

重要:既存のアプライアンスがArcserve UDP コンソールとArcserve UDP RPSの両方として動作している場合、この解決策を使用することができます。

### 前提条件:

- Arcserve アプライアンス1で、ジョブが実行されていないことを確認します。
- Arcserve UDP コンソールを Arcserve アプライアンス1から2に移行済みです。

**注:** Arcserve UDP コンソールをアプライアンス1から2に移行する方法の詳細については、「<u>ConsoleMigration.exe を使用した Arcserve UDP コンソール</u> の移行方法」を参照してください。

#### 以下の手順に従います。

1. コマンド ラインで以下のコマンドを使用し、Arcserve アプライアンス1上の すべての Arcserve UDP サービスを停止します。

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\BIN> cmdutil.exe /stopall
```
_ 0 ×
C:5.
                 Administrator: C:\Windows\System32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.3.9600]
(c) 2013 Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\BIN>cmdut
il.exe /stopall
Start to kill process explorer.exe
Killing process explorer.exe
Process killed.
 Start to kill process D2DUDgc.exe
Stopping service 'Arcserve UDP Agent Service'...
Service Stopped.
 topping service 'Arcserve UDP RPS Data Store Service'...
ervice Stopped.
Stopping service 'Arcserve UDP RPS Port Sharing Service'...
Service Stopped.
Stopping service 'Arcserve UDP Identity Service'...
Service Stopped.
Stopping service 'Arcserve UDP Management Service'...
Service Stopped.
Stopping service 'Arcserve UDP Management Port Sharing Service'...
Service Stopped.
 Stopping service 'Arcserve UDP Agent Explorer Extension Service'...
Service Stopped.
Stopping service 'Arcserve UDP Update Service'...
Service Stopped.
Stopping Arcserve UDP agent monitor...
Arcserve UDP agent monitor stopped.
Start to kill Arcserve UDP processes
Killing process sync_utl_d.exe
Process killed.
Killing process AFD2DMonitor.exe
Process killed.
Killing process GDDServer.exe
Process killed.
Killing process GDDServer.exe
Process killed.
Killing process GDDServer.exe
Process killed.
Killing process AStartup.exe
Process killed.
Killing process explorer.exe
Process killed.
Stopping mounting driver...
Mounting driver stopped.
Start Windows Explorer.
```

- 2. ディスク X および Y 上 のすべてのデータを、Arcserve アプライアンス 1 から 2 に手 動 でコピーします。
- 3. アプライアンス 2 で、すべての Arcserve UDP サービスを起動し、アプライアン ス 1 からコピーしたデータストアをインポートします。

ダッシュボード <b>リソース</b>	ジョブ レポート ログ お	8年   ハイアペイラビリティ			
	データストアのインポート				
	復日ポイントサーバ	appliance			
	データストア フォルダ	XWArcserveWdata_storeWcommon			- #R
	暗号化/ロワード	•	*		
		200			
				保存	キャンセル ヘルプ

**注**: Arcserve UDP ログファイルは新しいアプライアンスには移行されません。

既存のArcserve アプライアンスから別の新しいArcserve アプライアンスへの移行が完了します。

# プレインストールされた Linux バックアップ サーバの入 カソースの変更

プレインストールされた Linux バックアップ サーバのキーボードを変更 することができます。

以下の手順に従います。

- 1. 管理者として Arcserve アプライアンス にログインします。
- 2. 設定]をクリックします。



3. 地域と言語]をクリックします。

🏶 Activities	🎋 Settings 🔹	-		Fr	i 00:09			∴ 40 O -
		₽						
				All	Settings		Q, X	
		Personal	Notifications	Online Accounts	U D U a a a Frivacy	Region & Lan guage	Search	
		Hardware Bluetooth	* Color	Displays	Keyboard	Mouse & Touchpad	Network	
		Power	Printers	Sound	Z Wacom Tablet			
		System Date & Time	() Details	Sharing	Universal Access	Users		C E N T O S

4. []をクリックして、新しい入力ソースを選択します。

Activities	🛠 Settings 🔻	Fri 00:14		.t. 40 € -
		< Region & Language	×	
		Language English (Uni	ited States)	
		Formats United State	es (English)	
		Input Sources		¢
		English (US)		
				7 E N T O S

5. 言語とキーボード レイアウトを選択します。



6. **追加**]をクリックします。

入カソースが正しく追加されます。

# 第6章:アプライアンスサーバのリモートモニタリング

Arcserve アプライアンスをリモート でモニタリングすることができます。 このセクションには、以下のトピックが含まれます。

### iDRAC (Integrated Dell Remote Access Controller) での操作

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

### iDRAC (Integrated Dell Remote Access Controller)の モニタと管理

Arcserve アプライアンス 9012-9504DR には、iDRAC9 (Integrated Dell Remote Access Controller 9) が搭載されています。iDRAC9 により、サーバ管理者は Arcserve アプライアンス の全体の可用性を向上させることができます。iDRAC によ りサーバの問題に関するアラートが管理者に提供されるため、サーバのリモート管 理を実行することができ、サーバへ物理的にアクセスする必要性が少なくなりま す。

システムステータスのモニタ、システム情報の管理、および仮想コンソールの起動 を行うには、iDRACにログインする必要があります。

#### 以下の手順に従います。

#### iDRAC にログインします。

- 1. ブラウザを起動して、*https://<iDRAC-IP-address>* に移動します。 iDRAC のログインページが表示されます。
- 2. 以下の情報を入力します。
  - ユーザ名: root

パスワード: ARCADMIN

- 3. **[ レグイン**]をクリックします。
- システムステータスのモニタとシステム情報の管理:

iDRAC システムステータスをモニタして、以下のシステム情報を管理できます。

- システムの健全性
- システムのプロパティ
- ハードウェアとファームウェアのインベントリ
- センサの健全性
- ストレージ デバイス
- ネットワーク デバイス
- ユーザ セッションの表示と終了

#### 仮想コンソールを起動します。

- 1. https://<iDRAC-IP-address> にログインします。
- 2. ダッシュボード]に移動して、 仮想コンソールの起動]をクリックします。

仮想コンソール]ページが表示されます。

仮想コンソールビューア]には、リモート システム デスクトップが表示されます。キーボートとマウスを使用してリモート システムを制御し、操作を実行することができます。

## iDRAC (Integrated Dell Remote Access Controller 9000 シリーズ)の IP アドレスの検出

Arcserve アプライアンス 9012-9504DR シリーズ モデルは、デフォルト で iDRAC 対応 の DHCP を使用するよう設定されています。iDRAC にアクセスするには、iDRAC9 専 用ネットワークポートに Ethernet ケーブルを接続します。Arcserve アプライアンス 9012-9504DR シリーズ モデルの背面 パネルおよび iDRAC9 専用ネットワークポート の詳細については、「9012-9048 の背面 パネル」および「9072DR-9504DR の背面 パ ネル」を参照してください。

iDRAC9 対応 9012-9048 の背面パネルの外観



iDRAC9 dedicated network port on rear panel of Arcserve Appliance 9012-9048 series models

#### iDRAC9 対応 9072DR-9504DR の背面パネルの外観



iDRAC9 dedicated network port on rear panel of Arcserve Appliance 9072DR-9504DR series models

アプライアンスから iDRAC の IP アドレスを検出できます。

以下の手順に従います。

1. Arcserve アプライアンスの起動中にiDRAC IP をメモします。



2. ブラウザを起動して、https://<iDRAC-IP-address> に移動します。

$\leftrightarrow \  \   \rightarrow \  \   C$	A Not secure https://10.57.25/restgui/start.html?login		☆ <b>0</b>
			I
	Integrated Remote	Access Controller 9	
	iDRAC-5Q6MHQ2	Enterprise	
	Usemame:	Password:	
	root		
	Domain:		
	This iDRAC •		
	Security Notice: By accessing this computer, you confirm that Log	t such access complies with your organization's security policy.	Vindows.
	Online Help S	Ipport About	

iDRAC ログインページが表示されます。

### iDRAC (Integrated Dell Remote Access Controller、X シリーズ)の IP アドレスの検出

Arcserve アプライアンス X シリーズ モデルは、デフォルト で iDRAC 対応の DHCP を使用するよう設定されています。iDRAC にアクセスするには、iDRAC9 専用ネットワーク ポートに Ethernet ケーブルを接続します。Arcserve アプライアンス X シリーズ モデル の背面パネルおよび iDRAC9 専用ネットワークポートの詳細については、「<u>X シリー</u> ズの背面パネル」を参照してください。

#### X シリーズの背面パネルの表示

アプライアンスから iDRAC の IP アドレスを検出できます。

以下の手順に従います。

1. Arcserve アプライアンスの起動中にiDRAC IP をメモします。



2. ブラウザを起動して、https://<iDRAC-IP-address> に移動します。

$\  \   \leftarrow \  \   \rightarrow \  \   G$	A Not secure Https://10.57.25/restgui/start.html?login	☆ <b>θ</b>
	Integrated Remote Access Cor	ntroller 9
	iDRAC-5Q6MHQ2   Enterprise	
		۱ 
	Username: Password:	
	root	
	Domain:	
	This iDRAC •	
	Security Notice: By accessing this computer, you confirm that such access complies to be accessed by accessing this computer, you confirm that such access complies to be accessed by accessing this computer, you confirm that such access complies to be accessed by accessing this computer, you confirm that such access complies to be accessed by accessing this computer, you confirm that such access complies to be accessed by accessing this computer, you confirm that such access complies to be accessed by accessed by accessing this computer, you confirm that such access complies to be accessed by accessing this computer, you confirm that such access complies to be accessed by accesse	with your organization's security policy
	Online Help Support About	

iDRAC ログインページが表示されます。

# iDRAC の DHCP または静的 IP アドレスの設定

iDRAC に対して、DHCP ネットワークモードを設定することができます。

以下の手順に従います。

1. Arcserve アプラインスの起動中に F2 キーを押して、システムのセット アップ 画面に切り替えます。

Initializing Firmware Inte	orfaces	Activate Windows
Entering System Setup F10 = Lifecycle Controller (Config IDRAC, Update FW, Install OS) F11 = Boot Manager F12 = PXE Boot	BIOS Version: 1.4.9 iDRAC IP: 10.57.25	

2. [レステム セット アップ メイン メニュー] 画 面 で、 [DRAC の設定]をクリックします。

System Setup	Help   About   Exit
System Setup	
System Setup Main Menu	
System BIOS	
IDRAC Settings	
Device Settings	
iDRAC Settings allows you to configure iDRAC.	
	Activate Windows
Service Tag : 5QI	a colorid Action Center to a Pinish mail

(DRAC の設定]オプションで **トット ワーク**]をクリックします。
 トット ワークの設定]フィールドが表示されます。

System Setup		Help   About   Exit
iDRAC Settings		
iDRAC Settings		
iDRAC Settings Version IDRAC Firmware Version	3.00.00.32 3.21.21.21 (Build 30)	•
System Summary System Event Log		
Network		
Front Panel Security		1
Lifecycle Controller		
Power Configuration		
Use this page to configure the network properties, properties. IPMI settings, and VLAN settings.	common iDRAC settings, IPv4 and IPv6	
Service Tan 50	ſ	Activate Windows Go to Action Center <mark>to a <b>Finish</b> Win</mark> do

4. 専用ネットワークインターフェースを使用するには、 [NIC 設定の有効化] で **有効**]を選択し、 [NIC を選択]で 専用]を選択します。

FTWORK SETTINGS	
Enable NIC	○ Disabled
NIC Selection	Dedicated
Failover Network	None
MAC Address	
Auto Negotiation	Off ⊛ On
Auto Dedicated NIC	O Enabled
Network Speed	O 10 Mbps O 100 Mbps ● 1000 Mbps
Active NIC Interface	Dedicated
Duplex Mode	O Half Duplex I Full Duplex
OMMON SETTINGS	
Register DRAC on DNS	Disabled     O Enabled
Register DRAC on DNS	Disabled     O Enabled

5. DHCP モードを設定するには、IPV4 設定の [Pv4 有効]および [DHCP 有 効]で、 有効]オプションを選択します。

System Setup		Help   About	Exit
iDRAC Settings			
iDRAC Settings • Network			
Auto Config Domain Name	•••	⊖ Enabled	
IPV4 SETTINGS	o Disabled		
Enable DHCP	···· O Disabled (	Enabled	
IP Address	10.57.25		- 1
Gateway	10.57.25		
Subnet Mask	255.255.250		
Use DHCP to obtain DNS server addresses	Oisabled	⊖ Enabled	
Preferred DNS Server	0.0.0		
Alternate DNS Server	0.0.0		
IPV6 SETTINGS			
Select Enabled to enable NIC. When NIC is enable this group. When a NIC is disabled, all communication	d, it activates the rem on to and (Press <f< td=""><td>maining controls in F1&gt; for more help)</td><td></td></f<>	maining controls in F1> for more help)	
		Go to Action Center to a Ba	<b>ck</b> Win <mark>do</mark>
Service Tag: 5QL			

**注:** iDRAC 専用ネットワークに静的 IP を設定する場合は、 **[Pv4 有効**]の 設定を **有効**]にし、 **[DHCP 有効**]の設定を **無効**]にします。ネットワーク 構成に従って、IP アドレス、ゲートウェイ、およびサブネット マスクを設定しま す。

System Setup		Help   About   E	Exit
iDRAC Settings			
iDRAC Settings • Network			
Auto Config Domain Name	Oisabled	O Enabled	•
Static DNS Domain Name			
IPV4 SETTINGS			
Enable IPv4	O Disabled	Enabled	
Enable DHCP		⊖ Enabled	
IP Address	10.57.25		
Gateway	10.57.25		
Subnet Mask	255.255.250.	iv.	-
Use DHCP to obtain DNS server addresses	Disabled	O Enabled	
Preferred DNS Server	0.0.0.0		
Alternate DNS Server	0.0.0		
IPV6 SETTINGS			
			-
Select Enabled to enable NIC. When NIC is enabled to enable NIC. When NIC is enabled, all communic	oled, it activates the ation to and (Pres	remaining controls in ss <f1> for more help)</f1>	
Service Tag: 5QL		Go to Action Center to a Back	Windo

6. 警告]ダイアログボックスで 戻る]をクリックし、次に、 完了]- はい]をクリックします。

ネットワーク情報が保存されます。

DRAC Settings		
RAC Settings		
iDRAC Settings Version	3.00.00.32	
iDRAC Firmware Version	3.21.21.21 (Build 30)	
System Summary	Warning	
System Event Log	Saving Changes	
Network	Settings have changed. Do you	
Alerts	want to save the changes?	
Front Panel Security		
Media and USB Port Settings	Ves No	
Lifecycle Controller		
Power Configuration		

7. **成功**]ダイアログボックスで、**(DK**]をクリックします。

System Setup		Help   About   Exit
iDRAC Settings		
iDRAC Settings		
iDRAC Settings Version iDRAC Firmware Version System Summary	3.00.00.32 3.21.21.21 (Build 30)	
System Event Log Network Alerts Front Panel Security Media and USB Port Settings Lifecycle Controller Power Configuration	Saving Changes The settings were saved successfully.	
Service Tag:50		Go to Activate Windows

iDRAC DHCP の設定が完了します。

8. **完了**]- (はい)をクリックすると、セットアップが終了し、システムが起動します。

System Setup		Help   About   Exit
System Setup		
System Setup Main Menu		
System BIOS IDRAC Settings	Warning	
Device Settings	Confirm Exit Are you sure you want to exit?	
Service Tag:5Q		Go to Activate Windows Go to Action Center to a Finish Windo

iDRAC に対して DHCP ネット ワークモード が設定されます。

### ベースボード管理コントローラ(BMC)の操作

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

# ベースボード管理コントローラ(BMC)のモニタおよび管理

Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR シリーズ モデルには、ベースボード管理 コントローラ(BMC)が搭載されています。BMC を使用すると、サーバ管理者は Arcserve アプライアンスの全体的な可用性を向上させることができます。

BMC によりサーバの問題に関するアラートが管理者に提供されるため、サーバのリ モート管理を実行することができ、サーバへ物理的にアクセスする必要性が少なく なります。また、さまざまな場所の複数のユーザにリモート アクセスして、システムの メンテナンスおよび管理を行うこともできます。

システムのステータスをモニタし、システム情報を管理し、リモート コンソールを起動するには、IPMI ( インテリジェント プラットフォーム管理インターフェース) にログインする必要があります。

#### 以下の手順に従います。

1. Web ブラウザを開き、BMC の IP アドレスを以下の形式で入力します。

https://BMC-IP-address.

[レグイン] 画面が表示されます。

2. 以下のようにログイン認証情報を入力します。

113 Arcserve アプライアンス ユーザ ガイド

ユーザ名: ADMIN

注: ユーザ名は大文字である必要があります。

**パスワード:** BMC パスワードを入力します

**注:** BMC 固有のパスワードは、サーバの前面パネルにある引き出し 式タグで確認できます。BMC パスワードは、BMC/IPMI MAC アドレスの すぐ下の行に記載されています。



- 3. **[ レグイン**] をクリックします。
- 4. [Jモート コンソール] に移動し、 [aunch Console ( コンソールの起動) ] をクリックします。

	SUPERMICE		Hi ! Welcome back ! 💂	
43	Dashboard			
	System	Launch Console	Launch SOL	
٠	Configuration	Current Interface	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	h
	Remote Control	Mouse Mode   Set Mode to Absolute (Windows. Ubuntu. RH6.)	Launch SOL	2
٦	Maintenance	O Set Mode to Relative (other Linux distributions)		
		O Single Mouse Mode	IKVM Reset	ש ה
				₽
		Launch Console	Reset	
			Activate Windows	
		Copyright © 2025 Supermicro Compute	Activate Windows Go to Settings to activate Windows.	

Remote Console Viewer (リモート コンソールビューア)]に、リモート システム デス クトップが表示されます。キーボートとマウスを使用してリモート システムを制御し、 操作を実行することができます。

また、BMC システム ステータスをモニタして、以下 のシステム情報を管理できます。

- システムの健全性
- システムのプロパティ
- ハードウェアとファームウェアのインベントリ
- センサの健全性

- ストレージ デバイス
- ネットワーク デバイス
- ユーザ セッションの表示と終了

### BMC の IP アドレスを確認する方法

Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR シリーズ モデルは、デフォルト で BMC に DHCP を使用するように設定されています。BMC にアクセスするには、BMC 専用 ネットワークポートに Ethernet ケーブルを接続します。Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR シリーズ モデルの実際のパネルおよび BMC 専用ネットワーク ポートの詳細については、「背面パネル 10024BU-10048BU」および「背面パネル 10048DR-10576DR」を参照してください。

BMCのIPアドレスは、以下の方法で確認できます。

### BIOS を使用した IP アドレスの確認

このセクションでは、BIOSを使用して IP アドレスを確認する方法について説明します。

以下の手順に従います。

- 1. アプライアンス サーバの電源をオンにします。
- 2. システムの起動中に Del キーを押して、BIOS メニューを表示します。
- 3. **\$erver Management (サーバ管理)]** タブに移動して、 **\$MC Network** Configuration (BMC ネット ワーク設定)]を選択します。

[PV4 Station IP address (IPV4 ステーション IP アドレス)] パラメータで、IP アドレスを確認できます。DHCP で発行された IP アドレスを、希望する静的 IP アドレスに変更することもできます。詳細については、「BIOS を使用した BMC IP アドレスの設定」を参照してください。

### POST 画 面 での IP アドレスの確認

このセクションでは、POST画面でIPアドレスを確認する方法について説明します。

以下の手順に従います。

- 1. アプライアンス サーバの電源をオンにします。
- 2. システムの起動を開始します。

POST 画 面 が表 示されます。

IP アドレスは、POST 画面の右下に表示されます。

### BMC の DHCP または静的 IP アドレスの設定

このセクションでは、BMC の UEFI BIOS および IP アドレスの設定方法について説明 します。

### UEFI BIOS の設定

このセクションでは、UEFI BIOS の設定方法について説明します。

**注:** BMC を設定する前に、Arcserve アプライアンスサーバに直接接続されている モニタで BIOS を設定する必要があります。このプロセスは、BMC の BIOS 内でのみ 実行できます。

#### 以下の手順に従います。

- 1. Arcserve アプライアンス サーバの電源をオンにします。
- 2. システムの起動中に Del キーを押して BIOS 画面を表示します。

注: BIOS 内を移動するには、矢印キーを使用します。選択するには、Enter キーを押し、前の画面に戻るには、Esc キーを押します。

- 3. BIOS セットアップメニューから Advanced (詳細)]タブを選択します。
- 4. Serial Port Console Redirection (シリアルポート コンソールリダイレクション) ]を選択し、Enter キーを押します。
- 5. COM2/SOL の下の **[console Redirection (コンソールリダイレクション)**]に 移動し、Enter キーを押して、 **[nabled (有効)**]を選択します。

Aptio Setup – American Megatrends International, LLC. Serial Port Console Redirection		
COM1 Console Redirection Console Redirection Settings	[Disabled]	Console Redirection Enable or Disable.
COM2/SOL Console Redirection ► Console Redirection Settings		
Legacy Console Redirection • Legacy Console Redirection Setti Serial Port for Out-of-Band Mana Windows Emergency Management Ser Console Redirection	Console Redirectio Disabled Enabled	n
<ul> <li>Console Redirection Settings</li> </ul>		Enter: Select +/-: Change Opt. F1: General Help F2: Previous Values F3: Optimized Defaults F4: Save & Exit ESC: Exit
Ver. 2,21.1277 Copyrigh	t (C) 2020 American Me	sgatrends International, LLC.

6. F4 キーを押し、保存して終了します。

BIOSが正常に設定されました。

### BMC の IP アドレスの設定

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

### DHCP サーバを使用した DHCP IP アドレスの設定

このセクションでは、DHCP サーバを使用して DHCP IP アドレスを設定する方法について説明します

以下の手順に従います。

- 1. アプライアンス サーバで、MAC アドレス バーコード 付きの引き出し式 ID タ グを見つけます。
- 2. MAC アドレス値を使用して、DHCP サーバに既知の登録済み DHCP IP ア ドレスを設定します。

POST 画面または BIOS から IP アドレスを確認できます。詳細については、 「BMC の IP アドレスを検索する方法」を参照してください。

### BIOS を使用した静的 IP アドレスの設定

このセクションでは、BIOSを使用して静的 IP アドレスを設定する方法について説明します。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve アプライアンス サーバの電源をオンにします。
- 2. システムの起動中に Del キーを押して BIOS 画面を表示します。
- 3. **\$erver Management (サーバ管理)]** タブの **BMC Network** Configuration (BMC ネットワーク設定)] に移動し、Enter キーを押しま す。

*₿MC Network Configuration ( BMC ネットワーク設定) ]* 画面が表示されます。



- Update IPMI LAN Configuration (IPMI LAN 設定の更新)]を選択し、
   Enter キーを押してから、 Yes (はい)]を選択します。
- 5. **Configuration Address source (設定アドレスソース)**]を選択し、Enter キーを押してから、 **Static (静的)**]を選択します。



設定アドレスソースが静的に設定された後、 \$tatic IP Address (静的 IP ア ドレス)]、 \$ubnet Mask (サブネット マスク)]、および \$Gateway IP Address (ゲートウェイ IP アドレス)]のフィールドの値 0.0.0.0を更新できます。

6. \$tatic IP Address (静的 IP アドレス)]、 \$ubnet Mask (サブネット マスク)]、および [bateway IP Address (ゲートウェイ IP アドレス)]に必要な値を入力し、Enter キーを押します。

IPv6 address status	Active	Select to configure LAN
Station IPV6 address		channel parameters statically
Prefix Length	16	or dynamically(by BIOS or
IPV6 Router IP Address	1000::1	BMC). Unspecified option wil.
Understand Lan Configuration	fv1	not modity any BMC network
Update IPMI LAN CONTIguration	[Yes]	parameters during bius phase
VI AN	[Failover]	
VERIN	[DISGDIEU]	
*****		
Configure IPv4 support		
*XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
Station IP address	0.0.0.0	++: Select Screen
Subnet mask	0.0.0	↑↓: Select Item
Gateway IP address	0.0.0	Enter: Select
		+/-: Change Opt.
		F1: General Help
CONTIGUE IFV6 Support		F2: Previous values
TPV6 Sunnert	[Enabled]	F4. Save & Evit
Configuration Address source	[Static]	ESC: Exit
Station IPV6 address	4000::2	LOOP LALL
Prefix Length	0	
IPV6 Router IP Address	3000::1	

7. F4 キーを押し、保存して終了します。

BMC 静的 IP アドレスが正常に設定されました。

### BIOS を使用した BMC への接続

BMC に接続し、デバイスの BIOS メニューを起動するには、イーサネット ケーブルの ー端をラップトップまたはデバイスのイーサネット ポートに接続します。次に、ケーブ ルのもうー方の端をサーバの IPMI または SHARED ポートに接続します。これで、 BMC とデバイスは同じネット ワークに接続されました。

#### 以下の手順に従います。

- 1. Arcserve アプライアンス サーバの電源をオンにします。
- 2. システムの起動中に Del キーを押して BIOS 画面を表示します。
- Server Management (サーバ管理)] タブの BMC Network
   Configuration (BMC ネットワーク設定)] に移動し、Enter キーを押します。

4. [Ipdate IPMI LAN Configuration (IPMI LAN 設定の更新)]を選択し、 Enter キーを押してから、 [res (はい)]を選択します。



5. **[PMI LAN Selection (IPMI LAN の選択)]**を選択し、Enter キーを押して から、 **\$hared (共有)]**を選択します。



6. **Configuration Address source (設定アドレスソース)**]を選択し、Enter キーを押してから、 **Static (静的)**]を選択します。

		▲ Select to configure LAN
IPMI LAN Selection	Failover	channel parameters statically
IPMI Network Link Status	Dedicated LAN	or dynamically(by BIOS or
Station MAC address	3C-EC-EF-3B-E0-2F	BMC). Unspecified option wil
/LAN	Disabled	not modify any BMC network
IPv4 Address Source	DHCP	parameters during BIOS phase
Station IP address	172.31.56.4	
Subnet mask	255.255.0.0	
Gateway IP address	172.31.0.1	
IPV6 address status	Active Confiduration Address court	
Station 1996 address	— Configuration Address Sour	
TPV6 Routen TP Address	ICP	
		Select Screen
Update IPMI LAN Configuration		Select Item
IPMI LAN Selection	[Failover]	Enter: Select
VLAN	[Disabled]	+/-: Change Opt.
		F1: General Help
***		F2: Previous Values
Configure IPv4 support		F3: Optimized Defaults
*****		F4: Save & Exit
		ESC: Exit
****		

設定アドレスソースが静的に設定された後、 \$tatic IP Address (静的 IP ア ドレス)]、 \$ubnet Mask (サブネット マスク)]、および \$Gateway IP Address (ゲートウェイ IP アドレス)]のフィールドの値 0.0.0.0を更新できます。

7. \$tatic IP Address (静的 IP アドレス)]、 \$ubnet Mask (サブネット マスク)]、および [ateway IP Address (ゲートウェイ IP アドレス)]に必要な値を入力し、Enter キーを押します。

IPv6 address status	Active	▲ Select to configure LAN
Prefix Length	16	ion dunamicallu(bu BIOS or
TPV6 Router TP Address	1000::1	BMC) Unspecified ontion wil
in to houter in hadrood	1000.11	not modify any BMC network
Update IPMI LAN Configuration	[Yes]	parameters during BIOS phase
IPMI LAN Selection	[Failover]	
VLAN	[Disabled]	
жинин		
Configure IPv4 support жижнокижижие вобот		
Station IP address	0.0.0	++: Select Screen
Subnet mask	0.0.0.0	î↓: Select Item
Gateway IP address	0.0.0	Enter: Select
		+/-: Change Opt.
**************************************		F1: General Help
Configure IPv6 support		F2: Previous Values
TRUE Cuprent	[Enchlod]	F3: Uptimized Defaults
Irvo Support	[Enableu]	F9: Save a EXIL
Station IPV6 address	40002	ESC. EXIC
Prefix Length	0	
TEV6 Router TP Address	3000::1	

8. F4 キーを押し、保存して終了します。

デバイスが BMC に正常に接続されました。

# 第7章: Arcserve アプライアンスのリストアまたは修復

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

ファクトリリセットのデバック	

### ファクトリリセット のデバッグ

このトピックでは、以下のエラーメッセージが表示された場合に、ファクトリリセット をデバッグする方法について説明します。



問題を解決するには、以下の手順を実行してください。

 エラーメッセージで トラブルシューティング]のドロップダウン オプションをク リックします。

以下のオプションが表示されます。

#### コマンド プロンプト

CMD (コマンド プロンプト) ダイアログ ボックスでは、いくつかの基本操作 を行うことができます。たとえば、フォルダ内にファイルが存在するかどうか の確認、ファイルのコピーと削除、ディスクレイアウト情報の取得を実行 できます。

ログの表示

[Pグの表示]オプションでは、メモ帳にログを表示できます。ログを確認 した後、 *[Pァイル]- 名前を付けて保存]*をクリックしてログを保存し、後 で利用することもできます。

ファクトリリセットの再起動

問題の解決後、このオプションを選択すると、ファクトリリセットを再起動 できます。

ヘルプ

やルプ辞書]ダイアログボックスには、エラーの原因、基本分析、および解決策に関する情報が表示されます。この問題を解決するには、以下の手順を実行してください。共通の操作についてのヒントも表示されます。たとえば、ディスクレイアウトの取得方法、ファクリリセットのプロパティファイルコンテンツの取得方法、ログの保存方法などです。

2. 表示されるオプションの中から ヘルプ]をクリックします。

画面には、複数のエラーコードとその詳細が表示されます。

٢	ファクトリリセット ヘルプ
Category:	
Category ヨーバレズ ヨーゴラーコード 1001 コラーコード 1002 コラーコード 1002 コラーコード 1015 コラーコード 1015 コラーコード 1015 コラーコード 1018 コラーコード 1019 コラーコード 1019 コラーコード 1019 コラーコード 1019 コラーコード 1051 コラーコード 1051 コラーコード 1054 ヨラーコード 1054 ヨラーコード 1054	<ul> <li>専四 ブログラムが SSD ディスクを見つけることができません。</li> <li>デバッグ: SSD ディスクが存在するかどうかを確認します。存在する場合は、ログを収集し、すべての情報を 添えて Arcserve サポートにお問い合わせください。</li> <li>手順:         <ol> <li>トラブルシューティングアーン*(ロマンド ブロンブト)から、コマンド ブロンブト (cmd) を開きま す。</li> <li>「diskpart" と入力し、Enter キーを押します。 disbpart のパーションが表示されます。</li> <li>flist disk の詳細については、ビンドーン*(daskayounの取得方法))を登録します。</li> <li>tist disk の詳細については、ビンドーン*(daskayounの取得方法))を参照してください。</li> <li>ためたい気がられていてのほうできなます。</li> <li>たりためたいこの状況があったりについてのないのないでのないのないのないできます。</li> </ol> </li> </ul>
	4また。詳細な分析のためにログを収集して伴存する方法とついては、「ビント*ーン・ログの/半存方法・ 注*] も参照してくださし。

3. エラーメッセージに表示されるエラーコードの **ヒント**]に移動し、右側のパ ネルの下に表示されている指示に従います。



該当するエラーを選択し、ヒントに表示される指示に従うと、ファクトリリセットの問題を解決できます。

# Arcserve アプライアンス のインストール

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

### Arcserve Backup 19.0 をインストールする方法

Arcserve Backup 19.0 は、アプライアンスに事前インストールされていません。 Arcserve Backup 19.0 をインストールするには、デスクトップにある InstallASBU.iso ファイルをマウントします。

#### 以下の手順に従います。

1. デスクトップで InstallASBU.iso ファイルを見つけてマウントし、アプリケーション のセット アップに移動して、管理者としてセットアップを実行します。

製品のインストール]ブラウザの右側の列で、 Arcserve Backup for Windows のインストール]をクリックします。

前提条件コンポーネント]ダイアログボックスが表示されます。

2. {{ンストール] をクリックして、前提条件コンポーネントをインストールします。

前提条件コンポーネント]ダイアログボックスは、ターゲットコンピュータにイン ストールされている Arcserve Backup 前提条件コンポーネントが検出されなかっ た場合にのみ表示されます。

**注:** クラスタ対応環境内のアクティブノードに Arcserve Backup をインストール する場合は、アクティブノードが再起動する間に、アクティブノードからパッシブ ノードにクラスタリソースが移動されます。アクティブノードが再起動したら、元 のアクティブノードにクラスタリソースを移動する必要があります。

- 3. 使用許諾契約]ダイアログボックスで、使用許諾契約の条件に同意して 次へ]をクリックします。
- 表示されるプロンプトに従って、ダイアログボックスに必要なすべての情報を 記入します。

以下のリストは、Arcserve Backupのインストールに関するダイアログボックス固有の情報について説明しています。

#### インストール/アップグレードの種類の選択ダイアログボックス

リモート インストールオプションを選択すると、Arcserve Backup を複数の システムにインストールできます。

リモート インストールでは、ターゲットのリモート システムを異なる Arcserve サーバタイプ、異なる Arcserve Backup エージェントとオプショ ン、またはその両方で構成することができます。

注: クラスタ マシンのセット アップ プログラムは Arcserve Backup ベース製品または Arcserve Backup エージェント のリモート インストールはサポート していません。Arcserve Backup エージェント(たとえば Agent for Microsoft SQL Server または Agent for Microsoft Exchange Server) に関するこのリ モート インストールの制限は、仮想ホストを使用している場合のみ当て はまります。 クラスタの物理ホストを使用した Arcserve Backup エージェン トのリモート インストールはサポートされています。

#### 【インストールの種類】ダイアログボックス

インストールの種類として 高速]または カスタム]を選択することによって、インストールする Arcserve Backup コンポーネントの種類を指定できます。

**注**: 以前のリリースからアップグレードする場合、インストールウィザードでは、現在のArcserve 設定を検出し、新しいインストールに適切なインストール/アップグレードの種類を選択します。詳細については、

「<u>Arcserve Backup サーバインストールのタイプ</u>」および「<u>Arcserve Backup</u> <u>サーバオプション</u>」を参照してください。

Arcserve Backup Setup Installation Type	
	arcserve backup
<ul> <li>Locense Agreement</li> <li>Methods</li> <li>Configuration</li> <li>Installation Type Components Accounts Database Settings Agent Setting Messages</li> <li>Setup Summary Installation Progress Installation Report</li> </ul>	Specify an installation type  C Express  C Custom  Accserve Manager (Console)  Accserve Manager (Console)  Accserve Manager (Console)  Accserve Manager (Console)  Accserve Member Server  Accserve Member Server  C Arcserve Member Server  C Other  This option installs an Arcserve Stand-alone server. Using an Arcserve Stand-alone server you can run, manage, and montor jobs running locally.
Product Information	
View Release Notes	(Bady News) Count
	< Back Next > Cancel

#### **[レポーネント] ダイアログ ボックス**

ターゲット システムにインストールする Arcserve Backup コンポーネントを 指定できます。

以下の点に注意してください。

- プライマリサーバをインストールするには、プライマリサーバに Arcserve Backup Central Management Option をインストールする必要があります。
- メンバサーバをインストールするには、インストールウィザードがネットワーク
   内の Arcserve Backup ドメイン名 とプライマリサーバ名 を検出 できる必要が

あります。したがって、メンバサーバインストールを実行する前に、少なくとも 1つのプライマリサーバインストールを完了しておく必要があります。

- Arcserve Backup オブジェクトまたはサーバオブジェクトを 製品の選択]ダイ アログボックスでクリックすると、インストールウィザードでは、 f(ンストール/ アップグレードの種類]ダイアログボックスで指定したインストールの種類に 関係なく、デフォルトのスタンドアロン サーバインストールコンポーネントが 指定されます。正しいコンポーネントをインストールするには、サーバオブ ジェクトを展開し、インストールする Arcserve Backup サーバのタイプのオブ ジェクトを展開して、インストールするコンポーネントに対応するチェックボック スをオンにします。
- Agent Deployment は、Arcserve Backup をインストールした後で、Arcserve Backup エージェントを複数のリモートシステムにインストールしてアップグレー ドできるウィザード形式のアプリケーションです。この機能をサポートするに は、セットアッププログラムで Setup ソースファイルを Arcserve Backup サーバ にコピーする必要があります。インストールメディアのコンテンツを Arcserve Backup サーバにコピーするには、 「レンポーネント]ダイアログボックスで Agent Deploymentを選択する必要があります。Agent Deploymentを選択 すると、Arcserve Backup のインストールまたはアップグレードに要する時間が かなり長くなります。
- ◆ リモート インストールまたはサイレント インストールを実行する場合、
   Arcserve Backup Client Agent for Windows を Arcserve Backup ベース製品と
   同じディレクトリにインストールしないでください。
- ◆ Global Dashboard はプライマリサーバ、スタンドアロン サーバおよびメンバ サーバにインストールできます。ただし、メンバ サーバをセントラル プライマリ サーバおよびブランチ プライマリサーバとして機能するように設定することは できません。セントラル プライマリサーバおよびブランチ プライマリサーバの詳 細については、「<u>Dashboard ユーザガイド</u>」を参照してください。
- Windows Server Core を実行するコンピュータでは、以下のArcserve Backup 製品のみをインストールできます。
  - メンバサーバおよびサポートされるオプション
  - Agent for Open Files
  - Agent for Virtual Machines
  - Client Agent for Windows
  - Disaster Recovery Option

以下の図では、Client Agent for Windows のデフォルトのインストールパスが 表示されていて、Agent Deployment が指定されています。



#### アカウント]ダイアログ ボックス

Arcserve Backup アカウントを設定し、 **Arcserve Backup Web サービスの インストール**]を有効にするオプションを提供します。

セットアップ中に、クラスタ対応アプリケーションが環境内で実行されてい ることが検出された場合、Arcserve Backup をクラスタ対応環境にインス トールするには、 クラスタ環境インストール]オプションを選択して Arcserve Backup をインストールする共有ディスクのパスを指定します。

**注:** Arcserve Backup サーバ名とArcserve Backup ドメイン名は、15 バイト以内である必要があります。合計 15 バイトの名前は、およそ7 ~ 15 文字に相当します。

Accounts Specify the Arcserve Backu	p Domain you want to setup.	arcserve <sup>®</sup> BACKUP
<ul> <li>License Agreement</li> <li>Methods</li> <li>Configuration         <ul> <li>Installation Type</li> <li>Components</li> <li>Accounts</li> <li>Database Settings</li> <li>Agent Setting</li> <li>Messages</li> <li>Setup Summary</li> <li>Installation Progress</li> <li>Installation Report</li> </ul> </li> </ul>	Target Host: [ASWINI-TEST]  Specify a Windows administrative account  Microsoft Windows Domain:  Microsoft Windows User Name:  Password:  Specify a Arcserve Backup domain account  Arcserve Backup Domain:  Arcserve Backup Domain:  Arcserve Backup Server:  User Name:  Password:  Confirm Password:  Remember password	Administrator
Product Information View Release Notes	Install Arcserve Backup Web Service Web Service Settings Port	8020

Arcserve Backup Web サービスは、UDP テープへのコピータスクと Arcserve Backup の間のブリッジとして機能します。デフォルト では、Arcserve Backup をインストールすると、 [Arcserve Backup Web サービスのインストール]が有 効になります。Web サービス設定のデフォルトのポート番号は8020 です。 このポート番号は変更できます。

**Arcserve Backup Web サービスのインストール**] チェック ボックスをオフにして、Arcserve Backup Web サービスを無効にします。

Arcserve Backup のインストール後に **Arcserve Backup Web サービスのイン ストール**]を有効化/変更できます。

**注:** Arcserve Backup Web サービスを Arcserve Backup ドメインのすべての サーバにインストールする場合は、同じポート番号を指定します。Arcserve UDP は、同じポート番号を使用して、Arcserve Backup ドメインの Arcserve Backup プライマリサーバとメンバ サーバの両方に接続します。

#### 以下の手順に従います。

- 1. コマンドラインから Arcserve Backup ベース インストール パスに移動 します。
- 2. コマンド プロンプトで、以下のコマンドを入力します。

Bconfig –c

{Arcserve Backup> アカウント]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. Web サービスを設定または更新します。

データベースの設定]ダイアログボックス
Arcserve Backup データベースを設定できます。

このダイアログボックスで、データベースアプリケーション(Arcserve Backup のデフォルトのデータベースまたは Microsoft SQL Server)を指 定するか、必須フィールドの入力を完了した後、 次へ]をクリックし ます。

注: Unicode ベースの東アジア言語文字(JIS2004 など)を含むデー タを保護する必要がある場合は、Arcserve Backup のデータ検索お よび並べ替えを可能にするために SQL 照合順序を有効にする必要 があります。これを行うには、東アジア言語の照合順序]をクリック してドロップダウンリストから言語を選択します。

Arcserve Backup Setup Database Settings The database stores critical i Arcserve Backup and its oper	nformation about ations.	arcserve <sup>®</sup> BAKUP
<ul> <li>✓ License Agreement</li> <li>✓ Methods</li> <li>+ Configuration</li> <li>✓ Installation Type</li> <li>✓ Components</li> </ul>	Target Host:[·TEST] Choose a database type:	Arcserve Default Database
<ul> <li>Accounts</li> <li>Database Settings</li> <li>Agent Setting</li> <li>Messages</li> <li>Setup Summary</li> <li>Installation Progress</li> <li>Installation Report</li> </ul>	Specify the installation path for     C Default installation path:         C Select a custom path     Data file path for Arcserve def         C Default installation path:         C Select a custom path         SQL Language Collation Settin	r Arcserve default database C:\Program Files (x86)\Viicrosoft SQL Server fault database C:\Program Files (x86)\Viicrosoft SQL Server \ViSSQL 12.ARCSERVE_DB\VISSQL\DATA
Product Information View Release Notes	Default collation     C East Asian collation     Installation Path for Catalog Files:	Chinese_PRC  Chinese_PRC

#### ▶ッセージ]ダイアログ ボックス

どッセージ]ダイアログボックスでメッセージを確認し、この時点で問題の解決を試みる必要があります。

以下は、 重要な警告メッセージ]ダイアログ ボックスを示しています。



#### セット アップ サマリ] ダイアログ ボックス

インストールするコンポーネントを変更するには、変更するインストー ルオプションが表示されているダイアログボックスに戻るまで 戻る]ボ タンをクリックしてください。

#### 【インストールレポート】ダイアログボックス

選択したコンポーネントで設定が必要な場合は、インストールの最 後に設定ダイアログボックスが表示されます。すぐにコンポーネントを 設定することも、後から「デバイス環境設定]または [nterprise Module 環境設定]を使用して設定することもできます。たとえば、 単ードライブのオートローダを使用している場合は、セットアップで [イ ンストールサマリ]ダイアログボックスでメッセージをダブルクリックするこ とで、該当する「デバイス環境設定]を起動するように指定すること ができます。 以下に、 {fンストールレポート]ダイアログボックスを示します。 Agent for Microsoft SQL Server で環境設定が必要とされています。



注: Arcserve Backup のインストール時に、サーバの再起動が必要になる 場合があります。これは、すべてのファイル、サービス、およびレジストリの設 定がオペレーティングシステムレベルで更新されたかどうかによって決まりま す。

#### 【ノンストールサマリ】ダイアログボックス

選択したコンポーネントで設定が必要な場合は、インストールの最後に 設定ダイアログボックスが表示されます。すぐにコンポーネントを設定す ることも、後から「デバイス環境設定]または [Interprise Module 環境設 定]を使用して設定することもできます。たとえば、単一ドライブのオート ローダを使用している場合は、セットアップで [インストールサマリ]ダイア ログボックスでメッセージをダブルクリックすることで、該当する「デバイス 環境設定]を起動するように指定することができます。

5. {{ンストール サマリ]ダイアログ ボックスで 完了]をクリックしてインストールを 完了します。

### 10024BU-10048BU シリーズ アプライアンスの設置方法

アプライアンスは、限られた領域のみに設置することを目的としています。初期設定およびメンテナンスは、専門の担当者が実行する必要があります。

完全な設置プロセスについては、「<u>10024BU-10048BU のアプライアンスの設置</u>」を 参照してください。

## 10048DR-10576DR シリーズ アプライアンスの設置方法

アプライアンスは、限られた領域のみに設置することを目的としています。初期設定およびメンテナンスは、専門の担当者が実行する必要があります。

完全な設置プロセスについては、「<u>10048DR-10576DR のアプライアンスの設置</u>」を 参照してください。

## 9012-9048 シリーズ アプライアンスの設置方法

アプライアンスは、限られた領域のみに設置することを目的としています。初期設定およびメンテナンスは、専門の担当者が実行する必要があります。

完全な設置プロセスについては、「<u>9012-9048 のアプライアンスの設置</u>」を参照して ください。

## 9072-9504DR シリーズ アプライアンスの設置方法

アプライアンスは、限られた領域のみに設置することを目的としています。初期設定およびメンテナンスは、専門の担当者が実行する必要があります。

完全な設置プロセスについては、「<u>9072-9504DR のアプライアンスの設置</u>」を参照 してください。

## x シリーズ アプライアンスの設置方法

アプライアンスは、限られた領域のみに設置することを目的としています。初期設定およびメンテナンスは、専門の担当者が実行する必要があります。

完全な設置プロセスについては、「<u>X シリーズ アプライアンスの設置 - コンピュート</u> ノード」および「<u>X シリーズ アプライアンスの設置 - ストレージ ノード</u>」を参照してくだ さい。

## 10024BU-10576DR シリーズ アプライアンスでの Arcserve UDP ファクトリリセットの適用

このセクションでは、10000 シリーズ アプライアンスでファクトリリセットを実行する方法について説明します。

UDP ファクトリリセット オプションを使用すると、Arcserve アプライアンス 10000 シリーズをクリーンで設定されていないステータスに戻すことができます。

注: UDP ファクトリリセットの実行中に、 Preserve the backup data (パックアップ データの保持)] チェック ボックスを選択することもできます。 10000 シリーズ アプライアンスのファクトリリセットを実行するには、以下のいずれかの方法を使用します。

### BIOS からのファクトリリセット

このセクションでは、BIOS から UDP ファクトリリセットを実行する方法について説明 します。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve アプライアンスの電源をオンにします。
- 2. キーボードの F11 キーを押して、ブート メニューを起動します。
- [JDP Factory Reset ( UDP ファクトリリセット)] ブート オプションを選択します。



ファクトリリセットウィザードが表示されます。

4. **[ノセット**]をクリックします。

Notes:

デフォルトで、 既存のバックアップデータを保持] チェックボックスがオンになっています。 リセット 中にすべてのバックアップデータが保持され

ます。 元のオペレーティングシステムの C:\ ボリュームのみが再構築されます。

既存のバックアップデータを保持] チェックボックスをオフにすると、リセット中にすべてのバックアップデータが削除されます。元のオペレーティングシステムのC:\、X:\、Y:\の各ボリューム上のデータが再構築されます。



確認のダイアログボックスが表示されます。

5. ファクトリリセットを実行するには、 [リセット]をクリックします。

**Confirm Factory Reset** 



Are you sure you want to perform a factory reset on your Arcserve Appliance? Selecting Reset will result in returning all settings to their factory defaults.

All of your backup data will be preserved during the reset.



- ファクトリリセットが完了したら、以下のいずれかのアクションを実行できます。
  - アプライアンスを再起動するには、 再起動]をクリックします。
  - アプライアンスを閉じるには、 シャットダウン]をクリックします。



10000 シリーズ アプライアンスの BIOS からのファクトリリセット が正常 に完了しました。

## Arcserve UDP コンソールからのファクトリリセット

このセクションでは、Arcserve UDP コンソールからファクトリリセットを実行する方法 について説明します。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP コンソールにログインします。
- 2. 設定] > ワァクトリリセット]に移動します。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	●メッセージ(1) ・	administrator 🔹	ヘルウ・
ダッシュボード リソース ジ	ョブ レポート ログ 設定			
データベース爆発設定 Accearve Bookup デーが同期スケジュール SRM 爆発設定 ノード アイスカルリを辺 優子シールビアール爆発設定 運動環境設定 電磁者 プカウント リモー 展開設定 共有プラン ユーザ管理 ファクトリ リセット	★ ファクトリ りセット Accessve アクライアンスモンアクトリ リセットを取付する、 はログ エントリ府印刷を対する。Accessve UDP パークラン・100 元の Arcessve UDP パークラン・100 元の Arcessve UDP パークラン・100 元の Arcessve UDP パークラン・100 元の Arcessve UDP パークラン・100	と、すべての最好定か工場出領時のスラーム ドウエアは、現在のバージョンからアフライア	れた更好れはす。すべてのリソース。 シスレデル・インストールされていたJ	ジョブ展展」レポート、お ページョンに戻されます。
Copyright © 2014-2024, Arcserve, LLC and its affiliates	and subsidiaries All rights reserved.			UTC+09.00 (日本標準8

*[Prクトリリセット]* 画面で、 **[Prクトリリセットを実行]** をクリックします。
 Notes:

デフォルトで、 既存のバックアップデータを保持] チェックボックスがオンになっています。 リセット 中にすべてのバックアップ データが保持されます。 元のオペレーティング システムの C:\ ボリュームのみが再構築さ

れます。

既存のバックアップデータを保持]チェックボックスをオフにすると、リセット中にすべてのバックアップデータが削除されます。元のオペレーティングシステムのC:\、X:\、Y:\の各ボリューム上のすべてのデータが再構築されます。

確認のダイアログボックスが表示されます。

4. ファクトリリセットを実行するには、 [リセット]をクリックします。

arcserve	" UNIFIED DATA PROTECTION	<b>()</b> メッセージ (1) ,	administrator 🔹	ヘルプ ・
ダッシュボード リソース	ジョブ レポート ログ 設定			
データベース環境設定 Arceave Backup デーが開現スクジュール SFM 場場設定 マイトギ イスス加り設定 電子・ルルアラートの環境設定 更新環境設定 管理者デカフト リモート展開設定 井和プラン ユーザ管理 ファクトリ リセット	**     *	S&、すべての設定が工場出向時のステー アウェアは、現在のパージョンがらアウライ でもよろしいですか? Dゼット] を提択する。 (す。 <u>りセット</u> キャ	ななに見たれます。すべてのリンフ アンスプルティインストールそれていま こ、すべての <b>Pンセル</b>	、ジョブ環歴、レポート、 ハージョンに戻されます。
Copyright © 2014-2024, Arcserve, LLC and its affilia	ites and subsidiaries. All rights reserved.			UTC+09:00 田本標準

- 5. ファクトリリセットが完了したら、以下のいずれかのアクションを実行できま す。
  - アプライアンスを再起動するには、再起動]をクリックします。
  - アプライアンスを閉じるには、 シャットダウン]をクリックします。

arcserve <sup>®</sup> ,	プライアンス
ファクトリリセットでは、Arcserve アブ 除されます。Arcserve UDP ソフトウ	ライアンスのすべての設定がファクトリデフォルトビリストアされます。すべてのリソース、ジョブ履歴、レボート、あよびログが有 ェアは、アブライアンスに売ぐインストールされていたパージョンに戻ります。
Arcserve UDPパージョン 10.0.	6455 に戻しています。
既存のバックアップデータを	保存しています。
ጋምክት!	リリセットが完了しました
	Arcserveアブライアンスはファクトリデフォルトに戻されました。
	(再起動)をグリックしてアブライアンスを再起動し、構成ウィザード)を起動するか、「シャットダウン」をクリックしてア プライアンスをシャットダウンします。
	再起動
ファクトリリセットが完了しました。	

10000 アプライアンスの Arcserve UDP コンソールからのファクトリリセット が正常に完了しました。

## 9012 - 9504 DR シリーズ アプライアンスのブート オプショ ンを使 用した Arcserve UDP ファクトリリセットの適用

UDP ファクトリリセットは、Arcserve アプライアンス 9012-9504DR シリーズのブート メニューから適用することができます。UDP ファクトリリセットを使用して、Arcserve ア プライアンス 9012-9504DR シリーズをクリーンな未設定の状態に戻すことができます。

**注:** UDP ファクトリリセットの実行中に、バックアップデータを保持するオプションを 選択することもできます。

#### 以下の手順に従います。

1. キーボードの F11 キーを押して、ブート メニューを起動します。



2. **[ntegrated RAID Controller 1: UDP Factory Reset (統合 RAID コントロー ラ 1: UDP ファクトリリセット)**]ブート オプションを選択します。

Boot Manager
Boot Menu
Select UEFI Boot Option
Integrated RAID Controller 1: Windows Boot Manager
Integrated RAID Controller 1: UDP Factory Reset
UEFI Boot Option Maintenance
Boot From File
Add Boot Option
Delete Boot Option
Device Path : (Press <f1> for more help)</f1>
Activate Winde
Go to S Finish

ファクトリリセットに関するページが表示されます。

Factory Reset	
Performing a Factory Reset on your Arcserve Appliance will return all settings to their factory defaults. All resources, job history, reports and log entries w be deleted. The Arcserve UDP software will revert from its current version to the version originally installed on the Appliance.	ill
Reverting to Arcserve UDP Version 9.0.6034.294.	
Preserve existing backup data.	
Part Court	
Reset Cancel	

注:

- デフォルトで、既存のバックアップデータを保持]オプションが選択されています。元のオペレーティングシステムのC:\ボリュームのみが再構築されます。X:\volumeおよびY:\volumeのデータは変更されないままになります。
- 既存のバックアップデータを保持]オプションの選択をオフにすると、 元のオペレーティングシステムのC:\、X:\、Y:\の各ボリューム上のすべてのデータが再構築されます。
- 3. [Jセット]をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。



**キャンセル**]をクリックすると、Arcserve アプライアンス ユニットを再起動できます。

- 4. ファクトリリセットが完了した後、以下のいずれかの操作を実行できます。
  - 再起動]をクリックしてアプライアンスを再起動します。
  - シャットダウン]をクリックしてアプライアンスを閉じます。

arcserve	Appliance
Factory Reset Factory Reset is restoring all of the deleted. The Arcserve UDP software	settings on the Arcserve Appliance to their factory defaults. All resources, job history, reports, and logs are being is reverting to the version originally installed on the Appliance.
Reverting to Arcserve UDP V	arsion 9.0.6034.294.
Existing backup data is being	preserved.
Factory	Reset Is Complete
	Your Arcserve Appliance has been returned to its factory defaults.
-	Click Restart to restart the appliance and launch the Configuration Wizard or click Shut Down to shut down the appliance.
	Restart Shut Down
Factory reset is complete.	
	k

## X シリーズ アプライアンスのブート オプションを使用した Arcserve UDP ファクトリリセットの適用

UDP ファクトリリセットは、Arcserve アプライアンス X シリーズのブート メニューから適用することができます。UDP ファクトリリセットを使用して、Arcserve アプライアンス X シリーズをクリーンな未設定の状態に戻すことができます。

**注:** UDP ファクトリリセットの実行中に、バックアップデータを保持するオプションを 選択することもできます。

以下の手順に従います。

1. キーボードのF11キーを押して、ブートメニューを起動します。

F2 = System Setup F10 = Lifecycle Controller (Config iDRAC, Update FW, Install OS) Enterino Boot Manager F12 = PXE Boot F12 = PXE Boot	Initializing Firmware In	iterfaces	Activate Windo Go to System in Con
F2 = System Setup F10 = Lifecycle Controller (Config iDRAC, Update FW, Install OS) Entering Boot Manager F12 = PXE Boot F12 = PXE Boot			
F2 = System Setup F10 = Lifecycle Controller (Config iDRAC, Update FW, Install OS) Entering Boot Manager F12 = PXE Boot F12 = PXE Boot			
F2 = System Setup F10 = Lifecycle Controller (Config iDRAC, Update FW, Install OS) Entering Boot Manager F12 = PXE Boot Entering Controller (Config iDRAC IP: 10.57.25.18 Entering Controller (Config iDRAC IP: 10.57.25.18 Entering Controller (Config iDRAC IP: 10.57.25.18 Entering Controller (Config iDRAC IP: 10.57.25.18 Entering Config iDRAC IP: 10.57.			
F2 = System Setup F10 = Lifecycle Controller (Config IDRAC, Update FW, Install OS) Entering Boot Manager F12 = PXE Boot Entering Config F12 = PXE Boot			
F2 = System Setup F10 = Lifecycle Controller (Config iDRAC, Update FW, Install OS) Entering Bod Manager	F12 = PXE Boot	I	
	F2 = System Setup F10 = Lifecycle Controller (Config iDRAC, Update FW, Install OS) Entering Boot Manager	BIOS Version: 1.4.9 iDRAC IP: 10.57.25.18	

2. **組み込み RAID コントローラ1: UDP ファクトリリセット**]ブート オプションを 選択します。

Boot Manager	Help   About   Exit
Boot Manager	
Boot Menu	
Virtual Floppy Drive	•
Virtual Optical Drive	
Embedded RAID Controller 1: windows Boot Manager	
windows Boot Manager	
Windows Boot Manager	
Embedded RAID Controller 1: Windows Boot Manager	
Embedded RAID Controller 1: UDP Factory Reset	
UEFI Boot Option Maintenance	
Boot From File	
Add Boot Option	

ファクトリリセットに関するページが表示されます。



注:

- デフォルトで、既存のバックアップデータを保持]オプションが選択されています。元のオペレーティングシステムのC:\ボリュームのみが再構築されます。X:\volumeおよびY:\volumeのデータは変更されないままになります。
- 既存のバックアップデータを保持]オプションの選択をオフにすると、 元のオペレーティングシステムのC:\、X:\、Y:\の各ボリューム上のすべてのデータが再構築されます。
- 3. [Jセット]をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。



**キャンセル**]をクリックすると、Arcserve アプライアンス ユニットを再起動できます。

- 4. ファクトリリセットが完了した後、以下のいずれかの操作を実行できます。
  - 再起動]をクリックしてアプライアンスを再起動します。
  - シャットダウン]をクリックしてアプライアンスを閉じます。



## 環境設定の消去およびアプライアンスファクトリリセットの適用

ファクトリリセットを使用して、Arcserve アプライアンスをクリーンな未設定の状態に 戻すことができます。ファクトリリセットは Arcserve UDP コンソールから適用できま す。

以下の手順に従います。

1. Arcserve UDP コンソールの 設定]タブで **ファクトリリセット**]をクリックします。

arcserve	NIFIED DATA PROTECTION @Ministrator · Help ·
dashboard resources jo	bs reports log settings
45	
Database Configuration	Factory Reset
Arcserve Backup Data Synchronization Sche SRM Configuration	Performing a Factory Reset on your Arcsenve Appliance reverts all settings to the factory default status. All resources, job history, reports, and log entries are deleted. The Arcsenve UDP software will revert from the current version to the version originally installed on the Appliance.
Node Discovery Configuration	Current Arcserve UDP Version: 10.0
Email and Alert Configuration	Original Arcserve UDP Version: 10.0
Update Configuration	Preserve existing backup data.
Administrator Account	
Remote Deployment Settings	Perform Factory Reset
Share Plan	
User Management	
Factory Reset	
Copyright © 2014-2024, Arcserve, LLC and its aff	liates and subsidiaries. All rights reserved. UTC+05:30 (India Standard Tim

デフォルトではすべてのバックアップデータが保存されます。

**注:** Arcserve UDP には、 既存のバックアップ データを保持]オプションが用意されており、既存のデータストアを保存することができます。

- 既存のバックアップデータを保持]オプションを選択した場合、C:\
   volume のみが再構築されます。X:\ volume および Y:\ volume のデータは変更されないままになります。
- 既存のバックアップデータを保持]オプションを選択しない場合、C:\,
   X:\およびY:\が再構築されます。
- 2. **ファクトリリセットを実行**]をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。

arcserve	INIFIED DATA PROTEC	TION	Messages (0)	administrator *	Help *
dashboard resources jo	bs reports log	settings			
41 Database Configuration Arcserve Backup Data Synchronization Sche SRM Configuration	Factory Reset Performing a Factory Res	et on your Arcserve Appliance reverts all settings to the factory default status. All in current version to the version originally installed on the Appliance.	resources, job history, reports	, and log entries are deleted.	The Arcserve UDP
Nodo Divolveny Configuration Ernal and Ard Configuration Update Configuration Administrative Account Remote Deployment Ballings Share Pan Garee Management Factory Reset	Current A Original A Perform Fact	Im Factory Reset Are you usery you well by portman & factory mark on your Arcurove Appliance? And crown to allow the factory default status. All the backed-up data will be preserved during the reset. Reset	Selecting		
Conversite & 2014-2024 Arcsanse LLC and its aff	States and subsidiaries. All ris	the manual			(India Standard Time)

3. 確認のダイアログボックスで、 **[Jセット**]をクリックすると、ファクトリリセットが 開始されます。

アプライアンスマシンが再起動され、ファクトリリセットが以下のように実行されます。



ファクトリリセットの完了により、確認のダイアログボックスが表示されます。

- 4. 確認ダイアログボックスで、以下のいずれかのオプションを実行します。
  - 再起動]をクリックしてアプライアンスを再起動します。
  - シャット ダウン]をクリックしてアプライアンスを閉じます。



## ハード ドライブの取り外しおよび交換

Arcserve アプライアンスを使用すると、ハードドライブの1つに障害が発生した場合、残りのドライブがすぐに起動し、データは失われずにアプライアンスが引き続き 正常に動作します。そのため、複数のハードドライブの障害に関連する問題に対 して防御するには、データが失われる可能性を最小限に抑えるためにできる限り 早くハードドライブを置き換える必要があります。

Arcserve アプライアンス には、4 つのハード ドライブ キャリアが含まれており、左から 右に0、1、2、3 とラベルが付けられています。一度に複数のハード ドライブを交換 する場合、各ドライブ キャリアでどのドライブが交換されたかがわかるように、交換 したハード ドライブにラベルを付ける必要があります。アプライアンスから取り外した ハード ドライブにもラベルを付け、どのドライブ キャリアによって占有されていたかが わかるようにします。

**重要:**ハードドライブは静電気に敏感なデバイスであり、損傷しやすいため、ハードドライブを扱う場合は適切な保護対策を講じてください。

- 静電気の放電を防ぐためにリストトラップを着用してください。
- 交換用ハードディスクを帯電防止のパッケージ袋から取り出す前に、接地された物体に触れるようにします。
- ハードドライブを扱う際は常に端のみを持つようにし、底面の露出している部品には一切触れないでください。

#### 以下の手順に従います。

- ドライブホルダーにアクセスするには、まずフェースプレートを取り外す必要があります。
  - a. フェースプレートのロックを解除します。
  - b. 取り外し用つまみを押してフェースプレート ピンを格納します。
  - c. フェースプレートを慎重に取り外します(両手を使用)。
- 2. ドライブ キャリアの取り外し用ラッチを押します。これにより、ドライブ キャリア ハンドルが展開されます。



ハンドルを使用して、アプライアンスの前面からドライブキャリアを引き出します。ハードドライブは、アプライアンスに対する取り付け/取り外しを簡単に行うことができるよう、ドライブキャリアにマウントされています。これらのキャリアは、ドライブベイに適切な換気が行われるようにするのにも役立ちます。

**重要:**短時間の場合を除き(ハードドライブの交換など)、ドライブキャリア が完全に設置されていない状態でアプライアンスを稼働させることはしない でください。

- 古いハードドライブをドライブキャリアから取り外し、新しいハードドライブを 設置します。その際、交換用ハードドライブが正しい向きであるかに注意 し、ラベルが上部、部品が下部にきていることを確認します。
- 5. ドライブトレイがアプライアンスに完全に設置されるまでスライドし、ドライブ キャリア ハンドルを閉じて固定します。



6. ドライブを返却する場合は、返却に関する指示を Arcserve サポートから取得します。

## 9012-9504DR シリーズ アプライアンスでのデータを保存 しないベアメタル復旧(BMR)の実行

Arcserve アプライアンスでは、Arcserve UDP ブート キットを使用して、ベアメタル復旧を実行できます。

#### 以下の手順に従います。

1. アプライアンスで Arcserve UDP ブートキット ウィザード を実行し、x64 プラットフォームでブート可能な BMR ISO イメージまたは USB スティックを生成します。

注: ISO イメージにはローカルドライバを含める必要があります。ローカルドラ イバを含めるには、 **ドアメタル復旧用のブート キットの作成**]ウィンドウで **ローカルドライバを含む**]オプションを選択します。ブート キットの作成方法 の詳細については、このリンクを参照してください。

You ca proces	n integrate additional o s is launched.	frivers into the BMR ISO im	age, so that	they can be loaded when the BMR
Ma	nufacturer	Version	Platform	Path
Inte	4	12/08/2016 12 14 7 0	×64	C:\WINDOWS\INE\oem43 inf
Inte	1	07/30/2013, 9.4.2.10	x64	C:\WINDOWS\INF\oem9.inf
MS	HDC. INTEL HDC	06/21/2006.10.0.14	x64	C:\WINDOWS\INF\mshdc.inf
LSI		03/06/2015.6.707.0	x64	C:\WINDOWS\INF\oem8.inf
INT	EL	08/19/2016, 10.1.2.80	x64	C:\WINDOWS\INF\oem45.inf
AM	D.Section, ACER.S	06/21/2006, 10.0.14	x64	C:\WINDOWS\INF\usbport.inf
INT	EL	07/30/2013, 9.4.2.10	x64	C:\WINDOWS\INF\oem47.inf
GEI	NDEV_SYS, ACC	06/21/2006, 10.0.14	x64	C:\WINDOWS\INF\machine.inf
Ger	neric	10/08/2017, 10.0.14	x64	C:\WINDOWS\INF\usbxhci.inf

2. BMR ISO イメージまたは USB スティックを使用して、Arcserve アプライアンス を起動します。

Arcserve ベアメタル復旧のセットアップ画面が表示されます。

3. 必要な言語を選択して、 次へ]をクリックします。

arcserve	bare metal recovery
English	
Keyboard Layout:	
US	~
	Next

4. **Arcserve Unified Data Protection のバックアップからのリストア**]オプション を選択し、**次へ**]をクリックします。

arc	Serve bare metal recovery
Bare Metal R - <i>Select th</i> e	ecovery(BMR) e type of backup for BMR
	Select type of restore source:
	Restore from a Arcserve Unified Data Protection backup Use this option to perform a restore from either a backup destination folder or a data store.
	Recover from a virtual machine
	Use this option to perform a virtual-to-physical (V2P) restore from a virtual machine created by Virtual Standby or Instant VM
	O Source is on a VMware machine
	O Source is on a Hyper-v machine

復旧ポイントの選択]ウィザードのウィンドウが表示されます。

#### 5. 参照]をクリックして、復旧ポイントサーバから参照]を選択します。

Bare Metal Recovery(BMR) - Select a Recovery Point	The following backed up machines are detected:				
The ten even deriver all backed up machines and		Backed up Information			
their backup destinations. If you click on a machine, you can then see the associated recovery points on the bottom pane. Select a		Host Name:			
recovery point to continue. Note: By default, only the backed up machines that are detected from local volumes are listed		Operating System:			
here. After a new removable disk is attached or detached, you can dick "Refresh" the minchine list. You can also dick "Browse" to add any bakked up		DNS Suffix:			
machines from the remote shared folder or the data store.		Source:			
If you fail to browse the remote shared folder, it may be because the NIC driver is not installed or		_		-	
the IP address is incorrect. If necessary, you can			Refresh		Browse 🔻
Click here to launch the load driver utility			Browse f	rom network/loca	l path
6 Network Adapter(s) Detected					
Intel(R) 1350 Gigabit Network Connection - IP Address: 10, 10, 255, 255 - Status: Connected					
Intel(R) I350 Gigabit Network Connection #2 - IP Address: 0.0.0.0 - Status: Disconnected					
				-	
▲ <u>U</u> tilities			Back	Next	Abort

[/ードの選択]ウィンドウが表示されます。

- 6. 復旧ポイント サーバのホスト名、ユーザ名、パスワード、ポート、およびプ ロトコルを入力します。
- 7. 接続]をクリックします。
- 8. 接続が確立されたら、 **()**K]をクリックします。

HOWE Name:	appliance7501	~	Port:	8014	
User Name:	administrator		Protocol:	Онттр	HTTPS
Password:	•••••			Con	nect
		Node ID	095	1fd5c-3dd2-496	8-be64-5eaef

**ドアメタル復旧(BMR) - 復旧ポイントの選択**]ダイアログボックスが表示されます。

9. リストアする復旧ポイントを選択して、 次へ]をクリックします。

Bare Metal Recovery(BMR) - Select a Recovery Point	The following backed up machines are detected:			
the top pape displays all backed up machines and		Backed up Information		
her backup destinations. If you click on a nachine, you can then see the associated ecovery points on the bottom pane. Select a	appliance 7205	Host Name:	appliance7205	
ecovery point to continue. lote: By default, only the backed up machines		Operating System:	Windows Server 2	016 X64
ere. After a new removable disk is attached or etached, you can cick 'Refresh' the machine list. ou can also cick 'Browse' to add any backed up		DNS Suffix:	arcserve.com	
achines from the remote shared folder or the lata store.		Source:	Recovery Point Se	iver
If you fail to browse the remote shared folder, it				
ne IP address is incorrect. If necessary, you can erform the following:			<u>R</u> efresh	Bro <u>w</u> se 🔻
utity	The following recovery points are detected for the spec [1] (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	AR Status:     AR Status:     Arcovery point i     AR Status:     Arcovery point and the status     Arcovery Type:     Incremental Backup     Backup Destination (Det     Recovery Point Server: aga     Recovery Po	ected from current syste kinne 7501 s store: appliance 7501_data, 368-be64-Seaefeeb079d	m): store
5 Network Adapter(s) Detected				
ntel(R) 1350 Ginshit Network Connection - IP Address: 10.10.255.255 - Status: Connected		Boot Firmware: - UEFI Backed up Volumes (Use	d Ciza /Tatal Ciza /Minimu	m Circo Baculardh 🛛 🖌
Intel(R) I350 Gigabit Network Connection #2 - IP Address: 0.0.0.0 - Status: Disconnected		<	o Size/ rotai Size/Minimu	>

10. (オプション)要求された場合はセッション パスワードを入力し、 **Ѻ**K]をクリックします。

ter Session Password	
•	ок
Current password length: 1 characters	Cancel

**ドアメタル復旧(BMR) - 復旧モードの選択**]ダイアログボックスが表示されます。

11. 拡張モード]を選択し、 次へ]をクリックします。

which recovery mode do you want to use?		
○ Express Mode		
The express mode will recover the system automatically with minimal user interaction by using machine default settings.	the	
Advanced Mode		
The advanced mode will assist you in customizing the restore process. Using this mode you will	lbe	

**(ドアメタル復旧(BMR) - ディスクパーティションの調整**]ダイアログボックスが表示されます。

12. 使用可能な最大のGUID パーティションテーブル(GPT) ディスクを右クリックし、 **ディスクの消去**]をクリックします。

Bare Metal Recovery(BMR) ^ - Adjust Disk Partitions	Current Destination I	Disk/Volume Layouts	Qperations 🔻
You can adjust the disk/volume configuration on this screen. You can also select data to restore from the original source disk/volume to the current destination disk/volume.		Reset	stem Partiti C:\ (155.73 GB) \\\7\Volume(4dd 1 (18394.96 GB)
nght-disk the invase button, and disaky the corresponding operation spoton. Note: If there is no mouse attached in your environment, you can select a disk-volume with TAB and Arrow keys, then press the Meru key to display the nervo. Lange the select with your select "correct" from the Qenetotic unit and in not make part into effect unit you select "correct" from the Qenetotic unit you select "correct" from the Qenetotic unit you select "correct"	Disk 1 (M 447.13 (	Commit Man Disk From	(447.13 GB)
	Disk 2 (1 447.13	Clean Disk	(447.13 GB)
		Convert to MBR Convert to GPT	
		Convert to Basic Convert to Dynamic	
	Original Source	Online Disk	
		Disk Properties	
	<ul> <li>Disk 0 (MBR) 111.79 GB</li> </ul>		Y:\ (111.79 GB)
	<ul> <li>Disk 1 (GPT) 7451.00 GB</li> </ul>	\\?791b	5/ System Partiti_ 🕜 Ci { (155,73 G8) 🕡 \ 1/?\ Volume 4dd 1 👔 Xi \ (7218.46 G8) 🕕

13. ディスクを消去した後、同じディスクを右クリックして **コミット**]をクリックします。

Bare Metal Recovery(BMR)    Adjust Disk Partitions	Current Destination D	Destination Disk/Volume Layouts			
You can adjust the disk/volume configuration on this screen. You can also select data to restore from the original source disk/volume to the current destination disk/volume.		Reset	(18627.37 GB)		
After seecing a diskyokun, you can then night-cick the mouse botton, and diskyy the corresponding operation options. Note: If there is no mouse attached in your environment, you can select a diskyokune with TAB and Anno Ways, then pases the Herru with TAB and Anno Ways, then pases the Herru with TAB and Anno Ways, then pases the Herru with TAB and Anno Ways, then pases the Herru that and the second second second second second The diskyokune changes you make will not take get in the Frect will you select "Commit from the Operations menu or click "Next" to commit all changes.	<ul> <li>Disk 1 (ME 447.13 G</li> </ul>	Commit	(447.13 GB)		
	<ul> <li>Disk 2 (MB 447.13 GE</li> </ul>	Map Disk From Clean Disk	(447.13 GB)		
		Convert to MBR Convert to GPT			
		Convert to Basic Convert to Dynamic			
	Original Source Di	Online Disk			
	— Disk 0 (МВк) 111.79 GB	Disk Properties	Y:\ (111.79 GB)		
	<ul> <li>Disk 1 (GPT) 7451.00 GB</li> </ul>	\\?\Volume(791b 🕕 EFI Sy	stem Partiti- 😮 C:\ (155.73 GB) 😮 \\7.Volume(4dd 1		

ディスク変更のサブミット]ウィンドウが表示されます。

14. **サブミット**]をクリックします。

Operation	Details
Delete Volume	Volume Path[\\?\Volume{791b0915-1396-4e8d-8dfb-1fa02793003f}\
Delete Volume	Volume Path[\\?\Volume{821d05a8-3ecd-436f-a497-cc04fb3e4708}\
Delete Volume	Volume Path[C:\]
Delete Volume	Volume Path[F:\]
Delete Volume	Volume Path[D:\]
Clean Disk	Clean Disk [0]
	N
	2

15. ディスクの消去が完了したら、 **(DK**]をクリックします。

peration	Details
Delete Volume	Volume Path[\\?\Volume{791b0915-1396-4e8d-8dfb-1fa02793003f}\]
Delete Volume	Volume Path[\\?\Volume{821d05a8-3ecd-436f-a497-cc04fb3e4708}\]
Delete Volume	Volume Path[C:\]
Delete Volume	Volume Path[F:\]
Delete Volume	Volume Path[D:\]
Clean Disk	Clean Disk [0]

16. **ドアメタル復旧(BMR) - ディスクパーティションの調整**]ダイアログボック スで **戻る**]をクリックします。

Bare Metal Recovery(BMR) - Adjust Disk Partitions	Current Destination Disk/Volum	Derations	-
You can adjust the disk/volume configuration on this screen. You can also select data to restore from the original source disk/volume to the current destination disk/volume.	₩/2645/8/6955/ //79527.59/58///	(18627.37 GB)	
After selecting a disk/volume, you can then right-click the mouse button, and display the corresponding operation options.	<ul> <li>Disk 1 (MBR) 447.13 GB</li> </ul>	(447.13 GB)	
Note: If there is no mouse attached in your environment, you can select a disk/volume with TAB and arrow keys, then press the Menu key to display the menu. The disk/volume foranger you make will not take get into effect unit you select "Commit" from the Operations menu or disk "Next" to commit all changes.	Disk 2 (MBR) 447.13 GB	(447, 13 GB)	
	Original Source Disk/Volume La	youts	
	Disk 1 (GPT)		
	7451.00 GB	ΥΥΥΥΥΥΥΥΥΥ ΕΡΙ System Paritic. Ο C1 (155.73 GB) Ο U1/λ Volume/4dd L Ο X1 (7218.46 GB) Ο	
▲ Utilities		Back Next Abort	

**(ドアメタル復旧(BMR) - 復旧モードの選択**]ダイアログボックスが表示されます。

17. 高速モード]を選択し、 次へ]をクリックします。

Which recovery mode do you want to use?
Express Mode
The express mode will recover the system automatically with minimal user interaction by using the machine default settings.
O Advanced Mode
The advanced mode will assist you in customizing the restore process. Using this mode you will be able to: Select where to restore data on basic volumes or dynamic disks. Insert device driver before reboot.
Note: After clicking Next, the BMR Waard will create new partitions on the destination

[BMR] ダイアログ ボックスが表示されます。

18. 【はい】をクリックします。

BMR			8
?	The next step may result in complete you want to continue?	e loss of data on the	machine. Do
		Yes	No

[Jストア設定のサマリ]ダイアログボックスが表示されます。

19. キャンセル]をクリックします。

Source Disk Destinatio	n Disk
ummary of Volume Restore Settings:	Destination Volume
\\2\\/olume/791b0915-1396-4e8d-8dfb-1fa02793003f\\ (300 MB)	\\2c06aa5e0-adb9-4849-8b15-20
EFI System Partition (99 MB)	\/?e3db4483-19ad-4550-8e0e-06
C:\(155.73 GB)	\\?257b3c2a-9cf1-44a0-a8b3-225
\\?\Volume{4dd1123f-0464-4cd6-9df0-1ab9b95c8901}\ (76.29 GB)	) \\?98fb5326-630f-4842-82fa-48b
	,

**ドアメタル復旧(BMR) - ディスクパーティションの調整**]ダイアログボックスが表示されます。

20. 現在のデスティネーション ディスク/ボリュームのレイアウト]タブで使用可能な最初の4つのパーティションの容量が、 元のソース ディスク/ボリュームのレイアウト]タブで使用可能な最大のGPT ディスクと一致するかどうかを比較して確認し、 次へ]をクリックします。

**注:** パーティションのサイズを表示するには、ディスクの上にマウスカーソルを 移動させて、ディスクプロパティを表示します。

Bare Metal Recovery(BMR) - Adjust Disk Partitions	Current Destination Disk/Volume Layouts			
You can adjust the disk/volume configuration on this screen. You can also select data to restore from the original source disk/volume to the current destination disk/volume.	Disk 0 (GPT)     18627.50 GB     11/1 Volume[791b     EFI System Partiti     C: (155.73 GB)     11/1 Volume[4dd 1     (18394.96 GB)			
After selecting a disk/volume, you can then right-dick the mouse button, and display the corresponding operation options.	Disk 1 (MBR)         Destination Volume: \\7\Volume(03331745-9734-4066-bd.25-693087d5826b)\           447.13 G8         File System Tupe: RAW			
Note: If there is no mouse attached in your environment, you can select a disk/volume with TAB and Arrow keys, then press the Menu key to display the menu. The disk/volume changes you make will not	Okz 2068P, Okz 2068P, 447.13 GB, Dist on that volume will be restored from original volume "\\7\Volume[79160915-1396-4e8d- 8d76-1fod279000ff\.			
take get into effect until you select "Commit" from the Operations menu or click "Next" to commit all changes.	Original Source Disk/Nolume Layouts			
	Disk 0 (MBR)     T11.79 GB     YA (111.79 GB)     (1)			
	Disk 1 (GP7)     7451.00 G8     117.Volume(7916)     EFI System Partiti)     C(\ (155.73 G8)     ()     ()     Volume(4dd)     X(\ (7218.46 G8)     ()			
	Unallocated Primary			
	Book Next Abort			

[Jストア設定のサマリ]ダイアログボックスが表示されます。

21. **(DK**)をクリックします。

Source Disk Destr	ation Disk
Immary of Volume Restore Settings:	Dectination Volume
Source volume	Destination volume
EFI System Partition (99 MB)	() () (volume {0333174547544000-0025459 ) () 2 Volume {b9994f56-8c58-4bbf-bd7a-85a
C:\(155.73 GB)	\\?496da605-7066-442c-8ea2-c3
\\?\Volume{4dd1123f-0464-4cd6-9df0-1ab9b95c8901}\ (76.29	GB) \\?59eaea46-103c-45e3-b0ed-55

[Bare Metal Recovery(BMR)- Start Recovery Process (ベアメタル復旧
(BMR) - 復旧プロセスの開始)]ダイアログボックスが表示されます。

22. **再起動後にエージェント サービスを自動的に開始しない**]オプションをオフにして、リストアの完了を待ちます。

Bare Metal Recovery(BMR) - Start Restore Process	Summary of Restore Settings				
his page displays a summary of the disk/volume estore settings that you have made. Note: After the BMR process is complete and erver has been rebooted, you may not want to wafter hadring to the from this convert if you are	Restore Item Restore source volume "\\?\Volur Restore source volume "EFI Syst Restore source volume "C:\" to co	me (791b0915-1396-4e8d-8dfb-1fa02793003f) \' em Partition' to current destination disk 0 urrent destination disk 0	Status Completed Completed Restoring	Progress 100.0% 100.0% 0.8%	Throughput 367.44 MB/Minute 967.90 MB/Minute 2705.50 MB/Minute
just testing the BMR functionality, we recommend that you select the Donot start Agent service automatody after reboot option. When you select this coption, you can manually then you select this coption, you can manually then you select the coption of the select of you want to perform backup jobs. Enable till coptions of the locat coption habet user perform if where you copy or stratulationsing after BMR. For example, press Fill and boot not Active Directory Service Restore mode to perform Active Directory service Restore mode to perform Active Directory authoritative restore.	Restore source volume '(V)/volume     Automatically reboot your system     Do not start Agent service autom	e (461123/ 444-4c6-9df)-taotescere)) ( after recovery. akay after recovery.	Not Started		
	Boot the system to Advanced Boo	ot Options (F8) Menu on the next boot for Windows	8 / Windows Sen	ver 2012 and later	OS.
	Elapsed Time:	00:00:24			
	Estimated Time Remaining:	01:30:50			
	[0.8%] [576M8/76631M8] Restoring	basic source volume 'C: (' to current destination dis	k0		
▲ Utilities			Back	M	ext Abort

**ドアメタル復旧(BMR) - デバイスドライバのインストール**]ダイアログボック スが表示されます。

23. RAID コントローラで必要なドライバを選択し、 次へ]をクリックします。

Fare Hetal Recovery(BHL) ** Insert Device Driver An incompatibility problem has been detected and BHR is unable for india unable driver for some device(b); and definent than the long being reason and any bed different than the long being reason exists and driver for the device(b) or add a new driver by diding "add Driver" button.	Provide drivers for following devices:	Property Description Vendor LSI Logic / Symbios Logic Manufacture AregoTich Class SCSIAdapter Drive Deroption AVAOD WegARJD SAS Adapter Hardware ID PCIIVEN_10008DEV_005D85U85Y
	Available Driver(s): Driver megassa2.mf() megassa2.mf(s) megassa2.mf(s)	Property Description Version 0302/2015, 6, 706, 06, 00 Manufacture 151, DEL Class SCI3Adatter Service megasas DeF Path C:\WIBDOWS\System32\pinverStore\FileRepository\megasas.inf_a
	Insert Driver	٢ >
▲ <u>U</u> tilities		Back Next Abort

## 再起動]ポップアップウィンドウが表示され、Arcserve アプライアンスが自動的に再起動します。

Click RePoot to automatically reboot your system at this time. If you want to collect all BMR log files you can use the Activity log utility. <u>Click here</u> to launch the Activity Log utility.



BMRの処理が正常に完了しました。

# 9012-9504DR シリーズ アプライアンスでのベア メタル復旧(BMR) およびデータ保存の実行

Arcserve アプライアンスでは、Arcserve UDP ブート キットを使用して、ベアメタル復旧を実行できます。

#### 以下の手順に従います。

1. アプライアンスで Arcserve UDP ブートキット ウィザード を実行し、x64 プラットフォームでブート可能な BMR ISO イメージまたは USB スティックを生成します。

注: ISO イメージにはローカルドライバを含める必要があります。ローカルドラ イバを含めるには、 **ドアメタル復旧用のブート キットの作成**]ウィンドウで **ローカルドライバを含む**]オプションを選択します。ブート キットの作成方法 の詳細については、このリンクを参照してください。

Manufacturer Intel	Version	1	
Intel		I Platform	Path
	12/08/2016.12.14.7.0	x64	C:\WINDOWS\INF\oem43.inf
Intel	07/30/2013.9.4.2.10	x64	C:\WINDOWS\INF\oem9.inf
MS_HDC, INTEL_HDC	06/21/2006, 10.0.14	x64	C:\WINDOWS\INF\mshdc.inf
LSI	03/06/2015, 6.707.0	x64	C:\WINDOWS\INF\oem8.inf
INTEL	08/19/2016, 10.1.2.80	x64	C:\WINDOWS\INF\oem45.inf
AMD.Section, ACER.S	06/21/2006, 10.0.14	x64	C:\WINDOWS\INF\usbport.inf
INTEL	07/30/2013, 9.4.2.10	x64	C:\WINDOWS\INF\oem47.inf
GENDEV_SYS, ACC	06/21/2006, 10.0.14	x64	C:\WINDOWS\INF\machine.inf
Generic	10/08/2017, 10.0.14	x64	C:\WINDUWS\INF\usbxhcl.inf

2. BMR ISO イメージまたは USB スティックを使 用して、Arcserve アプライアンス を起動します。

Arcserve ベアメタル復旧のセットアップ画面が表示されます。

3. 必要な言語を選択して、 次へ]をクリックします。



4. **Arcserve Unified Data Protection のバックアップからのリストア**]オプション を選択し、**次へ**]をクリックします。

arc	Serve <sup>®</sup> bare metal recovery
Bare Metal Re - Select the i	L covery(BMR) type of backup for BMR
	Select type of restore source:
	Restore from a Arcserve Unified Data Protection backup Use this option to perform a restore from either a backup destination folder or a data store.
	○ Recover from a virtual machine
	Use this option to perform a virtual-to-physical (V2P) restore from a virtual machine created by Virtual Standby or Instant VM
	O Source is on a VMware machine
	Source is on a Hyper-v machine

復旧ポイントの選択]ウィザードのウィンドウが表示されます。

5. 参照]をクリックして、復旧ポイントサーバから参照]を選択します。

Betwork Adapter(s) Detected          Following recovery points are detected for the specified machine. Select a recovery point are detected for the specified machine. Select a recovery point are detected for the specified machine. Select a recovery point are detected for the specified machine. Select a recovery point are detected for the specified machine. Select a recovery point are detected for the specified machine. Select a recovery point are detected for the specified machine. Select are covery point are detected for the specified machine.         B Retwork Adapter(s) Detected           P Addees: 10.10.255.755           - P Addees: 10.0.255.755           - P Addees: 10.0.255.755	Bare Metal Recovery(BMR) - Select a Recovery Point	The following backed up machines are detected:			
you fal to browse the remote shared fidder, it or be accessed the NCC driver is not installed or form the following: interesting, you can form the following interesting with the board driver utility Charge to Bunch the board driver utility Charge to Bunch the board driver utility Charge to Bunch the network configuration Bit Interesting 100 gabative the twork connection #2 PAddress: 10.0.255, 755 - State: Connection #2 PAddress: 10.0.0	The top pane displays all backed up machines and set backup destinations. If you click on a dwine, you can threat the second states of the towery point to can the bottom pane. Select a covery point to cancel up and the second state set of the second states of the second states and the dwine set of the second states and the second states of the second states and the dwines the the second states of the second states and the states.	Backed up Informat Host Name: Operating System DNS Suffic: Source:	n:		
Kletwork Adapter(s) Detected     A     Intel(R) 1350 Gapati Network Connection     P Address: 0.0.10.255.255     S-Stati: Connector #2     P Address: 0.0.0 Connection #2     P Address: 0.0.0	I you fail to browse the remote hanned folder, it is way be because the fact of were in not installed or the IP address is incorrect. If measure, you can be address to learn the bad of were utility address to learn the bad of were utility address to learn the did over utility address to learn the network configuration all y	The following recovery points are detected for the specified machine. Select a recove	Befresh Browse fro Browse fro	Bi m network/local pai m Recovery Point Se	ro <u>w</u> se 🔻
	S Hetwork Adapter(s) Detected A Intel(R) 1350 Gapaht Network Connection P Address: 10, 1025, 255 Stabil: Connected Connection #2				

**ノードの選択**]ウィンドウが表示されます。

- 6. 復旧ポイント サーバのホスト名、ユーザ名、パスワード、ポート、およびプ ロトコルを入力します。
- 7. 接続]をクリックします。
- 8. 接続が確立されたら、 **(**)K]をクリックします。
| Name:      | appliance7501 | ~                     | Port:       | 8014                                   |
|------------|---------------|-----------------------|-------------|--|
| lser Name: | administrator |                       | Protocol:   |  |
| assword:   | •••••         | 5. j                  |             | Connect                                |
|            |               | DNS Suffix<br>Node ID | arcs<br>095 | erve.com<br>1fd5c-3dd2-4968-be64-5eaef |
|            |               |                       |             |  |

**ドアメタル復旧(BMR) - 復旧ポイントの選択**]ダイアログボックスが表示されます。

9. リストアする復旧ポイントを選択して、 次へ]をクリックします。

he top pane displays all backed up machines and		Backed up Information	
heir backup destinations. If you dick on a achine, you can then see the associated covery points on the bottom pane. Select a	appliance7205	Host Name:	applance7205
ote: By default, only the backed up machines		Operating System:	Windows Server 2016 X64
ere. After a new removable disk is attached or stached, you can click "Refresh" the machine list. ou can also click "Browse" to add any backed up		DNS Suffix:	arcserve.com
achines from the remote shared folder or the ata store.		Source:	Recovery Point Server
you fail to browse the remote shared folder, it			
IP address is incorrect. If necessary, you can erform the following:			<u>R</u> efresh Bro <u>w</u> se ▼
bity	The following recovery points are detected for	r the specified machine. Select a recovery point a	and continue:
aty	The following recovery points are detected for           ●         5 526/2018           ●         0 500015 FM           ●         0 241414 AM           ●         0 527/2018           ●         0 527/2018           ●         0 5200308           ●         0 5200308           ●         129014 AM	r the specified machine. Select a recovery point a AR Status: - - - - - - - - - - - - -	nd continue: <b>ceted from current system):</b> Isore: splance 7501_data_store site: soleto: 7501_data_store site: soleto: 7501_data_store
Retwork Adapter(s) Detected	The following recovery points are detected for \$\begin{aligned} \$\begin{aligned} \$a	* the specified machine. Select a recovery point a AR Status: - - - - - - - - - - - - -	nd continue: xcted from current system); lance 250; lance spance 250; Lata_store 68 be64-Searfeeb078d
Network Adapter(s) Detected  tel®() 1350 Gravit Network Connection P Address 10.10.255.255 - Status: Connection	The following recovery points are detected for	r the specified machine. Select a recovery point a AR Status: 	nd continue:
Network Adapter(s) Detected Adapter(s) Detected Adapter(s) Detected -State: Connected -State: Donnected -Padate 0.0.0.0	The following recovery paints are detected for	r be specified machine. Select a recovery point a AR Status: Backup Type: Backup Type: Backup Destination (Deter Backup Destination (Deter Backup Destination (Deter Backup Destination (Deter Backup Description: Backup Description: Backup Description: Backup Description: CUET Backup Units (Usec	nd continue: coted from current system): lance 7501, sata_store 683 be64-Searfeb078d #Size/Total Size/Himimum Size Required); >

10. (オプション)要求された場合はセッション パスワードを入力し、 **Ѻ**K]をクリックします。

er Session Password	
•	ок
Current password length: 1 characters	Cancel

**(アメタル復旧(BMR) - 復旧モードの選択**]ダイアログボックスが表示されます。

11. 拡張モード]を選択し、 次へ]をクリックします。

When recovery mode do you want to doe!		
○ Express Mode		
The express mode will recover the system automatically with minimal user interaction by using the machine default settings.	1	
Advanced Mode		
The advanced mode will arrist you in outcoming the restore process. Using this mode you will be		

## 12. **ドアメタル復旧(BMR) - ディスクパーティションの調整**]ダイアログボック スで **次へ**]をクリックします。

You can adjust the disk/volume configuration on this screen. You can also select data to restore from the original source disk/volume to the current destination disk/volume.	Disk 0 (GP7)     18616.32 G8     1/7/Volume(791b     EFI System Partiti     C1 (155.73 G8)     1/7/Volume(	4dd1 (18383.77 GB)
After selecting a disk/volume, you can then right- click the mouse button, and display the corresponding operation options.	Disk 1 (MBR)     223.57 GB     (223.57 GB)	
Note: If there is no mouse attached in your environment, you can electra addi/volume with TAB and Arrow texpy, then press the Meru key to The ddi/volume changes you make will not table get not effect until you select "Commit" from the Operations menu or click "Next" to commit all changes.		
	Original Source Disk/Volume Layouts	<i>₽</i>
	- Disk 0 (MBR) 223.57 GB Y: (223.57 GB)	()////////////////////////////////////
	Disk 1 (GP7)     18516.32 GB     117.Volume(791b	4dd 1 👔 X:\ (18383.77 GB) 👔
	Rimary	
▲ Utilities		Next Abort

13. ディスクリストア設定のサマリ]画面で、 (DK]をクリックします。

iource Disk	Destination Disk	
mmary of Volume Restore Settings:	Destination Volume	0-121
Source volume		Un Disk
U2W2km2 (2016015 1205 4-04 04%	C:\(155.73 GB)	Disk 0
1/2/Volume ( / 4 IDU 4 I 5 - I 3 9 - 4 8 0 - 8 0 TO	C-/ (26:20 CB) /// /Aoinume { \array TD-17309-4680-8010-119	Disk 0
EFI System Partition (99 MB)	\?821d05a8-3ecd-436f-a497-cc0	Disk 0
		an alla carad

14. Pare Metal Recovery(BMR)- Start Recovery Process (ベアメタル復旧 (BMR) - 復旧プロセスの開始)]ダイアログボックスで、 再起動後にエー ジェント サービスを自動的に開始しない]オプションをオフにして、リストア の完了とマシンの再起動を待ちます。

Bare Metal Recovery(BMR) - Start Restore Process	Summary of Restore Settings			
This page displays a summary of the disk/volume	Restore Item	Status	Progress	Throughput
restore settings that you have made.	Restore source volume 'C:\' to current destination disk 0	Restoring	1.8%	3115.69 MB/Minute
Itelations are not possible to the teleform to the possible of the teleform to teleform tele	Automatically reboot your system after recovery.	Not Started Not Started Not Started		
	Boot the system to Advanced Boot Options (F8) Menu on the next boot for Windows	s 8 / Windows Serv	er 2012 and late	OS.
	Elapsed Time: 00 : 00 : 33			
	Estimated Time Remaining: 00 : 52 : 55			
	[1.8%] [1632MB/90738MB] Restoring basic source volume 'C:\' to current destination d	isk 0		
▲ <u>U</u> tilities		Back	N	ext Abort

BMRの処理が正常に完了しました。

## 第9章:アプライアンスの容量拡張

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR モデルの拡張キットでの操作	173
Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR モデルの SSD フラッシュ拡張 キット での操作	<u>E</u> 178
<u>Arcserve アプライアンス拡張キットの操作 - X シリーズモデル</u>	181
Arcserve X シリーズ アプライアンスの SSD フラッシュ拡張 キットの操作	183
Arcserve アプライアンス 9072-9504DR モデルの拡張 キット での操作	190
Arcserve アプライアンス 9072-9504 DR モデルの SSD フラッシュ拡張キットの操作	195

## Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR モデルの拡 張 キット での操 作

Arcserve 拡張 キットを使用して、Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR モデル のデータ容量を拡張できます。

### 以下の手順に従います。

- 1. 空のディスクスロットに HDD を挿入するには、以下の手順に従います。
  - a. Arcserve UDP コンソールで、アプライアンス サーバ上に実行中のジョブ がないことを確認します。実行中のジョブがある場合は、対応するプ ランを一時停止します。
  - b. HDD を空のディスク スロット に挿入します。



- 2. IPMI Web インターフェースから Raid-6 を作成して設定するには、以下の手順に従います。
  - a. IPMI コンソールにログインします。
  - b. **[**システム] > **[torage Monitoring (ストレージ モニタリング)**] > **[controller view (コントローラビュー)**] に移動します。



c. [controller view (コントローラビュー)]タブで、プラス記号(+) をクリックし、 [groadcom] を展開します。



d. [\$roadcom]画面で、 **[**reate RIAD (RAID の作成)] をクリックしま す。

SLYERMED						Hi ! Welcome back ! 👤
shboard						
stem -	Overview	Physical View	Logical View	Controller View	Task Queue(0)	
emponent Info	Broadcom					
with Event Log						
curity		Create RAID				
orane Monitorina	Import Foreign Cor	fourations Clear Foreign	Configurations	Clear All Configurations	BIOS Boot Mode	
-						
angeration .						
mote Control						
aintenance ·						

- e. 作成]ページで、すべての HDD スロットを選択し、以下を指定します。
  - RAID: [AID レベル]ドロップダウンリストから、 [AID6]を選択します
  - PD per Span (スパンごとの PD): 1
  - Enter % size be used (使用される % サイズの入力): 値を 「100」のように入力します

- New Logical Drive Count (新規論理ドライブ数): 値「1」を入 力します
- Stripe size per DDF ( DDF あたりのストライプ サイズ): 256K] オ プションを選択します
- Virtual Drive name (仮想ドライブ名): 仮想ドライブの名前を 入力します
- LD Read Policy (LD 読み取りポリシー): 先読みなし] オプションを選択します
- LD Read Policy (LD 読み取りポリシー): [Write Back (書き戻し)] オプションを選択します
- LD IO Policy (LD IO ポリシー): デフォルトでは、 Direct IO] オプションが選択されています。
- Access Policy (アクセスポリシー): Read Write (読み取りと書き込み)]オプションを選択します。
- Disk Cache Policy (ディスク キャッシュ ポリシー): [Inchanged (未変更)] オプションを選択します
- Init State (初期化状態): Quick Init (クイック初期化)] オプションを選択します
- f. **サブミット**]をクリックします。

Ocreate	e O Add	Select Group		T			
RAID6							
PD per Spa	an:						ļ
	Slot#	Product Name		Capacity	Interface Type	e Media Type	Sector Size
		KPM7XVUG3T	20	2980 GB	SAS		512
		KPM7XVUG3T	20	2980 GB	SAS		512
<b>2</b>		ST16000NM00	4J	14901 GB	SAS		512
<b>2</b>		ST16000NM00	4J	14901 GB	SAS		512
2		ST16000NM00	4J	14901 GB	SAS		512
2		ST16000NM00	4J	14901 GB	SAS		512
2		ST16000NM00	4J	14901 GB	SAS		512
2		ST16000NM00	4J	14901 GB	SAS		512
2		ST16000NM00	4J	14901 GB	SAS		512
Enter % s	size be used		10				
New Logi	ical Drive Cour	nt					
Stripe siz	e per DDF			64K O 128K O 256K	O 512K O 102₄	4K	
Virtual Dr	rive name			PData			ļ
LD Read	Policy			No Read Ahead O Always	Read Ahead		ļ
LD Write	Policy			Write Through 💿 Write Ba	ck 🔿 Always Write E	Back	ļ
LD IO Po	licy			Direct IO O Cached IO			ļ
Access P	olicy			Read Write O Read Only	O Blocked		
Disk Cac	he Policy			Unchanged O Enable (	Disable		ļ
Init State				No Init O Quick Init O	Full Init		
					Submit		

g. タスクバーの検索ボックスに「コンピューターの管理」と入力し、Enter キーを押します。

[コンピューターの管理] ウィンドウが表示されます。

- h. 記憶域] > ディスクの管理] に移動します。
- i. 追加した新しい仮想ディスクをダブルクリックします。 ディスクの初期化]ウィンドウが表示されます。
- j. **(GPT ( GUID パーティション テーブル)**]オプションを選択して、 **(DK**)を クリックします。

File Action View Help				
🗢 🔶 🙇 📷 🕍 📷 🗩 🕻				
Computer Management (Local	Volume	Layout Type File System Status Capa	Actions	_
System Tools	-	Simple Basic Healthy (Recovery Partition) 300 8	Disk Management	
> () Task Scheduler	-	Simple Basic Healthy (EFI System Partition) 99 M	Mare Actions	
> Event Viewer	=	Simple Basic Healthy (Recovery Partition) 70.23 Simple Basic NTES Healthy (Rect Base Elle Crash Dumo Drimory Partition) 155.7	Intere Pacetore	
) K Shared Polders	= UDPData (K)	Simple Basic NTFS Healthy (Primary Partition) 1467		
> S Performance	- UDPHash (Y)	Senate Racie MTES Mealths: (Diman: Dartition) 1787.		
A Device Manager		Initialize Disk X		
🗸 📴 Storage		Very must initialize a disk hadren I optical Flair Manager can appear it		
) 🍓 Windows Server Backup		For the many state state of the capital can have be a state of the sta		
T Disk Management		Seeco dava.		
Services and Applications		Notes A		
		The the following particles and for the selected data:		
	¢	ONED Allocate Deat Descal		
		(RCPT (CLED Parties Table)		
	"O Disk 0			
	14901.00 GB	Note: The GPT partition style is not recognized by all previous versions of		
	Not Initialized	Windows.		
		Of Canad		
		UN Carca		
	= Disk 4			
	14902.88.68	200 ME 00 M 155.72 GE NTES 75.20 GE 14570.46 GE NTES		
	Online	Health: Healt Healthy (Boot, Pa; Healthy (Recover Healthy (Primary Partition)		
	= Disk 5			
	1787.87 68	UDPHish (T) 1787.87 GR NTES		
	Online	Healthy (Primary Partition)		
< >>	Unallocated	Primary partition		

- k. **ディスクの管理**]ウィンドウで仮想ディスクを選択し、以下のプロパティ を適用します。
  - ドライブ文字の割り当て
  - ファイルシステムとして NTFS を指定します。
  - ディスクのフォーマット
- 3. データストアを拡張するには、以下の手順に従います。
  - a. 追加したドライブに移動し、フォルダを作成します。
  - b. Arcserve アプライアンスのデスクトップから、 **Arcserve アプライアンス**] ウィザードを起動します。

【Arcserve Appliance Configuration (Arcserve アプライアンスの設定)] ページが開きます。

c. [JDP コンソールの起動] をクリックします。

Arcserve UDP コンソールのログインページが表示されます。

- d. 管理者として UDP コンソールにログインします。
- e. **[Jソース] > デスティネーション] > 復旧ポイント サーバ**]に移動しま す。

- CONSISTIVE
   Million Marketing

   Construction
   pression

   Construction
- f. データストアを右クリックし、 停止]を選択します。

g. コマンド ラインから C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN に移動し、以下のコマンドを実行します。

as\_gddmgr.exe –DataPath Add <データストア名 > -NewDataPath <新 規データ フォルダ>

以下の画面の例では、ボリューム容量、使用容量、プライマリデータ パスの空き容量、拡張データパスの空き容量、合計値などの詳細が 表示されています。合計値は、プライマリデータパスと拡張データパ スの合計です。

以下のコマンドを実行して、データパスの詳細を表示することもできます。

as\_gddmgr.exe –DataPath Display <データストア名>

C:\Program Files\Prcs path Add appliatest75 Successfully load dat Successfully added ne The data store has 1	erve\Unified Data P; _data_store -NewData & store configuratic w expanded data path expanded data path(;	rotection\Engine\BIM APath Y:\data on information. h for the data store \$> now:	l}as_gddmgr.exe -Data :.
	Volume capacity	Used space	Free space
Primary data path :	X:\Arcserve\data_s 18384 GB	tore\data\ 1 GB	18383 GB
Expanded data path1:	Y:\data 224 GB	1 GB	223 GB
Total	18608 GB	2 GB	18606 GB
Success to add data p	ath Y:\data.		
C:\Program Files\Arcs	erve\Unified Data P	otection\Engine\BIN	

新しく展開されたデータパスがデータストアに正常に追加されました。

- h. UDP コンソールで、 **[)ソース]** > **デスティネーション]** > **復旧ポイント** サーバ] に移動します。
- i. データストアを右クリックし、 開始]を選択します。
- j. 一時停止していたプランを UDP コンソールから再開します。

Arcserve アプライアンスのデータ容量が正常に拡張されました。

## Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR モデルの SSD フラッシュ拡張 キット での操作

Arcserve SSD フラッシュ拡張キットを使用すると、Arcserve アプライアンス 10024BU-10576DR モデルでセカンダリデータストアを作成し、DR 関連操作 (IVM/VSB/Continuous Availability)を実行することで、データ容量を拡張できま す。

以下の手順に従います。

- 1. 空のディスクスロットにSSDを挿入するには、以下の手順に従います。
  - a. Arcserve UDP コンソールで、アプライアンス サーバ上に実行中のジョブ がないことを確認します。実行中のジョブがある場合は、対応するプ ランを一時停止します。
  - b. SSD を空のディスクスロットに挿入します。



- 2. IPMI Web インターフェースから Raid-5 を作成して設定するには、以下の手順に従います。
  - a. IPMI コンソールにログインします。



c. *【controller view ( コント ロ* ー ラ ビュー) ] タブで、プラス記号(+) をクリックし、 **βroadcom**] を展開します。



d. [\$roadcom]画面で、 **[create RIAD (RAID の作成)]** をクリックしま す。



- e. 作成]ページで、すべての SSD スロットを選択し、以下の操作を実行します。
  - RAID: [AID レベル]ドロップダウンリストから、 [AID1]を選択します
  - PD per Span (スパンごとの PD): 1
  - Enter % size be used (使用される % サイズの入力): 値を 「100」のように入力します
  - New Logical Drive Count (新規論理ドライブ数): 値「1」を入 力します
  - Stripe size per DDF ( DDF あたりのストライプ サイズ): 256K] オ プションを選択します
  - Virtual Drive name (仮想ドライブ名): 仮想ドライブの名前を 入力します
  - LD Read Policy (LD 読み取りポリシー): 先読みなし] オプションを選択します
  - LD Read Policy (LD 読み取りポリシー): [Write Back (書き戻し)] オプションを選択します

- LD IO Policy (LD IO ポリシー): デフォルトでは、 Direct IO] オプションが選択されています。
- Access Policy (アクセスポリシー): Read Write (読み取りと書き込み)]オプションを選択します。
- Disk Cache Policy (ディスク キャッシュ ポリシー): [Inchanged (未変更)] オプションを選択します
- Init State (初期化状態): Quick Init (クイック初期化)]オプションを選択します
- f. **サブミット**]をクリックします。



g. タスクバーの検索ボックスに「コンピューターの管理」と入力し、Enter キーを押します。

[コーターの管理] ウィンドウが表示されます。

- h. 記憶域] > ディスクの管理]に移動します。
- i. 追加した新しい仮想ディスクをダブルクリックします。 ディスクの初期化]ウィンドウが表示されます。
- j. **(GPT ( GUID パーティション テーブル)** ]オプションを選択して、 **(DK**)を クリックします。

🚰 Computer Management		-	0 X
File Action View Help			
🗢 🔶 🙇 📷 🕍 📷 🗩 🛛			
A Computer Management (Local	Volume	Layout Type File System Status Cape Actions	
<ul> <li>System Tools</li> <li>Tools</li> </ul>	-	Simple Basic Healthy (Recovery Partition) 3001 Disk Managem	nent A
<ul> <li>G. San Konsoler</li> <li>E. Level Vever</li> <li>E. Shared Folder</li> <li>E. Level User and Folder</li> <li>E. Level User and Folder</li> <li>C. Stronger</li> <li>C. Windows Server Eachup</li> <li>Disk Management</li> <li>Disk Management</li> <li>Services and Applications</li> </ul>	(C)     UDPDeta (K)     UDPHash (K)	Simple Basic         Healthy (Becney) Pention)         35.3         More Acts           Simple Basic         N155         Healthy (Becney) Pention)         153.7           Simple Basic         N155         Healthy (Becney) Pention)         153.7           Simple Basic         N155         Healthy (Becney) Pention)         1423           Healthy (Becney) Pention)         1427         Healthy (Becney) Pention)         1427           Healthy (Becney) Pention)         127         Healthy (Becney) Pention)         127           More Acts         Manager can access to the second to	iens 🕨
	< Obia 0 Unknown 14903.00 GB Not Initialized	Use the following pattion style for the selected dela:	
	- Disk 4 Basic 14902.88 GB Online	JOD MM         UC3 155/75 GB NTFS Health         76,20 GB Healthy (Beauty Healthy (Beauty)         UDPD/Lis (KL) 1407,24 GB NTFS Healthy (Beauty)	
< >>	Disk 5 Basic 1787.87 GB Online Unallocated	UDPHink (Y3 177.87 (d NT55 Heathy (binary Pattion) Friang pattion	

- k. **ディスクの管理**]ウィンドウで仮想ディスクを選択し、以下のプロパティ を適用します。
  - ドライブ文字の割り当て
  - ファイルシステムとして NTFS を指定します。
  - ディスクのフォーマット

仮想ディスクが正常に作成されました。

## Arcserve アプライアンス拡張キットの操作 - X シリーズ モデル

Arcserve 拡張キットを使用して、Arcserve アプライアンス X シリーズ モデルのデータ 容量を拡張できます。

### 以下の手順に従います。

- 1. X シリーズ拡張キット すべてのモデル(X3000DRを除く)の容量では、最 大モデルのX3000DR に達するまで、オプションの拡張キットを使用して必 要な回数だけ線形拡張を実行できます。
- 2. 以下の手順に従い、空のディスクスロットに HDD を挿入します。
  - a. Arcserve UDP コンソールで、アプライアンス サーバ上に実行中のジョ ブがないことを確認します。実行中のジョブがある場合は、対応す るプランを一時停止します。
  - b. ストレージ ユニット ME4084 Value Array の空のディスクスロットに HDDを挿入します。X シリーズ拡張 キットの各 キットは、14 x 16TB

ディスクで構成されています。



3. ME ユニット - Value Array ストレージ マネージャにログインし、 プール] に移動して拡張 するディスク グループを選択します。



4. 選択したディスクグループを右クリックし、 ディスクグループの拡張]を選択します。

ディスクグループの拡張]パネルが開き、ディスクグループの情報とディスクテーブルが表示されます。



- 5. ディスクグループにディスクを追加するには、 ディスクの範囲の入力] フィールドにディスクの範囲を入力するか、テーブルからディスクを選択しま す。
- 6. 変更]をクリックします。

7. 確認パネルで **[はい**]をクリックしてグループの展開を開始し、 **Ѻ**K]をクリックしてパネルを閉じます。

**注:** 拡張ジョブが完了すると、ディスクグループで再バランスジョブがトリガされます。

8. 拡張ジョブと再バランスジョブが完了したら、コンピュート ユニットから ディ スクの管理]を開き、アクション]-ディスクの再スキャン]を選択します。

📅 Disk N	fanagement									-	٥	×
File Ad	ction View Help											
de e	Refresh											
Volur	Rescan Disks	6	Туре	File System	Status	Capacity	Free Spa	% Free				
🚍 (C	Create VHD		Basic	NTFS	Healthy (B	155.73 GB	80.56 GB	52 %				
- (Di	Attach VHD		Basic		Healthy (R	499 MB	499 MB	100 %				
💳 (Di			Basic		Healthy (E	100 MB	100 MB	100 %				
- (Di	All Tasks	>	Basic		Healthy (R	76.29 GB	76.29 GB	100 %				
	Help											
ODisk	0											^

再スキャン後、ストレージ ユニットのディスクは拡張されたストレージと共に 表示されます。

📅 Disk Managem	ient								-	0	×
File Action V	iew Help										
🗢 🔿 🛛 🖬	🗔 🗩 🗙	2 🔒 🖌									
Volume	Layout	Туре	File System	Status	Capacity	Free Spa	% Free				_
= (C:)	Simple	Basic	NTFS	Healthy (B.	155.73 GB	80.50 GB	52 %				
<ul> <li>(Disk 1 partition</li> </ul>	n 1) Simple	Basic		Healthy (R.	499 MB	499 MB	100 %				
<ul> <li>(Disk 1 partition</li> <li>(Disk 1 partition</li> </ul>	n 2) Simple	Basic		Healthy (E.	. 100 MB 75 29 GB	100 MB 76 20 GB	100 %	-0			
- (0000 1 partition	is) simple	busic		incentity (is		10.27 00	100 /2				
O Disk 0											
Unknown	222 67 60										
Not Initialized	Unallocated										
- 014.4			_					d			
Basic			(C)			_					
1489.85 GB	499 MB	100 MB	155.73 GB NTFS	76	.29 GB	1257.2	3 GB				
Online	Healthy (Rec	Healthy	Healthy (Boot, Pag	je File, Ci Hi	ealthy (Recovery Parti	ti Unallo	cated				
Olisk 2											
Unknown 18627 45 GR	19637 45 CP										
Not Initialized	Unallocated										
= Dick 2											
Removable (E:)											
No Media											
O Disk 4											
Unknown 500168.00 GB	500168 00 CB										
Offline ()	Unallocated										
Unallocated	Primary partiti	on									

## Arcserve X シリーズ アプライアンスの SSD フラッシュ拡 張 キットの操 作

Arcserve SSD フラッシュ拡張キットを使用すると、セカンダリデータストアを作成して データ容量を拡張し、Arcserve アプライアンス X シリーズで DR 関連操作(IVM /VSB/Continuous Availability)を実行します。

### 以下の手順に従います。

- 1. 以下の手順に従い、空のディスクスロットにSSDを挿入します。
  - a. Arcserve UDP コンソールで、アプライアンス サーバ上に実行中のジョブ がないことを確認します。実行中のジョブがある場合は、対応するプ ランを一時停止します。

b. SSD を空のディスクスロットに挿入します。



- 2. 以下の手順に従い、BIOS ブート マネージャオプションから Raid-5 を設定し ます。
  - a. 仮想コンソールダッシュボードを起動するには、iDRAC にログインし、 仮想コンソールの開始]をクリックします。
  - b. 仮想コンソールページで、ブート]をクリックし、 BIOS ブート マネージャ]オプションを選択します。
     確認ウィンドウで [よい]をクリックして、BIOS ブート マネージャを再起動します。
  - c. **電源**]をクリックし、**システムのリセット(ウォームブート)**]を選択します。

アプライアンスが起動し、ブート マネージャ セット アップ ページが再起動します。

- d. ブート マネージャのメイン メニューで、 システム セット アップの起動]を クリックしてから、 デバイス設定] > [pell EMC PERC S140 Controller]
   > 仮想ディスク管理] > 仮想ディスクの作成]に移動します。
- e. 【FAID レベルの選択】ドロップダウンリストから、 【FAID 5】を選択します。

**注:** RAID 5 仮想 ディスクは拡張 キット に使用され、物理 ディスクごとに 新しく接続された 3.63 TB のディスクが含まれます。

	Help   About   Exit
DELL EMC PERC S140 Configuration	Utility
Configuration Options • Virtual Disk Man	agement • Create Virtual Disk
Create Virtual Disk	-
Select RAID Level:	Volume
Select Physical Disks From:	Volume
Select Physical Disks	RAID 0
Select Physical Disks	RAID 5
Configure Virtual Disk Parameters:	RAID 10
Virtual Disk Size:	0
Virtual Disk Size Unit:	O MB (MegaBytes)
Read Cache Policy:	No Read Ahead
Write Cache Policy:	Write Through
Physical Disk Write Cache:	Default      Disable
	-
Selects the desired RAID level. The config	uration utility supports RAID levels 0, 1, 5 and 10.
(Press <f1> for more help)</f1>	
Service Tag : C10CP52	Back
Service Tag. Glack55	

184 Arcserve アプライアンス ユーザ ガイド

f. 物理ディスクの選択]オプションを選択します。



物理ディスク操作の選択]ウィンドウが開きます。

g. {/ンターフェースの種類の選択]オプションで、 [NVMe]をクリックしま す。

物理ディスクのリストが表示されます。

h. 物理ディスクのリストから、必要に応じてディスクを選択し、 変更の 適用]をクリックします。

System Setup		Help   About   Exit
DELL EMC PERC S140 Configuration Utility	,	
Configuration Options • Virtual Disk Manageme	ent • Create Virtual Disk	
Create Virtual Disk		
Select RAID Level:	RAID 5	×
Select Physical Disks From:	<ul> <li>Unconfigured Capacity</li> </ul>	
P Physical Disk 0:18, NVMe, 3.63 TE, Ready     Physical Disk 0:28, NVMe, 3.63 TE, Ready     Physical Disk 0:29, NVMe, 3.63 TE, Ready     Physical Disk 0:29, NVMe, 3.63 TE, Ready     Physical Disk 0:210, NVMe, 3.63 TE, Ready     Physical Disk 0:211, NVMe, 3.63 TE, Ready     Check All     Uncheck All     Apply Changes		
Submits the changes made to the entire form.		
Service Tag: G19CR53		Back

注: 最小 3 ディスク、最大 16 ディスクを選択します。

i. 変更が適用されたら、 **仮想ディスクの作成**]オプションを再度クリックして、仮想ディスクの作成プロセスを完了します。

- 3. **環境設定オプション**]> **物理ディスク管理**]> **物理ディスク操作の選** 択]に移動します。
  - a. インターフェースの種類の選択で、 [NVMe]をクリックします。
  - b. 物理ディスクの選択]ドロップダウンリストから、必要に応じてオプショ ンを選択し、 (RAID 対応ディスクに変換]をクリックします。

**注:** RAID 対応 ディスクに変換するオプションは、すべての物理ディスク に1 つずつ適用できます。

System Setup		Help   About   Exit
DELL EMC PERC S140 Configuration	ו Utility	
Configuration Options • Physical Disk N	lanagement • Select Physical Disk Operations	
Select Interface Type: Select Physical Disk: Convert to Non-RAID Disk	O SATA      NVMe     Physical Disk 0:t8, NVMe, 3,63 TB, Online	×
Convert to RAID Capable Disk Manage Physical Disk Properties Assign Global Hot Spare Unassign Hot Spare Cryptographic Erase	Þ	
Converts RAID capable physical disks to Service Tag : G19CR53	Non-RAID physical disks.	Back

c. 以下の警告メッセージが表示されたら、以下を実行します。

RAC0516:物理ディスクドライブをRAID互換に変換すると、OSで作成されたRAIDアレイは上書きされます。

- 1. OS で構成された RAID アレイが存在しないことを確認 し、 QK]をクリックします。
- 2. [DK]をクリックします。
- 4. **環境設定オプション**] > **仮想ディスク管理**]に移動し、以下を実行します。

System Setup	Help   About   Exit
DELL EMC PERC S140 Configuration Utility	
Configuration Options • Virtual Disk Management	
Create Virtual Disk Properties Select Virtual Disk Operations View Virtual Disk Properties	
Creates a virtual disk by selecting the RAID level, physical disks, and virtual disk parameters.	
Service Tag: G19CR53	Back

a. 仮想ディスクを管理するには、 仮想ディスクプロパティの管理]をク リックします。

仮想ディスクの選択]ドロップダウンリストから、いずれかの RAID 5 ディスクを選択し、**関連する物理ディスクの表示**]をクリックします。

Configuration Options • Virtual Disk N	Nanagement • Manage Virtual Disk Properties	
Select Virtual Disk:	Virtual Disk 2, RAID 5 , 7.27 TB, Ready	۲
'irtual Disk Properties:		
Virtual Disk ID:	2	
RAID Level:	RAID 5	
Virtual Disk Status:	Ready	
Virtual Disk Capacity:	7.27 TB	
Sector Size:	512 bytes	
View Associated Physical Disks		
Manage Dedicated Hot Spares		

関連するディスクが表示されます。



b. 仮想ディスク操作を選択するには、 仮想ディスク操作の選択]をクリックします。

System Setup	Help   About   Exit
DELL EMC PERC S140 Configuration Utility	
Configuration Options • Virtual Disk Management	
Create Virtual Disk	
Manage Virtual Disk Properties	
Select Virtual Disk Operations	
View Virtual Disk Properties_	13
Executes virtual disk operations.	
Service Tag: G19CR53 14:22	Back

- c. ブート マネージャで仮想ディスクのプロパティを表示するには、 仮想 ディスクプロパティの表示]をクリックします。
- 5. iDRAC でディスク情報を表示するには、iDRAC にログインしてから、 **スト** レージ] > 概要]をクリックします。

iDRAC9 Enterprise				Search	Q 1 ± 0
Dashboard System     Dashboard     Graceful Shutdown     -     LED	Storage Configuration Storage Storage Configuration Storage St	昭 Maintenance Y	ttings 🗸		Erabie Group Manager
Health Information		System Information		🗒 Task Summary	View All Jobs
SYSTEM HAS C	RITICAL ISSUES	Power State Model	ON	Pending Jobs : 0 No Pending Jobs	
System Health	Storage Health	Host Name	APP%-QA		
Critical Details	Healthy Details	Operating System	Windows Server 2019	() In Progress Jobs : 0	
Miscellaneous		Operating System Version	10.0	No In-Progress Jobs	
Power Supplies		Service Tag	G19CR53		
		BIOS Version	2122		
		iDRAC Firmware Version	5.00.10.20	O completed Jobs : 6	

188 Arcserve アプライアンス ユーザ ガイド

概要]セクションで、**物理ディスク**]をクリックして、作成した物理ディスクの リストを表示します。

iDRAC9 Enterprise								Search		
🛊 Dashboard 🗄 System V 🗧 Storage V 📅 Configuration V 🖂 Maintenance V 🗣 IDRAC Settings V										
Storage										
Overview Tasks										
Summary	(The second seco	Physical	Disks	Virtual Disks	Enck	osures				
Physical Disks										
			▼ Filter Drives							
Blink Unblink C	Create Virtual Disk									
Status Na	ame	State	Slot Number	Size	Bus Protocol	Media Type	Hot Spare	Actions		
+ 🗆 🖬 🛛 ss	SD 0	Non-RAID	0	223.57 GB	SATA	SSD	No	Action	~	
+ 🗆 💆 РС	Cle SSD in Slot 8 in Bay 1	Online	8	3726 GB	NVMe	SSD	No	Action	~	
+ 🗆 🖬 🛛 PC	Cle SSD in Slot 8 in Bay 2	Online	8	3726 GB	NVMe	SSD 🔓	No	Action	~	
+ 🗆 🗹 🛛 PC	Cle SSD in Slot 9 in Bay 1	Online	9	3726 GB	NVMe	SSD	No	Action	~	
+ n 💆 pr	The SSD in Slot 9 in Ray 2	Online	9	3726 GB	NVI.4e	nee	No	Action	~	

- 6. 新しく追加した仮想ディスクを初期化してフォーマットするには、以下の手順に従います。
  - a. **[レビュータ管理]- ディスク管理**]に移動します。
  - b. 追加した新しい仮想ディスクをダブルクリックします。

ディスクの初期化]ウィンドウが表示されます。

- c. **(GPT (GUID パーティション テーブル)**]オプションを選択して、 **(DK**)を クリックします。
- d. ディスクの管理]ウィンドウで仮想ディスクを選択し、以下のプロパティ を適用します。
  - ◆ ドライブ文字の割り当て
  - ファイルシステムとして NTFS を指定します。
  - \* ディスクのフォーマット

🚁 Computer Management							- 0	×
File Action View Help								
🗢 🔿 🙍 🖬 📓 📼 🗩	2							
A Computer Management (Local	Volume	Layout Type	File System State	5		Actions		
✓ <sup>№</sup> System Tools	= (C:)	Simple Basic	NTFS Heal	thy (Boot, Page File,	Crash Dump, Primary Partition)	Disk Mar	nagement	
> 🕑 Task Scheduler	<ul> <li>(Disk 0 partition)</li> </ul>	2) Simple Basic	Heal	thy (EFI System Parti	ition)	140	a detinen	
> 🛃 Event Viewer	= 2_6_7-28-AM (D:	) Simple Basic	FAT32 Heal	thy (Active, Primary	Partition)	Me	e Actions	
> 11 Shared Folders	= New Volume (E)	Simple Basic	NTES Has	thy (Primary Particio thy (OEM Particion)	n)			
> Se Local Users and Groups	= UDPData1 (0)	Simple Basic	NTES Heal	thy (Drimary Partitio	2)			
> Performance	= UDPFactoryReset	Simple Basic	NTES Heal	thy (OEM Partition)				
20 Device Manager	- UDPHash (Y:)	Simple Basic	NTFS Heal	thy (Primary Partitio	n)			
Windows Conver Package								
S go windows Server Backup								
Services and Applications	4							
> p services and apprications								
	=044.0					^		
	Basic	Recove	(C:)	UDPFactoryRes	UDPData1 (X:)			
	22354.48 GB	499 MB 100 M	155.73 GB NTFS	76.29 GB NTFS	22121.87 GB NTFS			
	Online	Healthy Healt	Healthy (Boot, Pa	Healthy (OEM Pa	Healthy (Primary Partition)			
	=Disk 1							
	Basic UDPHash (Y:) 1787 87 GB 1787 87 GB NTEE							
	Online	Online Hastby (Riman Radition)						
			renewany					
	-DBK Z							
	Basic	New Volume (E	)					
	10729.11 G8	10729.11 GB NTF	S					
	Online	Healthy (Primary	Partition)					
	====							
	Eeropushie	3 6 7 38 AM (			-			
·	117.88 GB	117.87 GB FAT32					<b>.</b>	
< >	Unallocated	Primary partition						

仮想ディスクが作成されます。

## Arcserve アプライアンス 9072-9504DR モデルの拡張 キット での操作

Arcserve 拡張キットを使用して、Arcserve アプライアンス 9072-9504DR モデルの データ容量を拡張できます。

### 以下の手順に従います。

- 1. 以下の手順に従い、空のディスクスロットに HDD を挿入します。
  - a. Arcserve UDP コンソールで、アプライアンス サーバ上に実行中のジョ ブがないことを確認します。実行中のジョブがある場合は、対応す るプランを一時停止します。
  - b. HDD を空のディスク スロット に挿 入します。



- 2. 以下の手順に従い、iDRAC で RAID-6 を設定します。
  - a. iDRAC にログインし、 環境設定]- ストレージの環境設定]- 物理 ディスクの環境設定]に移動します。
  - b. 新しいディスクごとに、**物理ディスクの構成**]セクションの アクショ ン]ドロップダウンで、 **[AID への変換**]オプションを選択します。

ダイアログボックスに以下の警告メッセージが表示されます。

RAC0516:物理ディスクドライブをRAID 互換に変換すると、OS で作成されたRAID アレイは上書きされます。

*OS で構成された RAID アレイが存在しないことを確認し、 ØK]をクリックします。* 

c. **(DK**]をクリックします。

保留中のアクション]の下にRAIDステータスが表示されます。

Controller C	onfiguration							
Physical Dis	sk Configuration ③ 6 Pending							🕏 Edit SSD Wear Thre
Status	Name	State	Hotspare Status	Capacity	Media Type	Action		Pending Actions
	Physical Disk 0:1:10	Non-RAID	Unassigned	10949.00 GB	HDD	Action	•	Convert to RAID
<ul> <li>Image: A set of the set of the</li></ul>	Physical Disk 0:1:11	Non-RAID	Unassigned	10949.00 GB	HDD	Action	•	Convert to RAID
	Physical Disk 0:1:14	Non-RAID	Unassigned	10949.00 GB	HDD	Action	•	Convert to RAID
	Physical Disk 0:1:15	Non-RAID	Unassigned	10949.00 GB	HDD	Action	•	Convert to RAID
	Physical Disk 0:1:16	Non-RAID	Unassigned	10949.00 GB	HDD	Action	•	Convert to RAID
-	Physical Disk 0:1:17	Non-RAID	Unassigned	10949.00 GB	HDD	Action	*	Convert to RAID

d. 以下のオプションのいずれかをクリックして、保留中のアクションを完 了します。

### 今すぐ適用

RAID変換アクションがすぐに開始されます。

次回の再起動時

次の再起動時にRAID変換アクションが開始されます。

スケジュールされた日時

スケジュールされた日時にRAID変換アクションが開始されます。

#### すべての保留中を破棄

すべてのディスクの RAID 変換アクションが破棄されます。

e. **メンテナンス]- ジョブキュー**]に移動します。

RAID へのディスク変換を実行中のジョブリストが表示されます。RAID への変換ジョブが完了すると、ステータスが **庑了(100%)]**に変更されます。

- 3. 以下の手順に従い、仮想ディスクを作成します。
  - a. 環境設定]- <br/>
    ストレージの環境設定]- 仮想ディスクの設定]に移<br/>
    動します。
  - b. 仮想ディスクの構成]セクションで、 仮想ディスクの作成]をクリック します。
  - c. **レイアウト**]で「RAID-6」を選択します。

Create Virtual Disk

- d. **物理ディスクの選択**]セクションで、RAID に変換するディスクを選択します。
- e. 保留中の操作に追加]をクリックします。

		^
Name	Enter or use auto-name	I
Layout	RAID-6 🔻	I
Media Type	HDD *	l
Stripe Element Size	64 KB 🔻	l
Capacity*	14.55 TB T	l
Read Policy	Read Ahead	
Write Policy	Write Back	
Disk Cache Policy	Default 🔻	
T10 PI Capability	Disabled *	
Span Count	1 •	÷
	Consol Add to Departure Consoling	_
	Cancel Add to Pending Operations	

- f. 環境設定]- 尽トレージの環境設定]に移動します。
- g. 以下のオプションのいずれかをクリックして、保留中の処理を完了します。

### 今すぐ適用

仮想ディスクの作成処理がすぐに開始されます。

次回の再起動時

次の再起動時に仮想ディスクの作成処理が開始されます。

#### スケジュールされた日 時

スケジュールされた時刻に仮想ディスクの作成処理が開始されます。

### すべての保留中を破棄

すべてのディスクに対して、仮想ディスク作成処理が破棄されま す。

h. **メンテナンス]- ジョブキュー**]に移動します。

仮想ディスクの作成を実行中のジョブリストが表示されます。仮想 ディスクの作成ジョブが完了すると、ステータスが**完了(100%)**]に変 更されます。

- i. **ロンピュータ管理**]- ディスク管理]に移動します。
- j. 追加した新しい仮想ディスクをダブルクリックします。 ディスクの初期化]ウィンドウが表示されます。
- k. **(GPT (GUID パーティション テーブル)**]オプションを選択して、**(DK**) をクリックします。
- 1. **ディスクの管理**]ウィンドウで仮想ディスクを選択し、以下のプロパ ティを適用します。
  - ドライブ文字の割り当て
  - ファイルシステムとして NTFS を指定します。
  - ディスクのフォーマット

Computer Management (Local	Volume	Layout	Type	File System	Status				Capa	Actions	_
System Tools	-	Simple	Basic		Healthy (Re	covery Partition)			300 M	Disk Management	
<ul> <li>W Task Science (Viewer</li> <li>Shared Folders</li> <li>Shared Folders</li> <li>Se Local Users and Groups</li> <li>Perice Manager</li> <li>Windows Server Backup</li> <li>Windows Server Backup</li> <li>Bick Management</li> <li>Services and Applications</li> </ul>	UDPData (X:)	Simple Simple Simple Simple Simple Initialize You mut Select d	Basic Basic Basic Basic Rasic Disk tintializ Isks: 0	NTFS NTFS NTFS e a disk before	Healthy (EF Healthy (Re Healthy (Bo Healthy (Pr Healthy (Pr bealthy (Dr)	I System Partition) covery Partition) iot, Page File, Crasi imary Partition) imany Partition) Manager can acces	h Dump, Prima X s IL	ry Partition)	99 M 76.29 155.7 1467 1787.	More Actions	
	*ODisk 0 Unknown 14903.00 GB Not Initialized	Use the MBF © GPT Note: Th Window	followin R (Maste F (GUID he GPT s.	g partition style ir Boot Record Partition Table partition style is	for the select ) ) s not recognize	ed disks: ed by all previous ve OK	tsions of Cancel		>		
	Disk 4 Basic 14902.88 GB Online	300 M8 Health	99 I Hea	M 155.73 G It Healthy	B NTFS (Boot, Paş	76.29 GB Healthy (Recover	UDPData (X 14670.46 GB N Healthy (Print	) VTFS hary Partition	)		
	Disk 5 Basic 1787.87 GB Online	UDPH 1787.8 Health	ash (Y: 7 GB N v (Prim	) IFS ary Partition)					v		

- 4. 以下の手順に従い、データストアを拡張します。
  - a. 追加したドライブに移動し、フォルダを作成します。
  - b. Arcserve アプライアンス デスクトップで Arcserve アプライアンス ウィ ザードを起動します。

[Arcserve アプライアンス環境設定]ページが表示されます。

c. [JDP コンソールの起動] をクリックします。

[Arcserve UDP コンソール ログイン] ページが表示されます。

- d. 管理者としての UDP コンソールにログインします。
- e. **[リソース]- デスティネーション]- 復旧ポイント サーバ**]に移動しま す。
- f. データストアを右クリックし、 停止] をクリックします。

arcserve <sup>.</sup>	unified	data protectio	on Ø Mer	ssages (1) adm	inistrator • Help •		
dashboard resources	jobs repo	rts log setting	gs   high availa	bility			
	e Destinations	Recovery Point Se	erver		⇒appliatest75 > appliat.		
All Nodes	Actions -	Add a Recovery Poi	int Server		Configuration Wizard		
Nodes without a Plan	Name		Status Plan Count	Stored Data	D 😋 Status		
<ul> <li>Plan Groups</li> <li>Linux Backup Server Groups</li> </ul>	🖌 📇 appla	test75			Running		
Plans All Plans	800	liatest75 data store Modify	0 1	0 Byte	Backup     Destination     SETE free of		
Destinations		Delete			Data Destination 18.2 TB free		
Arcserve Backup Servers		Stop			Index Destination 18 TB free of		
Shared Folders		Browse R	ecovery Points		Hash 223.5 GB free		
Cloud Accounts Remote Consoles		RPS Jump	pstart		Memory Allocation		
Storage Arrays Instant Virtual Machines					✓ Settings		
Sites					Compression Standard		
OLA PTOMES					Encryption AES-256		
				Act Go ti	Vate Vestination Destination System in Control Ploommon		

g. コマンド ラインから C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN に移動し、以下のコマンドを実行します。

as\_gddmgr.exe –DataPath Add <データストア名> -NewDataPath <新 規データ フォルダ>

以下の画面の例では、ボリューム容量、使用容量、プライマリデータ パスの空き容量、拡張データパスの空き容量、合計値などの詳細が 表示されています。合計値は、プライマリデータパスと拡張データパス の合計です。

以下のコマンドを実行して、データパスの詳細を表示することもできます。

as\_gddmgr.exe –DataPath Display <データストア名>

C:\Program Files\Arcs path Add appliatest75 Successfully load dat Successfully added ne The data store has 1	erve\Unified Data Pr _data_store -NewData a store configuratio w expanded data pat] expanded data path(s	rotection\Engine\BIN Path Y:\data on information. h for the data store s) now:	≻as_gddmgr.exe -Data
	Volume capacity	Used space	Free space
Primary data path :	X:\Arcserve\data_st 18384 GB	core\data\ 1 GB	18383 GB
Expanded data path1:	Y:\data 224 GB	1 GB	223 GB
Total	18608 GB	2 GB	18606 GB
Success to add data p	ath Y:\data.		

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN>

データストアへの新しい拡張データパスの追加が完了します。

- h. UDP コンソールで、 [Jソース] デスティネーション] 復旧ポイント サーバ]に移動します。
- i. データストアを右クリックし、 開始] をクリックします。
- j. 一時停止していたプランをUDPコンソールから再開します。

Arcserve アプライアンスのデータ容量の拡張が完了します。

## Arcserve アプライアンス 9072-9504 DR モデルの SSD フ ラッシュ拡張 キットの操作

Arcserve SSD フラッシュ拡張 キットを使用すると、セカンダリデータストアを作成して データ容量を拡張し、Arcserve アプライアンス 9072-9504DR モデルで DR 関連操 作(IVM / VSB / Continuous Availability)を実行します。

### 以下の手順に従います。

- 1. 以下の手順に従い、空のディスクスロットにSSDを挿入します。
  - a. Arcserve UDP コンソールで、アプライアンス サーバ上に実行中のジョブ がないことを確認します。実行中のジョブがある場合は、対応するプ ランを一時停止します。
  - b. SSD を空のディスクスロットに挿入します。

	ì

- 2. 以下の手順に従い、iDRACでRAID-5を設定します。

  - b. 物理ディスクの環境設定]セクションで、それぞれの新しい SSD ディスクの アクション]ドロップダウン リストから、 [RAID 変換]オプションを選択します。

ダイアログボックスに以下の警告メッセージが表示されます。

RAC0516:物理ディスクドライブをRAID互換に変換すると、OSで作成されたRAIDアレイは上書きされます。

OS で構成された RAID アレイが存在しないことを確認し、 QK]をクリックします。

c. **[DK**]をクリックします。

メディアの種類がSSD であるため、保留アクション]列の下に [AID 変換] ステータスが表示されます。

n	Dashboard	I System∨ I Storag	e∨ III Configura	tion $\vee$ $\equiv$ Mainte	nance V = 0 <sub>4</sub> j	DRAC Settings 🗸			🖻 Open Group Manager 🔹 🖉
>	Controller Corr	figuration							
~	Physical Disk (	Configuration 📀 6 Pending							Edit SSD Wear Threshol
	Status	Name	State	Hotspare Status	Capacity	Media Type	Action		Pending Actions
	2	Physical Disk 0.1:10	Non-RAID	Unassigned	10949.00 GB	HCO	Action		Convert to RAID
	2	Physical Disk 0:1:11	Non-RAID	Unassigned	10949.00.08	ноо	Action		Convert to RAID
	2	Physical Disk 0.1.14	Non-RAID	Unassigned	10949.00 GB	HCO	Action	•	Convert to RAID
	2	Physical Disk 0:1:16	Non-RAID	Unassigned	10949.00.08	HED	Action		Convert to RAID
	2	Physical Disk 0.1.16	Non-RAID	Unassigned	10949.00 GB	HCO	Action	•	Convert to RAID
	2	Physical Disk 0:1:17	Non-RAID	Unassigned	10949.00.08	HEO	Action		Convert to RAID
>	Virtual Disk Co	Physical Disk 0.1:17	Non-RAID	Unassigned	10948-00-08	HED	Action	•	Convert to RAID
	Enclosure Con	figuration							

d. 以下のオプションのいずれかをクリックして、保留中のアクションを完了 します。

今すぐ適用

RAID変換アクションがすぐに開始されます。

次回の再起動時

次の再起動時にRAID変換アクションが開始されます。

スケジュールされた日時

スケジュールされた日時にRAID変換アクションが開始されます。

#### すべての保留中を破棄

すべてのディスクの RAID 変換アクションが破棄されます。

e. ¥ンテナンス]- ジョブキュー]に移動します。

RAID へのディスク変換を実行中のジョブリストが表示されます。RAID 変換ジョブが完了すると、ステータスに100%と表示されます。

n 10	Dasht	oard 1	≣ System ∨ 🐸 Stora	ige∨ I	Configuration	V 🖂 Main	tenance V 0,	iDRAC Settings V			Enable Group Manager	1
		Status	Name	State	Slot Number	Size	Security Status	Bus Protocol	Media Type	Hot Spare	Remaining Rated Write Endurance	
+			Physical Disk 0.1:0	Online	0	7451.5 GB	Not Capable	SAS	HOD	No	Not Applicable	
+			Solid State Disk 0.1:1	Online	8	3576.38 GB	Not Capable	SAS	SSD	No	100%	
+			Solid State Disk 0:1:2	Online	2	3576.38 GB	Not Capable	SAS	SSD	No	100%	
+			Solid State Disk 0:1:3	Online	3	3576.38 GB	Not Capable	SAS	SSD	No	100%	
+			Solid State Disk 0.1:4	Online	4	3576.38 GB	Not Capable	SAS	SSD	No	100	
+			Solid State Disk 0:1:12	Online	12	1787.88 GB	Not Capable	SATA	SSD	No	100%	
+			Solid State Disk 0.1:13	Online	13	1787.88 GB	Not Capable	SATA	SSD	No	100%	
+			Physical Disk 0:1:14	Online	14	7451.5 GB	Not Capable	SAS	HOD	No	Not Applicable	
+			Physical Disk 0.1:15	Online	15	7451.5 GB	Not Capable	SAS	HDD	No	Not Applicable	
+			Physical Disk 0:1:16	Online	16	7451.5 GB	Not Capable	SAS	HOD	No	Not Applicable	

3. 以下の手順に従い、仮想ディスクを作成します。

- a. **環境設定]- 尽トレージの環境設定]- 仮想ディスクの設定**]に移動します。
- b. 仮想ディスクの構成]セクションで、 仮想ディスクの作成]をクリックします。
- c. 仮想ディスクの作成]ウィンドウで以下を実行し、それ以外はデフォ ルトのままにします。
  - <sup>■</sup> レイアウト ドロップダウンリストから、 [AID-5]を選択します。
  - メディアの種類 -ドロップダウンリストから、 [SD]を選択します。
- d. 物理ディスクの選択]セクションで、下にスクロールして RAID に変換 するすべての SSD ディスクを選択します。
- e. 保留中の操作に追加]をクリックします。

Create Virtual Disk		0
		^
Name	UDPFlash	
Layout	RAID-5 🗸	
Media Type	SSD 🗸	
Stripe Element Size	64 KB 🗸	
Capacity*	10.48 TB 🗸	
Read Policy	Read Ahead 🗸	
Write Policy	Write Back	
Disk Cache Policy	Default 🗸	
T10 PI Capability	Disabled	
Span Count	1	
	Canael Add to Danding Operatio	00

- f. 環境設定]- 尽トレージの環境設定]に移動します。
- g. 仮想ディスクの作成処理をすぐに行うには、 **今すぐ適用**]をクリックします。

integrated R						Search	9.74.8					
n Dashboard	≣ System∨ 🛛 😸 SI	orage 🗸 🛛 🖪 Configuration	✓	lettings 🗸			Brabie Droug Marager 📝					
Configu	ration											
Power Manager	ment Virtual Console	Virtual Media Licenses	System Settings Asset Tracking	Storage Configuration BIDS Setting	s Server Configuration Profile		C Refresh					
Use this page to schedule the job	configure your storage sett Pending Operations will pe	ngs. Storage settings are confi rsist until the job is created or t	med per controller and only one job per contro hey are discarded.	oller can be scheduled or running at a tir	me. You can batch changes into one j	ab by adding them to the Pending Operations. You must Apply when	you are ready to start or					
Controller PEP	C H730P Mini (Embedded)	1										
> Controller Configuration												
> Physical Disk	> Physical Diok Configuration											
Virtual Disk Co	onfiguration											
Create Virtua	/ Disk											
Status	Name	RAID Level	Dedicated Hotspares	Virtual Disk Actio	ms	Pending Actions						
•	UDPOsta	RAD-6	None	Action	v							
•	UDPHash	RAD-1	Note	Action	v.							
8	UDPHash	R4D-5	None	Action	v							
> Enclosure Con												

- h. **ドンテナンス]- ジョブ キュー**]に移動します。 仮想ディスクの作成を実行中のジョブリストが表示されます。仮想 ディスクのジョブを作成すると、ステータスが **100**%]に変更されます。
- i. **[レビュータ管理]- ディスク管理**]に移動します。

- j. 追加した新しい仮想ディスクをダブルクリックします。 ディスクの初期化]ウィンドウが表示されます。
- k. **(GPT ( GUID パーティション テーブル)**]オプションを選択して、 **(D**K)を クリックします。
- 1. ディスクの管理]ウィンドウで仮想ディスクを選択し、以下のプロパティ を適用します。
  - ◆ ドライブ文字の割り当て
  - ◆ ファイルシステムとして NTFS を指定します。
  - ◆ ディスクのフォーマット

🖀 Computer Management									-		×
File Action View Help											
🔶 🔿 🙇 📷 📓 📷 🗩	2 💷										
🌆 Computer Management (Local	Volume	Layout	Туре	File System	Status			Actions			
V 1 System Tools	= (C:)	Simple	Basic	NTFS	Healthy (Boot, Page F	ile, Crash Dump,	Primary Partition)	Disk Ma	nagemen	t	
Event Viewer     Samed Felders     Samed Felders     Songe     Songe	= 2,6,7-28-AM (D:) New Volume (E:) Recovery UDPDrat1 (X:) UDPFrctoryReset UDPHash (Y:) C Disk 0 Basic 22354,86 GB	Simple Simple Simple Simple Simple Simple	Basic Basic Basic Basic Basic Basic	FAT32 NTFS NTFS NTFS NTFS NTFS	Healthy (Active, Prim Healthy (Primary Part Healthy (OEM Partitio Healthy (OEM Partitio Healthy (OEM Partitio Healthy (Primary Part	ey Partition) ition) in) ition) ition) ition) ition)	(X3)	Mo	re Action	8	
	Online Disk 1 Basic 1787.87 GB Online	Healthy UDPHash 1787.87 GI Healthy (P	(Y:) B NTFS Primary	Healthy (Boo	R, Pai Healthy (OEM	Pe Healthy (Pr	imary Partition)				
ſ	Basic 10729.11 GB Online Disk 3	New Volu 10729.11 C Healthy (P	ime (E: 58 NTFS Primary	) Partition)							
· · · ·	Removable	2 6 7.28	AM (D	н		_		_			
(	Unallocated P	117.87 GB	tition								
4 P	- onenoCated - P	menty par	the second								

仮想ディスクが作成されます。

# 第10章:ネットワーク設定の操作

このセクションには、以下のトピックが含まれます。	
<u>ネットワーク設定の詳細</u>	
<u>DHCP サーバを無効化する方法</u>	204
<u>プリインストールされた Linux バックアップ サーバの IP アドレスを設定する方法</u>	
<u>負荷分散のために DNS サーバ上 でラウンド ロビンを有効にする方法</u>	
アプライアンスのネットワークステータスを確認する方法	208

## ネットワーク設定の詳細

アプライアンスのネット ワーク設定により、組み込み Linux バックアップ サーバ (HYPER-V マネージャでの仮想名: Linux BackupSvr)を NAT の背後で稼働させるこ とができます。これにより以下の利点があります。

- ユーザは、組み込み Linux のホスト名を変更する必要がありません。
- <sup>■</sup> ユーザは、Linux バックアップ サーバのネット ワーク上の IP を保存します。
- Linux バックアップ サーバは、パブリック ネット ワーク上のマシンに接続できます。
- アプライアンス サーバ専用の特別なポートを介して、パブリックネットワーク上の任意のマシンを Linux バックアップ サーバに接続できます。

ネットワーク設定の詳細:

 Hyper-V マネージャで、Linux-BackupSvr によってのみ使用される内部のみの仮 想スイッチ – Linux-BkpSvr-Switch が利用可能です。



 コントロールパネル、ネットワークとインターネット、ネットワーク接続に、 「LinuxBkpSvr」という名前の「Hyper-V Virtual Ethernet Adapter」が表示されます。デフォルトでは、以下のように、このスイッチの IPv4を192.168.10.1 として設定しています。



デフォルトで、アプライアンスマシンにはDHCP サーバが設定されています。
 DHCP サーバは、HYPER-V 仮想アダプタ上でのみ稼働します。

2	DHCP
ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)
🗢 🔿 🖄 📰 🗙	
DHCP  appliatest75  b b IPv4  DHCP	名前 11794 11796
▷ 1000	サーバーの結合のプロパティ ? ×
	IPv4       IPv6         DHCP サーバーがウライアンドにサービスを提供するときに使う接続を選んで代さい。この一覧にエンドリがない場合は、静的 IP アドレスがこのコンピューター用に構成されているかどうか確認してください。         接続とサーバーの結合(C):         192.168.10.1       LinuxBkpSvr
	OK         キャンセル         適用(A)

デフォルトでは、アドレスプールには192.168.10.2のみがあり、これによって、組み込みLinux バックアップサーバがIP 192.168.10.2を確実に取得できます。

2		DHC	P
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)			
🗢 🔿 🙍 🗔 🖬 🖌			
2 DHCP	開始 IP アドレス	終了 IP アドレス	説明
appliatest75	192.168.10.2	192.168.10.2	アドレスの割り当て範囲
a 🔒 IPv4			
⊿ 🔀 スコープ [192.168.10.0] nat			
📑 アドレス プール			
🔀 アドレスのリース			
▶ 📓 予約			
🖺 スコープ オプション			
◎ ボリシー			
📑 サーバー オプション			
🔯 ボリシー			
▶ 📝 フィルター			
IPv6			

アプライアンスマシン上でNATが設定されました。

-	1.000		14.4	
名则 Q LinuxBkpSvr	状態 識別されていないネットワーク	テ/イス섬 Hyper-V Virtual Ethernet Ad	接続 インターネット アクセスなし	ネットワークのカテコリ パブリック ネットワーク
♀ イーサネット ♀ イーサネット 2	無効 無効	Intel(R) I350 Gigabit Netwo Intel(R) I350 Gigabit Netwo		
♀ イーサネット 5 ♀ イーサネット 6	ARCSERVE.COM 無効	Intel(R) I350 Gigabit Netwo Intel(R) I350 Gigabit Netwo	インターネット アクセス	パブリック ネットワーク
C:¥Windows¥System3	32>netsh routii	ng ip nat dump		
#				
# NAT 構成				
#				
pushd routing ip r uninstall	nat			
install				
set global tcptime	eoutmins=1440 v	udptimeoutmins	=1 logleve	I =ERROR
#				
#インターフェイス	イーサネット2	の NAT 構成		
# add intarfaca name	″∡_++→ ⊾	.? ″mode=EUU		
auu miterrate name	- 1 - 9 - 9 - 9		_	
#イ ノダーフェイス #	イーサイット5	の NAT 構成		
" add interface name	≔″イーサネット	5 ″ mode=FULL		
#				
# #インターフェイス	LinuxBkpSvr $\sigma$	> NAT 構成		
#		-		
add interface name	e=″LinuxBkpSvr	″mode=PRIVATE		
popd				

Linux バックアップ サーバ用に、アプライアンス上でポート リダイレクションを設定しています。

C:¥Windows¥System32>netsh interface portproxy show all				
ipv4 をリッスン	する:	ipv4 に接続する	:	
Address	Port	Address	Port	
* * *	8018 8019 8035	192.168.10.2 192.168.10.2 192.168.10.2	8014 22 8035	

 Linux バックアップ サーバは、DHCP サーバから IP アドレス 192.168.10.2 を取得します。IP アドレスを取得した後、バックエンド スクリプト (C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance\resetdhcp.ps1)はLinux と通信し、Linux のシステムロケールを変更して、アプライアンス Windows OS のシステムロケールと一致させます。

[root@Linu	ıx-BackupSvr network-scripts]# cat ifcfg-eth0
DEVICE=et}	10
TYPE=Ether	met
ONBOOT=yes	S
NM_CONTROI	LED=yes
BOOTPROTO=	=dhcp
DEFROUTE=u	les
NAME="eth	ý''
[root@Linu	x-BackupSvr network-scripts]# ifconfig
eth0	Link encap:Ethernet HWaddr 00:15:5D:0A:04:00
	inet6 addr: fe80::215:5dff:fe0a:400/64 Scope:Link
	UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU: 1500 Metric: 1
	BX mackets:481943 errors:0 drommed:0 overrums:0 frame:0
	TX nackets:100859 errors:0 drommed:0 overruns:0 carrier:0
	collisions: 0 tranenelen: 1000
	BX hutes:36784482 (35.0 MiB) TX hutes:21795976 (20.7 MiB)
10	Link encan:Local Loonback
	inet addr:127.0.0.1 Mask:255.0.0.0
	inet6 addr: ::1/128 Scone:Host
	UP LOOPBACK BUNNING MOL:65536 Metric:1
	BX nackets:0 errors:0 dronned:0 overruns:0 frame:0
	TX nackets:0 errors:0 dronned:0 overruns:0 carrier:0
	collisions: 0 framewelen: 0
	RY butes $(0, 0, b)$ TY butes $(0, 0, b)$

## DHCP サーバを無効化する方法

DHCP サーバは、アプライアンス上ではデフォルトで有効になります。DHCP サーバ が、アプライアンス上の Hyper-V 仮想 Ethernet アダプタ - *LinuxBkpSvr* でのみ動作 し、プリインストールされた Linux バックアップ サーバが IP アドレスを取得でき、アプ ライアンスとの通信が可能で、実稼働ネットワーク環境に影響を与えないことを確 認します。

### DHCP サーバを無効にするには、次の手順を実行します。

- 1. ファイル C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance\Configuration\Appliance.properties を開 きます。
- 2. ファイルを DHCP\_ENABLE=false と変更します。Appliance.propertiesには以下のように表示されます。

DHCP\_ENABLE=false AdapterName=LinuxBkpSvr Appliance\_IPAddress=192.168.10.1 Linux\_IPAddress=192.168.10.2

- 3. ファイルを保存します。
- 4. ファイル C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance\dhcpdone.flag を削除します。
- 5. C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance\resetdhcp.ps1を DOS コマンド ラインから 以下のように実行し、DHCP サーバ サービスを無効化します。

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance>powershell .\resetdhcp.ps1
# プリインストールされた Linux バックアップ サーバの IP ア ドレスを設定する方法

**注:** この方法は、Arcserve Appliance for 9000 シリーズ以降に適用できます。

プリインストールされた Linux バックアップ サーバは、デフォルトで IP 192.168.10.2 を 使用して、アプライアンス サーバと通信します。 プリインストールされた Linux バック アップ サーバがアプライアンス サーバと通信する方法については、 プリインストール された Linux バックアップ サーバのネット ワーク設定の概要を参照してください。

プリインストールされた Linux バックアップ サーバの IP アドレスを指定するには、次の手順を実行します。

- C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance\Configuration\Appliance.properties ファイ ルを開きます。
- 2. Appliance\_IPAddress および Linux\_IPAddress の IP アドレスを変更します。 たとえば、Appliance\_IPAddress を 192.168.100.1 に、Linux\_IPAddress を 192.168.100.2 に設定します。

注:

- Appliance\_IPAddress の IP アドレスは、このプリインストールされた Linux バックアップ サーバとの通信に使用されるネットワーク インターフェース LinuxBkpSvr (Hyper-V 仮想 Ethernet アダプタ)に設定されます。
- ◆ Linux\_IPAddress の IP アドレスは、プリインストールされた Linux バック アップ サーバに設定されます。
- ◆ Appliance\_IPAddress および Linux\_IPAddress が同じサブネットワークの
   IP アドレスを使用していることを確認してください。

変更後、ファイルの内容は以下のようになります。

DHCP\_ENABLE=true

AdapterName=LinuxBkpSvr

Appliance\_IPAddress=192.168.100.1

Linux\_IPAddress=192.168.100.2

- 3. ファイルを保存します。
- 4. C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance\dhcpdone.flag ファイルを削除します。
- 5. C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance\User\_Utilities\UpdateIcsHostAdapter.ps1

を実行し、ネットワークインターフェース LinuxBkpSvr とプリインストールされた Linux バックアップサーバの IP アドレスをリセットします。

注:

- ユーザが Linux\_IPAddress を変更する場合、処理中にプリインストール された Linux バックアップ サーバはシャット ダウンし、再起動します。
- 実稼働 NIC アダプタのインターネット 接続を LinuxBkpSvr アダプタと共有するには、UpdateIcsHostAdapter.ps1 ファイルを実行します。特定の NIC アダプタのインターネット 接続を LinuxBkpSvr アダプタと共有する場合は、以下のレジストリを調整します。

インターネット 接続の共有に使用するネット ワーク アダプタの名前を指定するには、以下のレジストリキーを作成します

パス: "HKLM:\SOFTWARE\Arcserve\Unified Data Protection\Appliance"

値の種類: "文字列"

値の名前: "IcsHostAdapter"

値のデータ: "<Adapter Name> "

6. 上記のレジストリを変更した後、以下のコマンドを実行します。

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data

Protection\Engine\BIN\Appliance\User\_Utilities >powershell .\ UpdateIcsHostAdapter.ps1

# 負荷分散のために DNS サーバ上 でラウンド ロビンを有効にする方法

Microsoft DNS サーバでは、サーバ間の負荷分散に使用される技術であるラウンドロビンをサポートしています。この機能によって、DNS では

myserver.mydomain.com のクエリを受信する場合に両方の IP アドレスを送信できます。クライアント(またはリゾルバ)では、常に最初のものを使用します。次に DNS がこの名前のクエリを受信するときに、IP アドレスのリストの順序 はラウンド ロビン 手法を使用して変更されます(以前のリストで1番目だったアドレスは、新しいリストの最後になります)。1つのエイリアスに対して1つのカノニカル名しか許可されないため、名前レコードのラウンドロビンはサポートされていません。

アプライアンスで、ドメイン ネーム サーバ(DNS) にすべての IPv4 アドレスのレコード を追加し、ネット ワーク インターフェース全体で負荷分散することができます。

サーバ間の負荷分散の詳細については、RFC 1794 を参照してください。

#### 追加の IP アドレスのレコードをドメイン ネーム サービス サーバに追加する方法

サーバに2 つ以上のネットワーク インターフェース カード(NIC) があるか、サーバの NIC に2 つ以上の IP アドレスが指定されている場合は、各 IP アドレスの「A」レコー ドを作成することによって、追加の IP アドレスのレコードを DNS サーバに追加でき ます。

#### 例:

サーバの DNS ホスト名が <myserver> で、DNS ドメイン名が <mydomain.com> であるとします。このサーバには、以下の2つの IP アドレスが割り当てられています。

- IPAddress1
- IPAddress2

これらの IP アドレスを DNS サーバに追加するには、以下のように 2 つの「A」レコードを <mydomain.com> ゾーンに作成します。

- Myserver A <IPAddress1>
- Myserver A <IPAddress2>

リゾルバが毎回同じ IP アドレスを取得できるようにするには、以下のように、各アドレスに一意の名前を割り当てる「A」レコードをさらに2つ作成します。

- Altname1 A <IPAddress1>
- Altname2 A <IPAddress2>

この方法を使用すると、リゾルバはAltname1に対するクエリを送信するときは常に IPAddress1を取得し、Altname2に対するクエリを送信するときは常にIPAddress2 を取得します。

## アプライアンスのネット ワークス テータスを確認する方 法

ApplianceNetworkStatusCheck.ps1 ツールは、Arcserve アプライアンス サーバの現 在のネットワーク状態全体に関する情報を収集し、XML 形式でレポートを生成 するために使用されます。このレポートには、ネットワークアダプタ、ネットワークス イッチ、Hyper-V 仮想スイッチ、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol、動的 ホスト構成プロトコル)、DNS (Domain Name System、ドメイン ネーム システム)、 RRAS (Route and Remote Access Service、ルーティングとリモート アクセス サービ ス)、およびサーバ上のその他の主要な設定に関する情報が含まれます。 ApplianceNetworkStatusCheck.ps1 ツールは、Arcserve アプライアンス サーバ UDP V7.0 Update1 で利用可能です。

このツールを使用してアプライアンスサーバのネットワークステータスレポートを生成するには、以下の手順に従います。

- 1. 管理者として Arcserve アプライアンス サーバにログインします。
- 2. コマンド プロンプトを開き、フォルダの場所を入力します。

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance

3. ApplianceNetworkStatusCheck.ps1を実行してレポートを生成します。

#Powershell .\ApplianceNetworkStatusCheck.ps1



ブラウザが開き、アプライアンス サーバのネット ワーク ステータス レポート 全体 が表示 されます。

# 第11章:安全に関する注意事項についての理解

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

一般的な安全に関する注意事項	
電気に関する安全のための注意事項	
FCC コンプライアンス	213
<u>静電気放電(ESD)に関する注意事項</u>	214

#### 一般的な安全に関する注意事項

以下の一般的な安全に関する注意事項に従い、安全に注意を払い、またアプ ライアンスを障害や誤動作から保護する必要があります。

EMI クラスA機器(商用機器)の場合、本装置は家庭用ではなく、商用機器(A)としてEMC (Electromagnetic Compatibility) Registration に登録されています。販売者およびユーザは、この点において注意する必要があります。

A급기기(업무용방송통신기자재)

이기기는업무용(A급)으로전자파적합기기로서판매자또는사용자는 이점을주의하시기바라며,가정외의지역에서사용하는것을목적으로 합니다

**注**: この注意事項は韓国にのみ適用されます。詳細については、Arcserve サ ポート (<u>https://www.arcserve.com/support</u>) までお問い合わせいただくか、 0079885215375 (韓国) までお電話ください。

- アプライアンスに同梱されている内容をチェックして破損がないことを確認します。破損の証拠がある場合は、すべてのパッケージ資材を保持してArcserve サポートにご連絡ください: <u>https://www.arcserve.com/support</u>。
- アプライアンスを格納するラックユニットの適切な場所を決定します。これは、 よく換気され、ごみなどがない清潔かつ無塵の領域に配置する必要があります。熱、電気的ノイズ、電磁場が生じる場所は避けてください。
- また、接地された電源コンセントが少なくとも1つある場所の近くに配置する 必要があります。モデルによっては、アプライアンスに1つの電源または冗長電 源装置のいずれかが含まれており、2つの接地されたコンセントが必要になり ます。
- アプライアンスは、限られた場所でのみ使用するものです。
  - 場所に適用される制限の理由および従うべき注意事項について指示 されているユーザまたはサービス担当者からアクセスを得ることができます。
  - アクセスするには、ツールまたはロックおよびキー、セキュリティの別の手段によって与えられ、その場所に責任を持つ担当者によって制御されます。
- アプライアンスから取り外した上部のカバーやコンポーネントは、誤って踏むことがないようにテーブルの上に置きます。

- アプライアンスを使用して作業する際は、ネクタイや袖のボタンを留めていない シャツなどゆるやかな服装は避けてください。そのような服装は、電子回路に 触れたり、冷却ファンに巻き込まれたりする可能性があります。
- 宝飾品や金属のものは、金属導体であり、プリント基板(PCB)または電流が 流れている場所に接触すると、ショートしたり損傷を生じさせたりする可能性 があるため、身に付けないでください。
- アプライアンスの内部にアクセスし、すべての接続が行われたことを確認したら、アプライアンスを閉じて、留めねじでラックユニットに固定します。

#### 電気に関する安全のための注意事項

以下の電気安全に関する注意事項に従い、安全に注意を払い、またアプライア ンスを障害や誤動作から保護する必要があります。

- アプライアンス上の電源オン/オフのスイッチの場所と、部屋の緊急電源遮断 スイッチ、切断スイッチ、電源コンセントの場所を確認します。電気的事故が 発生した場合は、アプライアンスから電力を素早く切断することができます。
- 高電圧の部品を扱う場合は、1人で作業しないでください。
- システムの主要部品(サーバボード、メモリモジュール、DVD-ROM、フロッピードライブなど)を取り外したり配置したりする場合は、必ずアプライアンスから電力を切断する必要があります(ホットスワップ可能なドライブには必要ありません)。電力を切断する場合は、最初にオペレーティングシステムでアプライアンスの電源を切り、次にアプライアンスのすべての電源モジュールから電源コードのプラグを抜きます。
- 露出している電子回路の周りで作業する場合、電源切断の制御に慣れている別の担当者が待機し、必要に応じて電源スイッチをオフにする必要があります。
- 電源がオンになっている電子機器を扱う場合は、片手のみを使用します。これは、完全に閉じられた回路を防ぐためです。完全な回路は電気ショックを引き起こす可能性があります。金属のツールを使用する場合、電子部品や回路基板に接触すると簡単に損傷を与える可能性があるため、特に注意します。
- 感電からの保護として静電気を軽減するために設計されたマットは使用しないでください。代わりに、電気絶縁体として特別に設計されているゴムのマットを使用します。
- 電源装置の電源コードには、アース端子付きプラグが含まれている必要があり、アース接地用コンセントに接続する必要があります。
- サーバボード バッテリ: 注意 オンボード バッテリの上下を逆に設置すると、極性が逆になり、爆発の危険があります。このバッテリは、メーカによって推奨されるのと同じ種類または同等の種類でのみ置き換える必要があります。メーカの指示に従って使用済みバッテリを破棄します。
- DVD-ROM レーザー: 注意 このサーバには、DVD-ROM ドライブが装備されている場合があります。レーザービームへの直接の露出および有害な放射線被ばくを回避するため、筐体を開いたり、通常とは異なる方法でユニットを使用したりしないでください。

#### FCC コンプライアンス

このアプライアンスは、FCC 規則の Part 15 に準拠しています。以下の条件に従って運用される必要があります。

- このアプライアンスは、有害な干渉を引き起こしません
- このアプライアンスは、受け取った干渉を受け入れる必要があります(意図しない操作を発生させる可能性がある干渉を含む)

**注**: この機器はテストされ、クラス A のデジタル機器の制限に従っており、FCC 規 則の Part 15 に準拠していることが検証されています。これらの制限は、機器が商 用目的で運用された場合に有害な干渉に対して適切な保護を提供するように 設計されています。この機器は、電磁波を発生および利用し、外部に放射する ことがあり、正式な手順に従って設置および使用されない場合は、無線通信に 有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地域でこの機器を稼働させる と、有害な干渉が発生する可能性があり、ユーザは自らの費用負担で干渉を是 正する必要があります。

#### 静電気放電(ESD)に関する注意事項

静電気放電(ESD)は、異なる電荷の2つの物体が互いに接触することによって 生じます。静電気は、この電荷の違いを中和しようとして発生し、電子部品やプ リント回路基板に損傷を与える可能性があります。ESDに敏感なデバイスには、 サーバボード、マザーボード、PCIeカード、ドライブ、プロセッサ、メモリカードなどが あり、特殊な扱いが必要となります。接触する物体の電荷の違いを中和するた めの努力として、接触前に以下の注意事項に従い、機器をESDから保護しま す。

- 電気絶縁体として特別に設計されているゴムのマットを使用します。感電からの保護として静電気を軽減するために設計されたマットは使用しないでください。
- 静電気の放電を防ぐように設計されている接地されたリストストラップを使用します。
- 帯電または放電(ESD)を予防する洋服または手袋を使用します。
- すべての部品およびプリント回路基板(PCB)は、使用するまで静電気防止 バッグに入れておきます。
- 基盤を静電気防止バッグから取り出す前に、接地されたメタルオブジェクトに触れます。
- 部品または PCB が洋服に触れないようにします。触れた場合は、リストストラップを装着していても静電気を帯びる可能性があります。
- ボードを扱う際は、その端のみに触れるようにします。その部品、周辺チップ、 メモリモジュール、接点に触れないでください。
- チップまたはモジュールを扱う場合、そのピンに触れないようにします。
- サーバボードおよび周辺機器を使用しない場合は静電気防止バッグに戻します。
- 接地目的のため、アプライアンスが、電源、ケース、マウントファスナー、サーバボード間で優れた伝導性を提供することを確認します。

#### Arcserve アプライアンス 10000 シリーズのファームウェア のアップグレード

このセクションでは、以下の実行方法について説明しています。

#### ファームウェアのバージョンの表示

このセクションでは、最新のファームウェアのバージョンを表示する方法について説明します。

#### 以下の手順に従います。

 Web ブラウザを開き、IPMI (インテリジェント プラットフォーム管理インター フェース)の静的 IP を入力します。

[レグイン] 画面が表示されます。

- 2. 以下のようにログイン認証情報を入力します。
  - **\* ユーザ名:**ADMIN。

注: ユーザ名は大文字である必要があります。

- パスワード: BMC パスワードを入力します。
- 3. **[ クブイン**]をクリックします。

SUPERM	IICR
Username	
Password	•
Login	
Copyright © 2024 Supe	ermicro Computer, Inc.

IPMI Web サーバインターフェースが表示されます。

注: BMC/IPMI 固有のパスワードは、サーバの前面パネルにある引き出し式 タグで確認できます。BMC パスワードは、BMC/IPMI MAC アドレスのすぐ下の 行に記載されています。



[ダッシュボード]画面の [レステム]にファームウェアのバージョンが表示されます。

			Hill Weitzung back I 🙎
Broken     System     System	Press         0.0         0.0           0.1%         0.0         0.0         0.0           0.1%         0.0 <th>Ket Met Mart Halana Mart Halana Mart Halana</th> <th>Ci Canazzi Conservational Co</th>	Ket Met Mart Halana Mart Halana Mart Halana	Ci Canazzi Conservational Co
			Handa Canada Pavaka Mata Jung da Canada Para San Mata San Mata San Mata San Mata S

## ファームウェア アップグレード パッケージのダウンロード

このセクションでは、最新のファームウェア バージョンをダウンロード する方法 につい て説明します。

以下の手順に従います。

**注:** Supermico Web サイトから最新のファームウェア更新パッケージをダウンロード するか、Supermicro サポートにお問い合わせください。

- 1. Supermicro Web サイトにアクセスします。
- 2. BMC リストで、サーバ 1U (X13SEW-F) または 2U (X13DEI-T) のマザーボー ド モデルを検索し、ファームウェア更新をダウンロードします。

BMC List

									Motherboard BIOS List
Show 25 v entri	es							Search:	
Model		Rev		Download ZIP 1		Release Notes	Description		¢
X13SEDW-F		X13SEDV F_2.5_AS0 3.31_SAA 0-p1	V- 11.0 1.1.	<u>X13SEDW-F 2.5 AS01.03.31 SAA1.1.0-</u> pl_zip			Bundle		
X14SBT-GAP		X14SBT GAP_1.0_/ 1.00.21.20 AA1.1.0-	AS0 )_S )5	<u>X14SBT-GAP 1.0 AS01.00.21.20 SAA1.1.0 p5.zip</u>	<u>0-</u>		Bundle		

3. 選択したマザーボード モデルに対応する **Download Zip 1 ( Zip 1 のダウン** ロード)]をクリックします。

[Ind User License Agreement (使用許諾契約)] ページが表示されます。

4. Accept (同意する)]をクリックして、ダウンロードを開始します。

ファームウェア更新ファイルがダウンロードされ、システムのローカルに保存されます。

注:ファームウェア更新ファイルの種類は、BMSやBIOSなどのデバイスによって異なります。

ファームウェア更新ファイルが正常にダウンロードされました。

ファームウェアのアップグレード

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

#### BMC ファームウェアのアップグレード方法

このセクションでは、BMC ファームウェアのアップグレードについて説明します。 以下の手順に従います。

 Web ブラウザを開き、IPMI (インテリジェント プラットフォーム管理インター フェース)の静的 IP を入力します。

[レグイン] 画面が表示されます。

- 2. 以下のようにログイン認証情報を入力します。
  - **\* ユーザ名:**ADMIN。

注: ユーザ名は大文字である必要があります。

- パスワード: BMC パスワードを入力します。
- 3. [**レグイン**]をクリックします。

SUPERN	AICR
Username	
Password	•
Login	1
Copyright © 2024 Sup	ermicro Computer, Inc.

IPMI Web サーバインターフェースが表示されます。

**注:** BMC の一意のパスワードは、サーバシャーシのサービスタグに記載されています。 BMC パスワードは、 IPMI (インテリジェント プラットフォーム管理インターフェース)の MAC アドレスのすぐ下の行に記載されています。



- 4. **[シンテナンス] > [irmware Management (ファームウェア管理)]** に移動 します。
- 5. 更新]画面で、以下の操作を行います。
  - a. *\$tep 1: Select Type (ステップ1: タイプの選択) ]* で、ファイルフォーマットに **BMC]** を選択します。
  - b. (オプション)必要に応じて、以下の設定の保存オプションを選択し、 **次へ**]をクリックします。
    - Preserve Configuration (設定の保存):
    - <sup>■</sup> Preserve SDR (SDR の保存):
    - Preserve SSL certificate (SSL 証明書の保存):
    - Backup existing BMC image (既存のBMC イメージをバックアップ):

既存の BMC イメージをバックアップするには、 **Backup Existing** BMC Image (既存の BMC イメージをバックアップ)] チェック ボッ クスをオンにします。整合性が失われた場合はいつでも、バック アップ イメージを使用して自動リカバリを実行できます。また、 [インベントリ]ページから BMC を手動で回復することもできま す。



c. *\$tep 2: Select File (ステップ2: ファイルの選択)*]で、 **\$elect File (ファ イルの選択)**]をクリックし、ローカルに保存されたファームウェア更新 ファイルを参照して、 **アップロード**]をクリックします。

**注:** BMC イメージを含めずに アップロード]をクリックすると、次のメッ セージが表示されます: Please select an image file。Click here to return (イメージ ファイルを選択してください。ここをクリックして戻りま す)。



d. *\$tep 3: File Version (ステップ3: ファイルのバージョン) ]* で、既存および新規のファームウェアバージョンを確認し、 **更新]** をクリックします。

Oresteard						
Applem a	Uptile Interface					
D Configuration -	Blap 1 : Balact Type					
and a second second	Choose Pile Pornat	-				
Fernance Banagement	• • •					
Troubechooling	8H0 804 04,0	Piters 1021 041000 041070				
Maintenance Roard Log	Comp Residence					
Literon Autoritor	a descent of the					
Test List	E Passa 104					
0	Hig 2: Select Pie	East OF	Playar.			
	Step 3 : Pile Version					
	Same .	Existing thesises		les.	arsise.	
	exc.	01.21.12		11.2	4	
		famal			upode	

注:

ほとんどのファームウェア更新では、システムのプロンプトに従ってマザー ボードをシャットダウンする必要があります。マザーボードをシャットダウンした後、更新を続行できます。 ファームウェア BMC の更新処理をキャンセルすると、アップグレードを中止するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
 DK]をクリックすると BMC がリセットされ、「BMC is restarting (BMC を再起動しています)」というメッセージが表示されます。データの損失を防ぐため、確認後、BMC がオンラインに戻るまで電源を切断しないでください。



ファームウェアの更新が完了した後、Webブラウザの更新に時間がかかる場合があります。ログイン時に再起動メッセージが1~2分間表示される場合があります。

BMC のファームウェア アップグレード が正常に完了しました。

#### BIOS ファームウェアのアップグレード方法

BIOS ファームウェアをアップグレードするには、以下の手順に従います。

1. Web ブラウザを開き、IPMI ( インテリジェント プラット フォーム管 理 インター フェース) の静的 IP を入力します。

[レグイン] 画面が表示されます。

- 2. 以下のようにログイン認証情報を入力します。
- ユーザ名: ADMIN。

**注:** ユーザ名は大文字である必要があります。

- パスワード: BMC パスワードを入力します。
- 5. **[ クブイン**]をクリックします。

SUPERM	ICR
Username	
Password	۲
Login	
Copyright © 2024 Supe	ermicro Computer. Inc.

IPMI Web サーバインターフェースが表示されます。

**注:** BMC の一意のパスワードは、サーバシャーシのサービスタグに記載されています。BMC パスワードは、IPMI (インテリジェント プラットフォーム管理インターフェース)の MAC アドレスのすぐ下の行に記載されています。



- 6. **[シンテナンス] > [irmware Management (ファームウェア管理)]** に移動 します。
- 7. 更新]画面で、以下の操作を行います。

- a. *\$tep 1: Select Type (ステップ1: タイプの選択) ]* で、ファイルフォーマットに **BIOS]** を選択します。
- b. (オプション)必要に応じて、以下の設定の保存オプションを選択し、 **次へ**]をクリックします。
  - <sup>■</sup> Preserve SMBIOS (SMBIOS の保存)
  - Preserve OA (OA の保存)
  - <sup>■</sup> Preserve SMBIOS (SMBIOS の保存)
  - Preserve BIOS Setup Configuration (BIOS セットアップ設定の保存)
  - Preserve BIOS Setup Password (BIOS セットアップ パスワードの保存)
  - Preserve BIOS Setup Secure Boot Keys (BIOS セットアップ セキュ アブート キーの保存)
  - Preserve BIOS Setup Options Configuration (BIOS セットアップオ プション設定の保存)
  - Backup Existing BIOS Image (既存のBIOS イメージをバックアップ):既存のBIOS イメージをバックアップするには、 Backup Existing BIOS Image (既存のBIOS イメージをバックアップ)]
     チェックボックスをオンにします。整合性が失われた場合はいつでも、バックアップ イメージを使用して自動リカバリを実行できます。また、 [インベントリ]ページからBIOS を手動で回復することもできます。
- c. 以下のいずれかを選択します。
  - **Next-boot Update (次回の起動時に更新)**: BIOS ファームウェ アの更新は、システムの再起動後にスケジュールされます。

**注:** スケジュールされた次回の起動時の更新をキャンセルする 場合は、 [ask List (タスクリスト)]ページの削除オプションを使 用します。

- Immediate Update (即時更新): BIOS ファームウェアの更新が すぐに開始されます。
- d. *\$tep 2: Select File (ステップ2: ファイルの選択)*]で、 *\$elect File (ファ イルの選択)*]をクリックし、ローカルに保存されたファームウェア更新 ファイルを参照して、 *アップロード*]をクリックします。

**注:** BIOS イメージを含めずに アップロード]をクリックすると、次のメッセージが表示されます: Please select an image file。Click here to

return (イメージ ファイルを選択してください。ここをクリックして戻ります)。



e. *\$tep 3: File Version (ステップ3: ファイルのバージョン)*] で、既存の ファームウェア バージョンと新しいファームウェア バージョンを確認し、 **更新**] をクリックします。



- 注:
  - ほとんどのファームウェア更新では、システムのプロンプトに従ってマザー ボードをシャットダウンする必要があります。マザーボードをシャットダウンした後、更新を続行できます。
  - ファームウェア BIOS の更新処理をキャンセルすると、アップグレードを中止するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
     DK]をクリックするとBIOS がリセットされ、「BIOS is restarting (BIOS を再起動しています)」というメッセージが表示されます。データの損失を防ぐため、確認後、BIOS がオンラインに戻るまで電源を切断しないでください。



ファームウェアの更新が完了した後、Web ブラウザの更新に時間がかかる場合があります。ログイン時に再起動メッセージが1~2分間表示される場合があります。

BIOS のファームウェア アップグレードが正常に完了しました。

#### 更新されたファームウェアの確認

このセクションでは、ファームウェア更新の進捗状況を確認する方法について説明します。

#### 以下の手順に従います。

- 1. IPMI Web サイトにログインします。
- 2. 【シンテナンス] > 【ask List (タスクリスト)】に移動します。

[ask List (タスクリスト)]画面に、システムで実行されているメンテナンス処理が表示されます。



3. ログを確認し、ファームウェア更新のステータスと進捗状況を確認します。

[ask List (タスクリスト)] 画面には、ファームウェア更新ジョブの以下の詳細が表示されます。

- Health Status (健全性ステータス): 現在のタスクの健全性ステータス が表示されます。
- Task Name (タスク名): タスクの名前が表示されます。
- 状態:現在の状態の値(実行中、完了、または失敗)が表示されます。
- 進捗状況:現在実行中のタスクの進捗状況が表示されます。

注:管理者は、保留中のBMCおよびBIOSファームウェアの更新をキャンセルできます。キャンセルするには、 [ask List (タスクリスト)]の下の [Abort pending Task (保留中のタスクを中止)] オプションをクリックします。

### 第11章: Arcserve アプライアンス 9000 シリーズのファー ムウェアのアップグレード

このセクションには、以下のトピックが含まれます。 Arcserve アプライアンス 9000 シリーズの BIOS ファームウェアのアップグレード Arcserve アプライアンス 9000 シリーズの iDRAC ファームウェアのアップグレード 232

#### Arcserve アプライアンス 9000 シリーズの BIOS ファーム ウェアのアップグレード

このセクションでは、以下について説明しています。

#### ファームウェアのバージョンの表示

このセクションでは、最新のファームウェアのバージョンを表示する方法について説明します。

以下の手順に従います。

 Web ブラウザを開き、IPMI (インテリジェント プラットフォーム管理インター フェース)の静的 IP を入力します。

[レグイン] 画面が表示されます。

- 2. 以下のようにログイン認証情報を入力します。
  - ユーザ名: ADMIN。

注: ユーザ名は大文字である必要があります。

- パスワード: BMC パスワードを入力します。
- 3. [**レグイン**]をクリックします。

SUPERM	ICR
Username	
Password	•
Login	
Copyright © 2024 Supe	rmicro Computer, Inc.

IPMI Web サーバインターフェースが表示されます。

注: BMC/IPMI 固有のパスワードは、サーバの前面パネルにある引き出し式 タグで確認できます。BMC パスワードは、BMC/IPMI MAC アドレスのすぐ下の 行に記載されています。



「ダッシュボード]画面の [レステム]にファームウェアのバージョンが表示されます。



# 方法 1: iDRAC Web インターフェースから BIOS ファーム ウェアのバージョンを表示する

以下の手順に従います。

- 1. iDRAC Web インターフェースに移動します。
- 2. ログインするには、以下のように入力します。
  - ユーザ名: root
  - パスワード: ARCADMIN

Integrated Remote Acco	ess Controller 9   Enterpr	ise				
🏠 Dashboard 🔠 System	m∨ 🛢 Storage∨	$\blacksquare$ Configuration $\lor$	$\blacksquare$ Maintenance $\lor$	0, iDRAC Settin		
Dashboard						
Graceful Shutdown     -     O Identify System     More Actions -						
Health Information		System Infe	ormation			
OVOTEM		Power State	ON			
STSTEM	IS REALTER	Model				
System Health	Storage Health	Host Name	APPLIANCE9144			
Healthy Details	Healthy Details	Operating System	Windows Server 20	016		
		Operating System Version	10.0			
		Service Tag	5Q6PHQ2			
		BIOS Version	1.4.9			
		iDRAC Firmware Version	3.21.21.21			
		IDDAC MAC Addre	And a state of the second			

iDRAC ダッシュボード ページには、BIOS ファームウェア バージョンを含む システム情報が表示されます。

## 方法 2: BIOS Arcserve Appliance 9000 シリーズから BIOS ファームウェア バージョンを表示する

- 1. システムが起動したら、F11キーを押してセットアップに入ります。
- BIOS バージョンを表示するには \$ystem Setup] [DRAC Settings] または \$ystem BIOS]に移動します。

System Setup	Hei	lp   About   Exit
iDRAC Settings		
IDRAC Settings • System Summary		
SERVER INFORMATION		
System Model		
BIOS Version	1.6.11	
iDRAC Firmware Version	3.21.23.22 (Build 7)	
iDRAC License	Enterprise	
IPMI Version	2.00	
CURRENT IDRAC NETWORK SETTINGS		
IDRAC MAC Address	D0:94:66:7A:D7:B2	
NIC Selection Mode	Dedicated	
Current IPv4 Settings		
IPv4 Enabled	Yes	
DHCP Enabled	Yes	

このページにはファームウェアのバージョンが表示されます。

System Setup	Help   About	Exit
iDRAC Settings		
iDRAC Settings · System Summary		
SERVER INFORMATION		
System Model		
BIOS Version	1.4.9	
iDRAC Firmware Version	3.21.21.21 (Build 30)	
iDRAC License	Enterprise	
IPMI Version	2.00	
CURRENT IDRAC NETWORK SETTINGS		
iDRAC MAC Address	54:48:10:FB:C5:20	
NIC Selection Mode	Dedicated	
Current IPv4 Settings		
IPv4 Enabled	Yes	
DHCP Enabled	No	

# BIOS の更新されたパッケージのダウンロード

<u>Dell</u>の Web サイト から特定の Arcserve アプライアンス 9000 シリーズ モデルの最新の BIOS ファームウェア パッケージをダウンロード するか、Arcserve サポート にお問い合わせください。

#### BIOS のアップグレード

- 1. アップグレード パッケージを Arcserve アプライアンス 9000 シリーズのローカル ディスクにコピーします。
- アップグレード パッケージを起動し、画面の指示に従ってアップグレードを 完了します。
- 3. 更新を完了するには、システムを再起動します。

		Server BIOS R440/R540/T440 Version 1.6.11	
Reboo	t		×
0	Device: Taurus BIOS, The BIOS image file system, till the BIOS u takes several minutes the OMSA data mana The system should bu Would you like to ret	Application: BIOS is successfully loaded. Do not shut down, cold reboot, pow pdate is complete otherwise the system will be corrupted o and it may be unresponsive during that time. Note: If OMS ger service stops if it is already running. It restarted for the update to take effect. boot your system now?	er cycle, or turn off the r damaged. Bios update A is installed on the system,
		Yes No	
		Elapsed time: 0m52s	

**注:** アップグレード プロセスを開始する前に、すべてのアプリケーションが閉じられていることを確認してください。

EIOS Viresore 14.0 Updating BIOS From 14.9 To 2.2.11 EIOS update wit tale several immuter, Please wath DO NOT POWER DOWN THE SYSTEM	

#### 更新されたファームウェアの確認

このセクションでは、ファームウェア更新の進捗状況を確認する方法について説明します。

- 1. IPMI Web サイト にログインします。
- 2. 【シンテナンス] > 【ask List (タスクリスト)】に移動します。

[ask List (タスクリスト)]画面に、システムで実行されているメンテナンス処理が表示されます。



3. ログを確認し、ファームウェア更新のステータスと進捗状況を確認します。

[ask List (タスクリスト)] 画面には、ファームウェア更新ジョブの以下の詳細が表示されます。

- Health Status (健全性ステータス): 現在のタスクの健全性ステータス が表示されます。
- Task Name (タスク名): タスクの名前が表示されます。
- 状態:現在の状態の値(実行中、完了、または失敗)が表示されます。
- 進捗状況:現在実行中のタスクの進捗状況が表示されます。

注:管理者は、保留中のBMCおよびBIOSファームウェアの更新をキャンセルできます。キャンセルするには、 [ask List (タスクリスト)]の下の [Abort pending Task (保留中のタスクを中止)] オプションをクリックします。

#### システムログを使用して更新された BIOS を確認する

- 1. iDRAC にログインし、 [Maintenance] \$upportAssist] \$tart a Collection] に移動します。
- 2. ログを確認し、更新プロセス中にエラーがないことを確認します。

5CTNHQ2 > Hardwa	re → Logs → Lifecyd	le Log		
	2019-08-29 15:40:34	USR0032	The session for root from 10.57.12.37 using GUI is logged off.	
	2019-08-29 15:10:35	SRV088	The SupportAssist Save to Local operation is successfully completed.	
	2019-08-29 15:10:34	SRV002	The SupportAssist Save to Local operation is started.	
	2019-08-29 15:10:20	SRV108	The SupportAssist job JID_670625874264 is completed.	
	2019-08-29 15:10:20	SRV088	The SupportAssist Collection operation is successfully completed.	
	2019-08-29 15:10:20	SRV096	The SupportAssist Collection TSR20190829021014_5CTNHQ2.zip is successfully created.	
	2019-08-29 15:10:13	SRV007	The SupportAssist System information collection operation is successfully completed.	
	2019-08-29 15:10:13	LOG009	The current Lifecycle Log is successfully created for the view or export operation.	
	2019-08-29 15:10:07	LOG008	The complete Lifecycle Log was successfully created for an export operation.	
	2019-08-29 15:09:47	SRV006	The SupportAssist System information collection operation is started.	
	2019-08-29 15:09:47	SRV001	The SupportAssist Collection operation is started by iDRAC_GUI.	
	2019-08-29 15:09:47	SRV106	The Debug Logs are excluded from the SupportAssist collection because the Collection data is being filtered information.	for personally identifiable
	2019-08-29 15:09:47	SRV107	The Storage Logs are excluded from the SupportAssist collection because the Collection data is being filtere information.	d for personally identifiable
	2019 00 29 15:09:17	SRV007	The Support/asist Collection Job JID_070625074264 is successfully created	
	2019-08-29 15:09:25	RAC1195	User root via IP 10.57.12.37 requested state / configuration change to SupportAssist using GUI.	
	2019-08-29 15:08:53	SEL9901	OEM software event.	
	2019-08-29 15:08:53	OSE1002	C: boot completed.	
L	2019-08-29 15:08:46	PR36	Version change detected for BIOS firmware. Previous version: 1.6.11, Current version: 2.2.11	

### iDRAC Web インターフェースまたは BIOS から更新され た BIOS を確認する

iDRAC Web インターフェースにログインするか、システム BIOS に入って、更新された BIOS ファームウェア バージョンを確認します。

#### Arcserve アプライアンス 9000 シリーズの iDRAC ファーム ウェアのアップグレード

このセクションでは、以下について説明しています。

#### iDRAC ファームウェア バージョンの表示

iDRAC ファームウェア バージョンを表示するには、以下の方法の方法のいずれかを 使用します。

- 方法 1: iDRAC Web インターフェースから iDRAC ファームウェアのバージョンを 表示する
- 方法 2: BIOS Arcserve Appliance 9000 シリーズから iDRAC ファームウェアの バージョンを表示する

#### iDRAC Web インターフェースから iDRAC ファームウェアの バージョンを表示する

iDRAC Web インターフェースから iDRAC ファームウェアのバージョンを表示するには、 iDRAC Web インターフェースにログインします。

**注:** デフォルトのパスワードをすぐに変更することを強くお勧めします。 デフォルトの パスワードを変更する場合は、「<u>iDRAC パスワードを変更する方法</u>」を参照してく ださい。

Integrated Remote Access Controller 9   Enterprise						
🛉 Dashboard 🔠 Syste	m∨ ≣ Storage∨	Configuration V	$\boxdot$ Maintenance $\checkmark$	0+ iDRAC Settings		
Dashboard						
O Graceful Shutdown	Identify System	More Actions 👻				
Health Information		System Info	rmation	ç		
		Power State	ON			
STSTEM	IS HEALTHY	Model				
System Health	Storage Health	Host Name	APPLIANCE9144			
Healthy Details	Healthy Details	Operating System	Windows Server 20	116		
,	,	Operating System Version	10.0			
		Service Tag	5Q6PHQ2			
		BIOS Version	1.4.9			
		iDRAC Firmware Version	3.21.21.21			
		iDRAC MAC Addres	s 4c:d9.8f.04.c6:a4			

:= 0----ti----

iDRAC ダッシュボードには、iDRAC ファームウェア バージョンを含むシステム情報が表示されます。

# 方法 2: BIOS Arcserve Appliance 9000 シリーズから iDRAC ファームウェアのバージョンを表示する

- 1. システムが起動したら、F11 キーを押してセット アップに入ります。
- iDRAC バージョンを表示するには \$ystem Setup]- [DRAC Settings] または \$ystem BIOS]に移動します。

System Setup	Help   Abo	ut   Exit
IDRAC Settings		
iDRAC Settings • System Summary		
SERVER INFORMATION		
System Model		
BIOS Version	- 16.11	
IDRAC Firmware Version		
iDRAC License	Enterprise	
IPMI Version	- 2.00	
CURRENT IDRAC NETWORK SETTINGS		
iDRAC MAC Address	D0:94:66:7A:D7:B2	
NIC Selection Mode	Dedicated	
Current IPv4 Settings		
IPv4 Enabled	Yes	
DHCP Enabled	Yes	

このページにはファームウェアのバージョンが表示されます。

System Setup		Help   About   Exit
iDRAC Settings		
iDRAC Settings • System Summary		
SERVER INFORMATION		
System Model		
BIOS Version	1.4.9	
iDRAC Firmware Version	3.21.21.21 (Build 30)	
iDRAC License	Enterprise	
IPMI Version	2.00	
CURRENT IDRAC NETWORK SETTINGS		
iDRAC MAC Address	54:48:10:FB:C5:20	
NIC Selection Mode	Dedicated	
Current IPv4 Settings		
IPv4 Enabled	Yes	
DHCP Enabled	No	

#### iDRAC パスワードの変更方法

このセクションでは、iDRAC パスワードの変更方法について説明します。

以下の手順に従います。

- 1. 現在のパスワードで iDRAC にログインします。
- 2. [DRAC の設定] に移動し、 ユーザ]を選択します。

🛉 Dashboard 🗏 System 🗸 🛢 Storage 🗸	🕐 🔟 Configuration 🗸 🔤 Maintenance 🗸	$\bullet_{\circ}$ iDRAC Settings $\smallsetminus$
Dashboard		Overview
Bashboard		Connectivity
❶ Graceful Shutdown 🚽 🕕 Identify System	More Actions 👻	Services
		Users
	System Information	Settings
	System mornation	

3. [DRAC の設定]ページで、 [ocal Users (ローカルユーザ)] ドロップダウン ボックスをクリックし、編集] ボタンをクリックします。

🗎 Dashboard 🗏 System 🗸 🛢 Storage 🗸	🔟 Configuration 🗸 🛛 🖾 Maintenan	ce $\checkmark$	B) op	en Group Manager 🚽	*
iDRAC Settings					
Overview Connectivity Services Users	Settings			C <sup>e</sup> Refre	sh
✓ Local Users					
≡ Details + Add / Edit ⊖ Disable	T Delete				
ID Vuser Name State Use	er Role IPMI LAN Privilege	IPMI Serial Privilege	Serial Over LAN	SNMP v3	
2 root Enabled Adr					r

[dit User (ユーザの編集)]ダイアログボックスが表示されます。

注:ユーザの役割は管理者のままにしておくことをお勧めします。

E	dit User			0
U	ser Configuration SSH Key Configuration	ns Smart Card Configuration		
U	ser Account Settings			^
	ID	2		U.
	User Name*	admin		
	Password*			
	Confirm Password*	•••••		
	User Privileges			
	User Role	Administrator 🗸		
	Login to iDRAC	✓ Configure iDRAC	✓ Configure Users	
	Clear Logs	Control and Configure System	<ul> <li>Access Virtual Console</li> </ul>	
	Access Virtual Media	Test Alerts	<ul> <li>Execute Debug Commands</li> </ul>	D Ac

iDRACパスワードが正常に変更されました。

## iDRAC の更新されたパッケージのダウンロード

Dell の Web サイトから特定の Arcserve アプライアンス 9000 シリーズ モデルの最新の iDRAC ファームウェア パッケージをダウンロードするか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

#### iDRAC のアップグレード

以下の手順に従います。

- 1. アップグレード パッケージを Arcserve アプライアンス 9000 シリーズのローカル ディスクにコピーします。
- アップグレード パッケージを起動し、画面の指示に従ってアップグレードを 完了します。

**注:** アップグレード プロセスを開始する前に、すべてのアプリケーションが閉じられていることを確認してください。

iDRAC with Lifecycle Controller 3.34.34.34, A00
Success X
Device: iDRAC, Application: iDRAC Update Successful.
The update completed successfully.
OK
Elapsed time: 6m13s

3. アップグレード プロセス中、iDRAC と仮想コンソールが数分間切断されま す。iDRAC にログインし、仮想コンソールを再起動します。これでアップグ レードが完了しました。

ntegrated Remote Access Controller 9   Enterprise						
R Dashboard	≣ System∨ 🛛 🗃 Stor	age 🗸 🛛 🖬 Configurat	ion $\vee$	nance 🗸 🦳 🗣 iDRAC Settings 🗸	/	
Dashboar	rd					
O Graceful Shutdown         •              • Identify System          More Actions •						
III Health Information II System Information						
	Power State ON					
	STSTEM	IS HEALTHY		Model		
System Health		Storage Health		Host Name	WIN-SUQL6R8CBIC	
S Healthy	Details+	S Healthy	Details+	Operating System	Microsoft Windows 2016 Server, Standard x64 Edition	
				Operating System Version	Version 10.0 (Build 17763) (x64)	
				Service Tag	\$Q\$AHQ2	
				BIOS Version	2.2.11	
				IDRAC Firmware Version	3.34.34.34	
				IDRAC MAC Address	54.48.10.fb.c5.20	

#### 更新された iDRAC の確認

以下の方法のいずれかを使用します。

- システムログを使用して更新されたiDRACを確認する
- iDRAC Web インターフェースまたは BIOS から更新された iDRAC を確認する

# システム ログを使用して更新された iDRAC を確認する

- 1. iDRAC にログインし、 [Maintenance] > \$upportAssist] > \$tart a Collection] に移動します。
- 2. ログを確認し、更新プロセス中にエラーがないことを確認します。

SCINHQ2 > Hards	ware > Logs > Lifecyc	king	
2010/07/00/22 14:00	2010-00-01 100124	090002	Las Report to Look train 1994, TS94, epidloor, publies out
	2019-08-29 09:31:51	VME0007	Virtual Console session created.
	2019-08-29 09:31:51	VM60001	Virtual Conscie session started.
	2019-00-29 09:31:51	USR0030	Successfully logged in using root, from 10.57.12.37 and Wintual Console.
	2019-08-29 09:31-45	USR0030	Successfully logged in using root, from 50.57.12.37 and GUR.
	2019-08-29-09-28-22	RAC0721	Remote share mounted successfully //30.57.25.8/tool/clonez/lla/clonez/lla/binez/
	2019-08-29 09:20:56	DI\$002	Auto Discovery feature disabled.
_	2019-08-29 09:28:15	IPA0500	The IDRAC IP Address changed from 0.0.0.0 to 10.57.25.23.
	2019-08-29 09:28:54	FR36	Version-change detected for Lifecycle Controller firmware. Previous version:3.21.23.22, Current version:3.34.34.34
	2019-08-29 09:28:12	RAC0182	The IDRAC firmware was reboated with the following reasons user initiated.
	2019-00-29 09:27:22	PSU0800	Power Supply 2: Status = Dx5, IOUT = Dx0, VOUT= Dx0, TEMP= Dx0, FAN = Dx0, INPUT= Dx0.
	2019-08-29 09:27:22	PSU0800	Power Supply 1: Status + Dx5, IOUT + Dx0, VOUT + Dx0, TEMP+ Dx0, FAN + Dx0, INPUT+ Dx0.
	2019-08-29 09:25:58	SUP1906	Firmware update successful.
	2019-08-29 09:24:23	SJP1905	Firmware update programming flash.
	2019-00-29 09:24:22	SUP1903	Firmware update verify image headers.
	2019-08-29 09:24:55	5UP1904	Firmware update checkoumming image.
	2019-08-29 09:24:55	SJP1911	Firmware update initialization complete.
	2019-08-29 09:24:55	SUP1901	Firmware update initializing.
	2019-08-29 09:02:59	LOG203	Lifecycle Log anchived up to Log Sequence number 5491.
	2019-08-29 09:02:56	SEL9901	OEM software event.
	2019-08-29 09:02:55	OSE1002	C: boot completed.
	2019-08-29 08:42:22	5Y51003	System CPU Resetting.
	2019-08-29 08:42:57	5Y51000	System is turning on.
	2019-08-29 08:42:07	SYS1001	System is turning off.
	2019-08-29 08-42-07	SYS1003	System CPU Resetting.
	2019-08-29 08:40:28	LOG009	The current Lifecycle Log is successfully created for the view or export operation.

# iDRAC Web インターフェースまたは iDRAC から更新された BIOS を確認する

iDRAC Web インターフェースにログインするか、システム BIOS に入って、更新された BIOS ファームウェア バージョンを確認します。

# Arcserve アプライアンス X シリーズのファームウェアの アップグレード

このセクションでは、以下について説明しています。

# Arcserve アプライアンス X シリーズの BIOS ファームウェ アのアップグレード

このセクションでは、以下について説明しています。

## BIOS ファームウェア バージョンの表示

BIOS ファームウェア バージョンを表示するには、以下の方法の方法のいずれかを 使用します。

- 方法 1: iDRAC Web インターフェースから BIOS ファームウェアのバージョンを表示する
- 方法 2: BIOS Arcserve アプライアンス X シリーズから BIOS ファームウェア バー ジョンを表示する

#### 方法 1: iDRAC Web インターフェースから BIOS ファーム ウェアのバージョンを表示する

- 1. iDRAC Web インターフェースに移動します。
- 2. ログインするには、以下のように入力します。
  - ユーザ名: root
  - パスワード: ARCADMIN

Integrated Remote Acce	ess Controller 9   Enterpris	se					
🕈 Dashboard 🗏 System	m∨ 🛢 Storage∨	Configuration V	🖂 Maintenance 🗸	0, iDRAC Settin			
Dashboard							
O Graceful Shutdown - I Identify System More Actions -							
Health Information	Health Information						
		Power State	ON				
STSTEM	IS HEALTHY	Model					
System Health	Storage Health	Host Name	APPLIANCE9144				
Healthy Details	Healthy Details	Operating System	Windows Server 201	6			
<b>_</b> ((0,0))		Operating System Version	10.0				
		Service Tag	5Q6PHQ2				
		BIOS Version	1.4.9				
		iDRAC Firmware Version	3.21.21.21				
		iDRAC MAC Address	s 4c:d9.8f.04:c6:a4				

iDRAC ダッシュボード ページには、BIOS ファームウェア バージョンを含む システム情報が表示されます。

# 方法 2: BIOS Arcserve アプライアンス X シリーズから BIOS ファームウェア バージョンを表示する

- 1. システムが起動したら、F11キーを押してセットアップに入ります。
- 2. BIOS バージョンを表示するには \$ystem Setup]- [DRAC Settings] または \$ystem BIOS] に移動します。

System Setup	Help   About   Exit
iDRAC Settings	
iDRAC Settings • System Summary	
SERVER INFORMATION	
System Model	
BIOS Version	1.6.11
iDRAC Firmware Version	3.21.23.22 (Build 7)
iDRAC License	Enterprise
IPMI Version	2.00
CURRENT IDRAC NETWORK SETTINGS	
IDRAC MAC Address	D0:94:66:7A:D7:B2
NIC Selection Mode	Dedicated
Current IPv4 Settings	
IPv4 Enabled	Yes
DHCP Enabled	Yes

このページにはファームウェアのバージョンが表示されます。

System Setup		Help   About   Exi
iDRAC Settings		
iDRAC Settings • System Summary		
SERVER INFORMATION		
System Model		
BIOS Version	1.4.9	
iDRAC Firmware Version	3.21.21.(Build 30)	
IDRAC License	Enterprise	
IPMI Version	2.00	
CURRENT IDRAC NETWORK SETTINGS		
IDRAC MAC Address	54:48:10:FB:C5:20	
NIC Selection Mode	Dedicated	
Current IPv4 Settings		
IPv4 Enabled	Yes	
DHCP Enabled	No	

# BIOS の更新されたパッケージのダウンロード

Dell の Web サイトから特定の Arcserve アプライアンス X シリーズ モデルの最新の BIOS ファームウェア パッケージをダウンロードするか、Arcserve サポートにお問い合 わせください。

#### BIOS のアップグレード

以下の手順に従います。

- 1. アップグレード パッケージを Arcserve アプライアンス X シリーズのローカル ディスクにコピーします。
- 2. アップグレード パッケージを起動し、画面の指示に従ってアップグレードを 完了します。
- 3. 更新を完了するには、システムを再起動します。

	Server BIOS R440/R540/T440 Version 1.6.11				
Reboot	t			$\times$	
Device: Taurus BIOS, Application: BIOS The BIOS image file is successfully loaded. Do not shut down, cold reboot, power cycle, or turn off the system, till the BIOS update is complete otherwise the system will be corrupted or damaged. Bios update takes several minutes and it may be unresponsive during that time. Note: If OMSA is installed on the system, the OMSA data manager service stops if it is already running. The system should be restarted for the update to take effect.					
Would you like to reboot your system now?					
		Yes	No		
			Elapsed time: 0m52s		

240 Arcserve アプライアンス ユーザ ガイド
**注:** アップグレード プロセスを開始する前に、すべてのアプリケーションが閉じられていることを確認してください。



### 更新された BIOS の確認

以下の方法のいずれかを使用します。

- システムログを使用して更新されたBIOSを確認する
- iDRAC Web インターフェースまたは BIOS から更新された BIOS を確認する

### Arcserve アプライアンス X シリーズの iDRAC ファームウェ アのアップグレード

このセクションでは、以下について説明しています。

### iDRAC ファームウェア バージョンの表示

iDRAC ファームウェア バージョンを表示するには、以下の方法の方法のいずれかを 使用します。

- 方法 1: iDRAC Web インターフェースから iDRAC ファームウェアのバージョンを 表示する
- <u>方法 2: BIOS Arcserve アプライアンス X シリーズから iDRAC ファームウェア</u> バージョンを表示する

### 方法 1: iDRAC Web インターフェースから iDRAC ファー ムウェアのバージョンを表示する

- 1. iDRAC Web インターフェースに移動します。
- 2. ログインするには、以下のように入力します。
  - ユーザ名: root
  - パスワード: ARCADMIN



iDRAC ダッシュボードには、iDRAC ファームウェア バージョンを含むシステム情報が表示されます。

Integrated Remote Acces	s Controller 9   Enterprise		
🕈 Dashboard 🛛 🗏 System	✓ 📓 Storage ✓ 🔲 Cor	nfiguration ${ee}$ ${}$ ${}$ ${}$ ${}$ ${}$ ${}$ Main	tenance $\lor = 0_*$ iDRAC Settings $\lor$
Dashboard			
Graceful Shutdown     +	Identify System More A	- etions	
Health Information		System Inform	ation
	IO LIEATELIN	Power State	ON
STSTEM	IS HEALTHY	Model	
System Health	Storage Health	Host Name	appliance9012
Healthy Details	Healthy Details	Operating System	Microsoft Windows 2016 Server, Stan dard x64 Edition
		Operating System Version	Version 10.0 (Build 14393) (x54)
			5CTNHQ2
		BIOS Version	1.6.11
		IDRAC Firmware Version	3 21 23 22
		IDRAC MAC Address	d0.94.66.7a.d7.b2

### 方法 2: BIOS Arcserve アプライアンス X シリーズから iDRAC ファームウェア バージョンを表示する

- 1. システムが起動したら、F11キーを押してセットアップに入ります。
- iDRAC バージョンを表示するには \$ystem Setup]- [DRAC Settings] または \$ystem BIOS]に移動します。

System Setup	Help   About   I	Exit
iDRAC Settings		
IDRAC Settings • System Summary		
SERVER INFORMATION		
System Model		
BIOS Version	1.6.11	
IDRAC Firmware Version	3.21.23.22 (Build 7)	
iDRAC License	Enterprise	
IPMI Version	2.00	
CURRENT IDRAC NETWORK SETTINGS		
IDRAC MAC Address	D0:94:66:7A:D7:B2	
NIC Selection Mode	Dedicated	
Current IPv4 Settings		
IPv4 Enabled	Yes	
DHCP Enabled	Yes	

このページにはファームウェアのバージョンが表示されます。

System Setup		Help   About   Exit
iDRAC Settings		
iDRAC Settings • System Summary		
SERVER INFORMATION		
System Model		
BIOS Version	1.4.9	
iDRAC Firmware Version	3.21.21.21 (Build 30)	
iDRAC License	Enterprise	
IPMI Version	2.00	
CURRENT IDRAC NETWORK SETTINGS		
iDRAC MAC Address	54:48:10:FB:C5:20	
NIC Selection Mode	Dedicated	
Current IPv4 Settings		
IPv4 Enabled	Yes Yes	
DHCP Enabled	No	

## iDRAC の更新されたパッケージのダウンロード

Dell の Web サイト から特定の Arcserve アプライアンス X シリーズ モデルの最新の iDRAC ファームウェア パッケージをダウンロード するか、Arcserve サポート にお問い合 わせください。

### iDRAC のアップグレード

- 1. アップグレード パッケージを Arcserve アプライアンス X シリーズのローカル ディスクにコピーします。
- アップグレード パッケージを起動し、画面の指示に従ってアップグレードを 完了します。

**注:** アップグレード プロセスを開始する前に、すべてのアプリケーションが閉じられていることを確認してください。

iDRAC with	Lifecycle Controller 3.34.34.34, A00	
	. ►	
Success		×
0	evice: iDRAC, Application: iDRAC Update Successful.	
т	he update completed successfully.	
Burning vali	OK	
Truthing Tak	201011	
	Elapsed time:	6m13s

3. アップグレード プロセス中、iDRAC と仮想コンソールが数分間切断されま す。iDRAC にログインし、仮想コンソールを再起動します。これでアップグ レードが完了しました。

Integrated Remot					
🕈 Dashboard 🔠	System V 😸 Stor	age 🗸 🛛 🖬 Configuration	✓	ice 🗸 — 🗣 iDRAC Settings 🗸 —	
Dashboard					
O Graceful Shutdown	• • Identify S	vstem More Actions •			
III Health Information	tion			i System Information	
		IN LIEATTLY		Power State	ON
	STATEM	IS REALTHY		Model	
System Health		Storage Health		Host Name	WIN-SUQL6R8CBIC
S Healthy	Detailsa	S Healthy	Details+	Operating System	Microsoft Windows 2016 Server, Standard x64 Edition
		- ,		Operating System Version	Version 10.0 (Build 17763) (x64)
				Service Tag	606MH02
				BICS Version	2.2.11
				IDRAC Firmware Version	3.34.34.34
				IDRAC MAC Address	54.48.10 fb c6:20

### 更新された iDRAC の確認

以下の方法のいずれかを使用します。

- システムログを使用して更新されたiDRACを確認する
- iDRAC Web インターフェースまたは BIOS から更新された iDRAC を確認する

# 第12章:トラブルシューティング

このセクションには、以下のトピックが含まれます。	
Linux バックアップ サーバにコンソールから接続できない	246
別のアプライアンスから Arcserve アプライアンスのバックアップを実行すると重複ノード がレポートされる	. 247
Linux バックアップ サーバがネット ワーク内のノードと通信できない	. 248
Linux バックアップ サーバがネット ワーク DNS サフィックスを取得できない	250
アプライアンスのデフォルトのタイム ゾーン	251
ライセンスが利用可能な場合でもライセンスエラーが発生する	. 252

### Linux バックアップ サーバにコンソールから接続できない

#### 現象

Arcserve UDP コンソールから Linux バックアップ サーバに接続しようとすると、接続 に失敗して赤色のマークが表示されます。

#### 解決策

Linux バックアップサーバにコンソールから接続できない場合、接続のトラブルシューティングを行って問題を特定することができます。

#### 接続の問題のトラブルシューティングを行う方法

- 1. Hyper-V マネージャを起動し、Linux バックアップ サーバの仮想マシンに接続 してログインします。
- 2. 以下のコマンドを実行します。

service network restart

3. Linux バックアップサーバに割り当てられている IP アドレスが 192.168.10.2 で あることを確認します。確認するには、次のコマンドを実行します。

ifconfig

- 4. IP アドレスが 192.168.10.2 である場合は、Arcserve UDP コンソールに移動し、接続しようとしている Linux バックアップ サーバノードを更新します。
- 5. IP アドレスが 192.168.10.2 でない場合は、「DHCP Microsoft 管理コンソール (MMC) からのトラブルシューティング」の手順に従います。

DHCP Microsoft 管理コンソール(MMC) からのトラブルシューティング

**重要:**DHCP サーバサービスが、アプライアンス上で適切に実行されていることを確認します。

- 1. サーバマネージャ]- (ソール]- (DHCP)から DHCP MMC を起動します。
- 2. Linux サーバノード、IPV4、スコープを展開し、192.168.10.0 という名前のス コープがその下に存在することを確認します。
- 3. アドレスのリース]を展開し、他のリースレコードの存在を削除します。
- 4. Linux バックアップ サーバにログインし、以下のコマンドを実行します。

service network restart

5. Arcserve UDP コンソールに移動し、接続しようとしている Linux バックアップ サーバノードを更新します。

Linux バックアップ サーバにコンソールから接続できるようになりました。

### 別のアプライアンスから Arcserve アプライアンスのバック アップを実行すると重複ノードがレポートされる

#### 現象

アプライアンス A からアプライアンス B をバックアップすると、アクティビティ ログに以下の警告メッセージが表示されます。

"The following nodes are duplicated: Appliance\_B, Appliance\_A. As a result, they have the same agent identifier and may cause unexpected results. This duplicate node problem can be caused if the node was added using a different node name (such as the DNS name or IP address), or if some machines were set up by cloning from one to another." (次のノードが重複しています: Appliance\_B、Appliance\_A。 その結果、これらのノードに同じエージェント識別子が指定され、予期しない結果 が生じる可能性があります。異なるノード名(DNS 名やIP アドレスなど)を使用し てノードが追加された場合や、別のマシンのクローンを作成してマシンがセットアッ プされた場合に、この重複ノードの問題が発生する可能性があります。)

ケース 1: アプライアンス B が RPS としてアプライアンス A の UDP コンソールに追加 されます。

例:アプライアンス B から、UDP ウィザードを使用してアプライアンスを設定し、 のアプライアンスは、別の Arcserve UDP コンソールによって管理される Arcserve UDP 復旧ポイントサーバのインスタンスとして機能します]を選択できます。

#### 解決策

- 1. UDP コンソールの [RPS] ペインからアプライアンス B のノード内 のデータストアを 停止します。
- 2. アプライアンス B にログインし、[HKEY\_LOCAL\_ MACHINE\SOFTWARE\CA\ARCserve Unified Data Protection\Engine] の下に あるノード ID のレジストリキーを削除します。
- アプライアンス B のノード から Arcserve UDP エージェント Web サービスを再起動します。
- 4. アプライアンス B のノードから Arcserve UDP RPS データストア サービスを再起動します。
- 6. 復旧ポイント サーバ]ペインに移動して、アプライアンス B のノードを更新します。
- 7. アプライアンス B の RPS に元のバックアップ先を設定して、既存のデータストア をインポートします。

ケース 2: アプライアンス B がエージェント ノードとしてのみ、アプライアンス A の UDP コンソールに追加されます。

たとえば、あるプランでは、アプライアンス A の UDP コンソール上 にあるエージェント ベースのバックアップ タスクを使 用してアプライアンス B を保護します。

- 1. アプライアンス B にログインし、[HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Arcserve Unified Data Protection\Engine] の下 にあるノード ID のレジストリキーを削除 します。
- 2. アプライアンス B から Arcserve UDP エージェント サービスを再起動します。

# Linux バックアップ サーバがネット ワーク内のノードと通信できない

#### 現象

Linux バックアップ サーバが、ネット ワーク内のどのノードとも通信できません。

#### 解決策

アプライアンスの Windows Server がネット ワーク内 のどのノード とも通信 できない場合、Linux バックアップ サーバもどのノード とも通信 できません。

#### 以下の手順に従います。

- 1. アプライアンスの Windows Server からノードにアクセスできるかを確認します。
- 2. 以下の場所に移動して、ネットワークアダプタ LinuxBkpSvr が存在しているか を確認します。

[コントロール パネル] - ネットワークとインターネット] - ネットワーク接続]

3. LinuxBkpSvr が存在しない場合、以下の場所に移動し、フラグファイル adapterNameChanged.flag が存在するかを確認します。

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance

存在する場合は、adapterNameChanged.flagファイルを削除します。

4. 以下に示すように、すべての利用可能なネットワークインタフェースと LinuxBkpSvr が、NATに追加されていることを確認します。

すべてのネット ワーク インタフェースと Linux BkpSvr がすでに一覧内にある場合 は、別の物理ネット ワーク インターフェースが異なるサブネット ワークに接続さ れているかどうかを確認します。このアクションにより、Linux バックアップサーバ の通信問題が解決します。 すべてのネットワークインターフェースおよび LinuxBkpSvr が一覧に表示されたら、後続の手順に進みます。

5. 以下の場所で、ファイル dhcpdone.flag を削除します。

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance

6. 以下に示すように、コマンドラインにフォルダ C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance を入力し、 resetdhcp.ps1 を実行します。

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\BIN\Appliance>powershell .\resetdhcp.ps1

スクリプトが正常に実行されると、Linux バックアップサーバの通信問題が解決 されます。

### Linux バックアップ サーバがネット ワーク DNS サフィックス を取得できない

アプライアンス サーバに静的 IP アドレスを設定した場合、ネット ワーク サービスを 再起動した後に Linux バックアップ サーバがネット ワーク DNS サフィックスを正しく取 得できません。この問題によって、Linux バックアップ サーバと UDP コンソールの間の 通信に問題が発生します。通信の問題により、この Linux バックアップ サーバを使 用して Linux ノードを保護することができなくなります。

#### 現象

Linux バックアップ サーバのステータスが、UDP コンソール上で切断状態のままになります。 **リードの更新**]を実行しても Linux バックアップ サーバは正常に更新されず、黄色の警告アイコンは緑色に変化しません。この問題は、アプライアンス サーバに静的 IP アドレスを設定した場合に、Linux バックアップ サーバがネット ワーク DNS サフィックスを正しく取得できないために発生します。

#### 解決策

この問題を解決するには、Linux マシンの file/etc/resolv.conf を直接更新して正しい DNS サフィックスを追加します。

### アプライアンスのデフォルト のタイム ゾーン

#### 現象

デフォルトのタイム ゾーンは、最初にアプライアンスの電源をオンにしたときに選択 した地域に関係なく、(UTC+05:30) チェンナイ、コルカタ、ムンバイ、ニューデリーに なります。

#### 解決策

タイムゾーンを変更するには、 Arcserve Backup アプライアンス ウィザード]に移動し、編集]をクリックして、日付と時刻]を設定します。

### ライセンスが利用可能な場合でもライセンスエラーが 発生する

ライセンスがある場合でもアプライアンスで発生するライセンス関連のエラーの詳細 については、<u>リンク</u>を参照してください。

# 第13章: ベスト プラクティスの適用

このセクションには以下のトピックが含まれます。	
ネットワーク構成に関する推奨事項	
PowerShell コマンドレットによる Windows Defender のベストプラクティス	
<u>プリインストールされた Linux バックアップ サーバを外部 ネットワークに設定する</u>	
ボリュームをまたぐデデュプリケーション データストアを作成するためのベスト プラク	<u>ティス</u> 258

### ネットワーク構成に関する推奨事項

- 複数のネットワークインターフェースを実稼働環境で接続する場合は、各 ネットワークアダプタが異なるサブネットワークに接続されていることを確認し ます。
- 保護する実稼働環境でLinux ノードが利用できない場合は、アプライアンス上のVM Linux-BackupSvr およびDHCP サーバサービスを停止することをお勧めします。

詳細については、「DHCP サーバを無効にする方法」を参照してください。

アプライアンスとエージェント ノードが共に同 ー サブ ネット ワーク上でオンラインの状態にあり、複数のネット ワーク インターフェースがアプライアンス内の同 ー サブ ネット ワークに接続されている場合、アプライアンスとエージェント ノード間で接続の問題が発生します。

#### 現象

アプライアンスとエージェント ノードが共に同 ー サブ ネット ワーク上 でオンラインの状態にある場合、以下の事象が発生することがあります。

Arcserve UDP コンソールで、エージェント ノードにプランを展開すると、
 以下のエラーメッセージが表示されます。



◆ 以下のようにエージェント ノードのバックアップ ジョブが失敗します。

0	12/25/	Local Site	10.57.52.13	10.57.52.13	26	Backup	Point Server appliatest76. Verify that server name, port number, and protocol (http/https) inputs are all correct and the web service is started on the specified host. For other reasons, see Troubleshooting in the User Guide.
-							in the obel outle.

アプライアンスからエージェント ノードに ping を送信し、次のようにエージェント ノードが接続されているかどうかを確認します。

C:¥Users¥Administrator> ping 10.57.52.13

10.57.52.13 に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 10.57.52.13 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 10.57.52.13 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 10.57.52.13 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 10.57.52.13 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128

エージェント ノードから ping アプライアンスホスト名を実施し、アプライアンスは以下のように接続されていません。

C:¥Users¥Administrator>ping appliatest76 appliatest76 [10.57.52.47]に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 要求がタイムアウトしました。 要求がタイムアウトしました。 要求がタイムアウトしました。 要求がタイムアウトしました。 10.57.52.47 の ping 統計: バケット数:送信 = 4、受信 = 0、損失 = 4 (100% の損失)、

#### 解決策

アプライアンスとエージェント ノードの間の接続の問題を解決するには、以下の手順のいずれかを実行します。

 実稼働環境でLinux ノードが利用できない場合、アプライアンス上の DHCP サーバサービスを停止し、問題が解決されるかどうかを確認し ます。

詳細については、「<u>DHCP サーバを無効にする方法</u>」を参照してください。

アプライアンスおよびエージェント ノードで、以下の手順を実行します。

#### アプライアンスで実行する手順

- DOS コマンド プロンプトから ipconfig/all を実行し、アプライアン ス上で利用可能な IPv4 アドレスを取得します。
- 2. DOS コマンド プロンプトから Route Print を実行し、IPv4 ルート テーブルを取得し、以下のように、アプライアンス上で利用可

能なすべての IPv4 アドレスの順番のリストを記録します。

IPv4 ルート テーブル				
アクティブ ルート: ネットワーク宛先	ネットマスク	ゲートウュ	:イ インち	マーフェイ
ス メトリック 0.0.0.0 0.0.0.0	$0.0.0.0 \\ 0.0.0.0$	10.57.52.1 10.57.52.1	10.57.52.46 10.57.52.35	10 10
0.0.0.0 0.0.0.0 10.57.52.0		10.57.52.1 10.57.52.1	10.57.52.45 10.57.52.47 10.57.52.47	10 10 46 266
10.57.52.0 10.57.52.0	255.255.255.0 255.255.255.0	リシク主 リンク主	10.57.52. 10.57.52.	35 266 45 266

#### エージェントノードで実行する手順

 DOS コマンド プロンプトから、次のように、エージェント ノードに 接続しているアプライアンスの最初の IPv4 を取得するため、 上記の順序に従って、アプライアンスの利用可能な各 IPv4 ア ドレスに pingを送信してみます。

C:¥Users¥Administrator>ping 10.57.52.46 10.57.52.46 に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 10.57.52.46 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 10.57.52.46 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 10.57.52.46 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 10.57.52.46 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128

 ファイル C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts を編集し、上 記で取得した IPv4 アプライアンスホスト名ペアのレコードを追 加して、ファイルを保存します。

### PowerShell コマンドレットによる Windows Defender の ベストプラクティス

Defender コマンドレットは、以下のコマンドを使用して取得することができます。

- PS C:\> (Get-MpPreference).ExclusionPath
   Defender の除外パスを取得します。
- PS C:\> (Get-MpPreference).ExclusionProcess
   Defender の除外プロセスを取得します。
- PS C:\> Add-MpPreference -ExclusionPath "full\_path\_of\_the\_folder\_or\_file"
   除外リストにフォルダまたはファイルを除外します。
- PS C:\> Add-MpPreference –ExclusionProcess "full\_path\_of\_executable\_ programs"

プロセスによって開かれているファイルを除外します。

PS C:\> Remove-MpPreference -ExclusionPath "full\_path\_of\_the\_folder"
 除外リストからフォルダを削除します。

### プリインスト ールされた Linux バックアップ サーバを外部 ネット ワークに設定する

- 1. DHCP サーバを無効化します。詳細については、「<u>DHCP サーバを無効にす</u> <u>る方法</u>」を参照してください。
- 2. Linux バックアップ サーバネット ワークを外部ネット ワークに設定するには、 以下の手順に従います。
  - a. Hyper-V マネージャを開きます。
  - b. 新しい外部仮想ネットワークスイッチを作成します。
  - c. 新しく作成した外部仮想ネットワークスイッチを使用するように Linux バックアップサーバ VM ネットワーク アダプタの設定を変更します。
  - d. Linux バックアップ サーバのネット ワーク設定を確認し、外部仮想ネットワーク スイッチを介して IP アドレスと DNS が取得されていることを確認します。
  - e. 元の Linux バックアップ サーバを UDP コンソールから削除します。

- f. 以下の情報を使用して、Linux バックアップサーバを UDP コンソールに 再度追加します。
  - ホスト名: Linux-BackupSvr
  - ポート: 8014

### ボリュームをまたぐデデュプリケーション データストアを作 成するためのベスト プラクティス

コマンド ライン ツールである as\_gddmgr.exe を使用すると、ボリュームをまたぐデータ パスをさらに追加して、既存のデデュプリケーション データストアのストレージ容量 を拡張できます。

ボリュームをまたぐデデュプリケーション データストアを作成するには、以下の手順 を実行します。

- Arcserve UDP コンソールユーザインターフェースにログインし、拡張データ パスなしでデデュプリケーション データストアを作成します。詳細について は、「データストアの追加」を参照してください。
- データストアを停止します。詳細については、「<u>データストアの停止</u>」を参照してください。
- 3. コマンド プロンプトを開き、以下のコマンドを入力して、データストアの現 在のパス構成を表示します。

as\_gddmgr.exe -DataPath Display <データストア名 >

以下のサンプルデータストアには、X:\volume上のプライマリデータパスが1 つ含まれています。

C:\UsersiAdministrator>"C:\Drogram FileslArcserve\Unified Data Protection\Engine\bin\as\_gddmgr\_exe" -DataPath Display appliancetest\_data\_store successfully load data store configuration information. Volume capacity Used space Free space Primary data path : X:\Arcserve\data\_store\data\ S9605 GB 2 GB S9605 GB

デデュプリケーション データストアのストレージ容量を拡張するには、以下のコマンドを入力します。

as\_gddmgr.exe -DataPath Add <データストア名 > -NewDataPath <新規データフォ ルダ>

**注:** プライマリパスとすべての拡張パスが同じボリューム上にないことを確認 してください。

以下のサンプルデータストアには、X:\volume上の拡張データパスが1つ含まれています。



- 5. 必要に応じて手順4を繰り返します。
- 6. Arcserve UDP コンソール ユーザインターフェースに戻り、データストアを起動します。詳細については、「<u>データストアの起動</u>」を参照してください。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	O Upd	ate server un	rvailable. I	O Messag	es (1) • administra	tor • Help •
dashboard resources	jobs reports log set « Destinations: Recovery l	tings   high Point Server	availabilit	У		> appliancetest > appli	ancetest_data_store
Nodes     Al Nodes	Actions - Add a Reco	wery Point Server				Configuration Wizard	
Nodes without a Plan	Name	Status	Plan Count	Stored Data	Deduplication	O Status	
Linux Backup Server Groups     Jens	🖌 📑 appliancetest					Stopped	
All Plans	appliancetest_data	store O	0	0 Byte	0%	✓ Settings	
Recovery Point Servers Accerve Backup Servers Shared Folders Cloud Accounts Remote Consoles	Modily Delete Start Browse RPS Ju	Recovery Points				Compression Type Encryption Algorithm Backup Destination Concurrent Active Nodes	Standard AES-256 X:Varcserveidata_storeico mmon 20
Accenve Cloud Infrastructure Storage Arrays	× .					Deduplication Data File Path	X.Varcserveidata_storeid

**注:** 同様のディスク パーティションを持つ UDP アプライアンス上のバックアップ データ ストアをインポート することをお勧めします。

### 第14章:使用条件

この製品の一部には、サード パーティのソフト ウェア プロバイダによって開発された ソフト ウェアが含まれています。以下のセクションに、このサード パーティ ソフト ウェア に関する情報を示します。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

<u>PuTTY</u>

### **PuTTY**

この製品に含まれている「PuTTY」コンポーネントの詳細を以下に示します。

コン ボーネ シト 名 コン ボーネ シト ベ コン ボーネ シト ベ リーガ リーガ リーガ リーガ リーガ ハロコン ト キ コン オ フロ ジェク Appliance Rhodium ト 名 コン オ ー プロ ジェク Appliance Rhodium ト 名 コン オ ー プレ フレ ス ト 名 コン オ ー プレ フレ ス ス ト 名 コン オ ー プレ フレ ス ス ト 名 コン オ ー プレ フレ ス ス ト 名 コン オ ー プレ フレ ス ス ト 名 コン オ ー プレ フレ ス ス ト 名 コン ス ス ス ト 名 コン ス ス ス ト 名 コン ス ス ス ト 名 コン ス ス ス ト 名 コン ス ス ス ス ト 名 コン ス ス ス ス ト 名 コン ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス							
$ \begin{array}{c c} \pi - \pi & \text{putty} \\ \lambda + 8 \\ \exists \nu \\ \pi - \pi \\ \lambda + \kappa \\ \lambda + \kappa \\ \lambda + \kappa \\ z \\$	コン						
$\frac{1}{2}$ $\frac{1}$	ホーネ	PuTTY					
in * isimon Tatham によって最初に開発されました。 ジダ コン ボーネ ント 0.64 バー ジョン リーガ ルコメ http://www.chiark.greenend.org.uk/*sgtatham/putty/licence.html ント ブロ ジェク Appliance Rhodium ト名 コン ボーネ ント ダ イプ ソース コン オープンソース オープンソース イプ ソース コード http://the.earth.li/*sgtatham/putty/0.64/ URL 必要 なプ ラット Windows 2012 R2、Windows 2019 ジェーネ http://the.earth.li/*sgtatham/putty/0.64/x86/ URL コン ボーネ ント http://the.earth.li/*sgtatham/putty/0.64/x86/ URL	ゴノポーネ						
$ \begin{array}{c} y = y \\ y = y \\ y = y \\ z \\ x \\ -x \\ y \\ y \\ y \\ z \\ y \\ y \\ z \\ z \\ z \\ z$	トベ	Simon Tatham によって最初に開発されました。					
コン ポーネ ント リーガ ルコメ http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html ント プロ ジェク Appliance Rhodium ト名 コン ポーネ ント タ オープンソース イブ ソース コード http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/ URL シ ジェク パーネ ント Mindows 2012 R2、Windows 2019 フォー ム コン ポーネ ント http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ URL コン ポーネ ント http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ URL コン ポーネ ント http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ URL	ンダ						
	コン						
ント バー ジョン リーガ ルコメ http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html ント プロ ジェク Appliance Rhodium ト名 コン ポーネ ントタ イプ ソース コード http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/ URL 必要 なジプ フィー ム コン ポーネ ント http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/sg( リース コード http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ URL コン ポーネ ント http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ URL	ポーネ						
バー ジョン Uーガ ルコメ http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.htmlブー ブロ ジェク オー ハトタ オープンソース オープンソースオープンソース イプ ハード http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/ URL必要 なプ ラット マー ム windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019フー スート ト ム http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/シト パーネ ント ハー http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/URL NLURL NLNL </td <td>ント</td> <td>0.64</td>	ント	0.64					
ジョン       Uーガ         リーガ       http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html         プロ       シト         プロ       Appliance Rhodium         ト名	バー						
リーガ ルコメ http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html ント プロ ジェク Appliance Rhodium ト名 コン ポーネ ントタ イプ ソース コード http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/ URL ジ 数要 なプ ジ ト Windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019 フォー ム コン ポーネ ト ttp://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ URL	ジョン						
$\begin{array}{c c c c c c c } & \begin{tabular}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	リーガ						
$\frac{\forall k}{2} \frac{\forall k}{2} \frac{\forall k}{2} \frac{d}{2} \frac{d}{2$	ルコメ	http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html					
プロ       ジェク       Appliance Rhodium         ト名       コン         ポーネ       オープンソース         イプ       ソース         コード       http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/         URL       必要         なプ       ジット         ジット       Windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019         フォーム       ニード         コン       ポーネ         パーネ       http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/         URL       コン         ポーネ       http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/         URL       ロレ         コン       ポーネ         パーネ       http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/         URL       URL	ント						
ジェク Appliance Rhodium ト名 コン ポーネ ントタ オープンソース ブ ソース コード http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/ URL 必要 なプ ラット Windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019 フォー ム コン ポーネ ント URL コン ポーネ ント URL コン ポーネ ント URL URL URL URL URL URL URL	プロ						
$k$ $4$ $32$ $n^2 - n^2$ $n^2 - n^2$ $\gamma - \gamma$ <td< td=""><td>ジェク</td><td>Appliance Rhodium</td></td<>	ジェク	Appliance Rhodium					
コン ポーネ ントタ イプ ソース コード URL 必要 なプ ラット Windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019 フォー ム コン ポーネ ント URL コン ポーネ ント Http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ リーン ポーネ ント URL コン ポーネ ント URL	ト名						
ポーネ ントタ イプ ソース コード http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/ URL 必要 なプ ラット Windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019 フォー ム コン ポーネ ント URL コン ポーネ ント URL コン ポーネ ント URL コン ポーネ ント URL ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	コン						
ントタ イプ ソース コード <u>http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/</u> URL 必要 なプ ラット ソース コード <u>http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/</u> ス コン ポーネ ント URL コン ポーネ ント N Http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ バー ジョン URL	ポーネ						
イプ ソース コード <u>http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/</u> URL 必要 なプ ラット Windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019 フォー ム コン ポーネ ント <u>http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/</u> URL コン ポーネ ント <u>http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/</u> ジョン URL	ントタ	オーノンツース					
ソース       http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/         URL       必要         必要       なプ         ラット       Windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019         フォー       ム         コン       ポーネ         ット       http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/         リス       ホーネ         パー       http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/         リス       パー・ネ         リス       http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/         リス       リス         パー       http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/         リス       リス	イプ						
コード http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/ URL 必要 なプ ラット Windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019 フォー ム コン ポーネ レト URL http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ コン ポーネ ント http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ ジョン URL	ソース						
URL 必要 なプ ラット Vindows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019 フォー ム コン ポーネ ント URL コン ポーネ ント URL http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ ジョン URL	コード	http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/					
必要 なプ ラット フォー ム コン ポーネ ント URL コン ポーネ ント リRL http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ ジョン URL	URL						
なプ ラット フォー ム コン ポーネ ント URL http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ ジョン URL http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ ジョン URL	必要						
ラット Windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019   フォーム コン   コン http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/   URL コン   コン ポーネ   ント http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/   ジョン パー   ジョン URL	なプ						
7 - 4 3 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -	ラット	Windows 2012 R2、Windows 2016、Windows 2019					
$\begin{array}{c c} \  \  \  \  \  \  \  \  \  \  \  \  \ $	フォー						
コン ポーネ ント URL コン ポーネ ント バー ジョン URL http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ ジョン URL	ム						
ポーネ ント URL コン ポーネ ント バー ジョン URL	コン						
ント URL コン ポーネ ント バー ジョン URL	ポーネ						
URL コン ポーネ ント バー ジョン URL	ント	http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/					
コン ポーネ ント バー ジョン URL	URL						
ポーネ ント バー ジョン URL	コン						
ント バー ジョン URL	ポーネ						
バー http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/ ジョン URL	ント						
ジョン URL	バー	http://the.earth.li/~sgtatham/putty/0.64/x86/					
URL	ジョン						
	URL						

説明	アプライアンス マシン上 で、putty.exe を使 用して Linux バックアップ サーバと通信 し、システム ロケールと UDP Linux ロケールを変 更します。
機能	アプライアンス
	http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html
	PuTTY の著作権はSimon Tatham が有しています( 1997-2019) 。
ライセテキスト	部分著作権 Robert de Bath、Joris van Rantwijk、Delian Delchev、Andreas Schultz、 Jeroen Massar、Wez Furlong、Nicolas Barry、Justin Bradford、Ben Harris、Malcolm Smith、Ahmad Khalifa、Markus Kuhn、Colin Watson、Christopher Staite、Lorenz Diener、Christian Brabandt、Jeff Smith、Pavel Kryukov、Maxim Kuznetsov、 Svyatoslav Kuzmich、Nico Williams、Viktor Dukhovni、および CORE SDI S.A。 このソフトウェアおよび関連する文書ファイル(以下「ソフトウェア」)を入手したすべ ての人は、このソフトウェアを制限なしに使用することが無償で許諾されています。 これには、ソフトウェアの使用、複製、変更、結合、発行、配布、サブライセンスお よび販売についての制限なしの権利が含まれます。また、このソフトウェアを提供す る相手に対してそのような行為を許可することも許諾されています。この許諾は次 の条件を前提としています。 上記の著作権に関する通知およびこの許諾通知は、ソフトウェアの複製物および 実質的な部分のすべてに含めてください。 本ソフトウェアは「現状のまま」で、明示であるか暗黙であるかを問わず、何らの保 証もなく提供されます。ここでいう保証とは、商品性、特定の目的への適合性、お よび権利非侵害についての保証も含みますが、それに限定されるものではありませ ん。著作権者は、契約行為、不法行為、またはそれ以外であろうと、ソフトウェア に起因または関連し、あるいはソフトウェアの使用またはその他の扱いによって生じ る一切の請求、損害、その他の義務について何らの責任も負わないものとしま す。
	http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html
	PuTTY の著作権はSimon Tatham が有しています( 1997-2019) 。
著作 権テキ スト	部分著作権 Robert de Bath、Joris van Rantwijk、Delian Delchev、Andreas Schultz、 Jeroen Massar、Wez Furlong、Nicolas Barry、Justin Bradford、Ben Harris、Malcolm Smith、Ahmad Khalifa、Markus Kuhn、Colin Watson、Christopher Staite、Lorenz Diener、Christian Brabandt、Jeff Smith、Pavel Kryukov、Maxim Kuznetsov、 Svyatoslav Kuzmich、Nico Williams、Viktor Dukhovni、および CORE SDI S.A。 このソフトウェアおよび関連する文書ファイノム以下「ソフトウェア」)を入手したすべ ての人は、このソフトウェアを制限なしに使用することが無償で許諾されています。 これには、ソフトウェアの使用、複製、変更、結合、発行、配布、サブライセンスお よび販売についての制限なしの権利が含まれます。また、このソフトウェアを提供す る相手に対してそのような行為を許可することも許諾されています。この許諾は次 の条件を前提としています。 上記の著作権に関する通知およびこの許諾通知は、ソフトウェアの複製物および 実質的な部分のすべてに含めてください。 本ソフトウェアは「現状のまま」で、明示であるか暗黙であるかを問わず、何らの保 証もなく提供されます。ここでいう保証とは、商品性、特定の目的への適合性、お よび権利非侵害についての保証も含みますが、それに限定されるものではありませ

	ん。著作権者は、契約行為、不法行為、またはそれ以外であろうと、ソフトウェア に起因または関連し、あるいはソフトウェアの使用またはその他の扱いによって生じ る一切の請求、損害、その他の義務について何らの責任も負わないものとしま す
使用	アフライアンス マシン上で、putty.exe を使用して Linux バックアッフ サーバと通信
目的	し、システム ロケールと UDP Linux ロケールを変更します。
必要	
な変	x
更	